

令和 6 年度業務実績等報告書

地方独立行政法人宮城県立病院機構

令和6年度 項目別評価総括表

令和6年度 年度計画の項目	令和6年度								令和5年度							
	年度評価				自己評価				年度評価				自己評価			
	精神	がん	本部	総合	精神	がん	本部	総合	精神	がん	本部	総合	精神	がん	本部	総合
第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置																
1 質の高い医療の提供																
イ 政策医療、高度・専門医療の確実な提供					B	A			B	B			B	A		
ロ 医療機器、施設の計画的な更新・整備					A	B			B	B			A	A		
ハ 地域医療への貢献					A	A			A	A			A	A		
ニ 医療に関する調査・研究と情報の発信					B	B			B	B			B	B		
2 安全・安心な医療の提供					B	B	B	B	B	C	B	B	B	B	B	B
3 患者や家族の視点に立った医療の提供					B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B
4 人材の確保と育成					B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B
5 災害等への対応					B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B
第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置																
1 業務運営体制の確立								B				B				B
2 収益確保の取組					B	B			B	C			B	B		
3 経費削減への取組					B	B	B		B	B	B		B	B	B	
第3 予算、収支計画及び資金計画																
第4 短期借入金の限度額																
第5 出資等に係る不要財産となることが見込まれる財産の処分に関する計画								C					C			C
第6 前記の財産以外の重要な財産を譲渡し、又は担保に供する計画																
第7 剰余金の使途																
積立金の処分に関する計画（年度計画に記載なし）																
第8 その他業務運営に関する重要事項を達成するためとるべき措置																
1 人事に関する計画								B				B				B
2 就労環境の整備								B				B				B
3 病院の信頼度の向上					B	B			B	B			B	B		

※ 下線は前年度自己評価と異なる評定

<判定基準(地方独立行政法人宮城県立病院機構の業務実績に関する評価の考え方について)>

【S】：当該法人の業績向上努力により、中期計画における所期の目標を量的及び質的に上回る顕著な成果が得られていると認められる。 ・ 定量的指標の対中期計画値(又は対年度計画値)が120%以上で、かつ質的に顕著な成果が得られていると認められる場合、又は定量的指標の対中期計画値(又は対年度計画値)が100%以上で、かつ困難度が「高」とされており、かつ質的に顕著な成果が得られていると認められる場合 ・ 定量的指標で評価できない項目については、原則 S 評価なし
【A】：当該法人の業績向上努力により、中期計画における所期の目標を上回る成果が得られていると認められる。 ・ 定量的指標の対中期計画値(又は対年度計画値)が120%以上、又は定量的指標の対中期計画値(又は対年度計画値)が100%以上で、かつ困難度が「高」とされている場合 ・ 定量的指標で評価できない項目については、困難度が「高」とされた目標について、目標の水準を満たしている場合
【B】：中期計画における所期の目標を達成していると認められる。 ・ 定量的指標においては対中期計画値(又は対年度計画値)の100%以上 ・ 定量的指標で評価できない項目については、目標の水準を満たしている場合(「A」に該当する事項を除く。)
【C】：中期計画における所期の目標を下回っており、改善を要する。 ・ 定量的指標においては対中期計画値(又は対年度計画値)の80%以上100%未満 ・ 定量的指標で評価できない項目については、目標の水準を満たしていない場合(「D」に該当する事項を除く。)
【D】：中期計画における所期の目標を下回っており、業務の廃止を含めた抜本的な改善を求める ・ 定量的指標においては対中期計画値(又は対年度計画値)の80%未満、又は業務運営の改善その他の必要な措置を講ずることを命ずる必要があると認められる場合 ・ 定量的指標で評価できない項目については、目標の水準を満たしておらず、業務運営の改善その他の必要な措置を講ずることを命ずる必要があると認められる場合を含む、抜本的な業務の見直しが必要な場合

地方独立行政法人宮城県立病院機構 令和6年度業務実績

第4期中期目標 (令和5～8年度)	第4期中期計画 (令和5～8年度)	令和6年度計画	評価の視点																
第1 中期目標の期間	第1 中期計画の期間																		
令和5年4月1日から令和9年3月31日までの4年間とする。	令和5年4月1日から令和9年3月31日までの4年間とする。																		
第2 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項	第2 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置	第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置																	
県民の医療ニーズを踏まえながら、県立病院に求められる政策医療及び高度・専門医療を確実に実施すること。 また、患者が安心して医療を受けられるよう、医療の安全を確保し、県民の視点に立った運営を行うとともに、医療機能の向上を図るため、優秀な人材の確保や計画的な医療機器等の整備を図ること。 なお、医療サービス向上の観点から医療提供体制について、随時、必要な見直しを行うとともに、県立病院の再編協議の進捗に留意すること。	県民の医療ニーズを踏まえながら、変化する医療環境に対応し、「医療の質」を意識した病院運営を行うこととする。このため、医療安全対策や感染症対策の推進のほか、適切な情報管理、各医療スタッフの協働・連携によるチーム医療の推進、インフォームド・コンセントの徹底、患者アメニティの向上などに取り組む。 また、医師をはじめとする職員の資格取得の奨励・支援や研究・研修の充実を図るほか、医療機器及び施設設備を計画的に整備するなど、医療水準の維持・向上を図る。 さらに、地域の医療機関との協力体制を強化するため、病病・病診連携に取り組む。 なお、医療サービスの向上が図られるよう、医療提供体制について適切かつ柔軟に見直しを行い、県民が必要とする医療を提供するとともに、県が進める県立病院の再編協議の進捗に留意する。	県民の医療ニーズを踏まえながら、変化する医療環境に対応し、「医療の質」を意識した病院運営を行うこととする。このため、医療安全対策や感染症対策の推進のほか、適切な情報管理、各医療スタッフの協働・連携によるチーム医療の推進、インフォームド・コンセントの徹底、患者アメニティの向上などに取り組む。 また、医師をはじめとする職員の資格取得の奨励・支援や研究・研修の充実を図るほか、医療機器及び施設設備を計画的に整備するなど、医療水準の維持・向上を図る。 さらに、地域の医療機関との協力体制を強化するため、病病・病診連携に取り組む。 なお、医療サービスの向上が図られるよう、医療提供体制について適切かつ柔軟に見直しを行い、県民が必要とする医療を提供するとともに、県が進める県立病院の再編協議の進捗に留意する。	《評価全般について》 ◇各項目で定めた指標を達成しているか。 ◇各項目の達成状況は病院経営や医療サービス向上等にどのような成果をもたらしているか。																
1 質の高い医療の提供	1 質の高い医療の提供	1 質の高い医療の提供																	
(1) 精神医療センター	(1) 精神医療センター	(1) 精神医療センター	(1) 精神医療センター																
イ 政策医療、高度・専門医療の確実な提供 (イ) 精神科救急医療等の提供 県における精神科医療の基幹病院として、精神科救急医療システムの24時間運用における中心的役割を果たすとともに、児童精神科医療についても、現行の地域医療保健の体制で対応が困難な医療ニーズへの対応に向け、積極的に取り組むこと。 また、社会基盤が脆弱な精神疾患罹患患者等についても地域の社会資源と緊密に連携しながら積極的に社会復帰・社会参加の促進に努めるほか、「心神喪失等の状態で重大な他害行為を行った者の医療及び観察等に関する法律（平成15年法律第110号）」等による司法精神医療への対応など、継続して精神疾患に係る政策医療、高度・専門医療を実施すること。 さらに、器質・症候性の精神疾患との鑑別を要する患者への対応まで含めた精神科救急医療体制の向上を図ること。 加えて、精神疾患の早期発見・早期治療に向けた相談・普及体制の充実強化、精神科救急入院料算定病棟の効率化を図るため、他の医療機関との連携の強化に努めること。 【指標】 精神科救急病棟病床利用率を毎年度、82.0％以上とすること。（前中期目標期間実績：令和元年度81.9％、令和2年度78.9％、令和3年度85.0％）	イ 政策医療、高度・専門医療の確実な提供 (イ) 精神科救急医療等の提供 治療の困難な事例や障害の高度な事例など、民間病院では対応が困難である、多様な精神疾患及び社会基盤が脆弱な精神疾患罹患患者等へ対応するため、各地域の精神科病院・診療所とのネットワークの強化に努めるとともに、高度医療を短期間、集中的に行う。 また、宮城県地域医療計画に基づき、関係機関等と連携を図りながら、精神科救急システムの24時間運用における中心的役割を果たすため、精神科救急病棟の効率的運用を行う。 さらに、器質・症候性の精神疾患との鑑別を要する患者への対応まで含めた精神科救急医療体制の向上を図る。	イ 政策医療、高度・専門医療の確実な提供 (イ) 精神科救急医療の提供 ①高度医療の提供 治療の困難な事例や障害の高度な事例など、民間病院では対応が困難な、多様な精神疾患及び社会基盤が脆弱な精神疾患罹患患者等へ対応するため、高度医療を短期間、集中的に行うとともに、各地域の精神科病院・診療所とのネットワークの強化に努める。 ②救急・急性期医療の取組の推進 総合診療会議や院長チームラウンドでのベッド調整により精神科救急病棟の効率的運用を行うとともに、宮城県地域医療計画に基づき、関係機関等と連携を図りながら、宮城県の精神科救急医療システムにおける中心的役割を果たす。 さらに、器質・症候性の精神疾患との鑑別を要する患者への対応まで含めた精神科救急医療体制の向上を図る。 ③地域の精神科病院等とのネットワーク強化に向けた取組 精神科急性期治療患者の受入れと治療後の地域ケアを円滑に提供するためのネットワークの拡充や、身体合併症患者に対応するために医療機関との連携を強化する。	◇高度医療の提供状況はどうか。 ◇精神科救急システムの24時間運用における精神科救急病棟の運用状況はどうか。 ◇各地域の精神科病院・診療所とのネットワークの強化に努めているか。 ◇身体合併症への対応等については、医療機関、関係機関とのネットワークの構築や連携強化の取組状況はどうか。 ◇中期目標、中期計画及び年度計画に掲げる数値の達成状況はどうか。																
	<table><tr><th>目標とする指標</th><th>目標値</th></tr><tr><td>精神科救急病棟患者数</td><td>年間29,630人以上 (利用率82.0％以上)</td></tr><tr><td>精神科救急入院料適用患者割合</td><td>80%</td></tr><tr><td>平均在院日数</td><td>71.9日</td></tr></table>	目標とする指標	目標値	精神科救急病棟患者数	年間29,630人以上 (利用率82.0％以上)	精神科救急入院料適用患者割合	80%	平均在院日数	71.9日	<table><tr><th>目標とする指標</th><th>目標値</th></tr><tr><td>精神科救急病棟患者数</td><td>年間37,230人以上 (利用率92.7％以上)</td></tr><tr><td>精神科救急入院料適用患者割合</td><td>75%</td></tr><tr><td>平均在院日数</td><td>71.9日</td></tr></table>	目標とする指標	目標値	精神科救急病棟患者数	年間37,230人以上 (利用率92.7％以上)	精神科救急入院料適用患者割合	75%	平均在院日数	71.9日	
目標とする指標	目標値																		
精神科救急病棟患者数	年間29,630人以上 (利用率82.0％以上)																		
精神科救急入院料適用患者割合	80%																		
平均在院日数	71.9日																		
目標とする指標	目標値																		
精神科救急病棟患者数	年間37,230人以上 (利用率92.7％以上)																		
精神科救急入院料適用患者割合	75%																		
平均在院日数	71.9日																		

令和6年度業務実績 ※定量評価は年度計画に対する達成率で判定			定量 評価	定性 評価	業務実績の参考となる指標等																																																																																																																																				
第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置																																																																																																																																									
1 質の高い医療の提供																																																																																																																																									
(1) 精神医療センター																																																																																																																																									
イ 政策医療、高度・専門医療の確実な提供					※「状況」は前年度比を示す。																																																																																																																																				
(イ)精神科救急医療の提供					【精神医療センター】																																																																																																																																				
①高度医療の提供					<table><tr><th>参考となる指標</th><th>単位</th><th>令和3年度</th><th>令和4年度</th><th>令和5年度</th><th>令和6年度</th><th>状況</th></tr><tr><td>入院患者数(病院全体)</td><td>人</td><td>65,329</td><td>58,679</td><td>59,705</td><td>58,557</td><td>↓</td></tr><tr><td>入院収益(病院全体)</td><td>千円</td><td>1,524,319</td><td>1,402,399</td><td>1,453,035</td><td>1,466,706</td><td>↑</td></tr><tr><td>外来患者数(病院全体)</td><td>人</td><td>37,373</td><td>37,948</td><td>38,473</td><td>39,821</td><td>↑</td></tr><tr><td>外来収益(病院全体)</td><td>千円</td><td>306,657</td><td>311,677</td><td>324,943</td><td>339,498</td><td>↑</td></tr><tr><td>精神科救急患者受診数</td><td>人</td><td>357</td><td>246</td><td>309</td><td>308</td><td>↓</td></tr><tr><td>精神科救急患者入院数</td><td>人</td><td>148</td><td>150</td><td>147</td><td>127</td><td>↓</td></tr><tr><td>病床稼働率(病床合計)</td><td>%</td><td>69.4</td><td>62.3</td><td>63.2</td><td>62.2</td><td>↓</td></tr><tr><td>北1病棟病床稼働率</td><td>%</td><td>90.7</td><td>89.4</td><td>81.7</td><td>75.3</td><td>↓</td></tr><tr><td>北2病棟病床稼働率</td><td>%</td><td>78.9</td><td>83.9</td><td>74.8</td><td>73.1</td><td>↓</td></tr><tr><td>新規入院患者数</td><td>人</td><td>552</td><td>514</td><td>562</td><td>573</td><td>↑</td></tr><tr><td>精神科救急病棟患者数</td><td>人</td><td>30,700</td><td>31,356</td><td>32,649</td><td>29,826</td><td>↓</td></tr><tr><td>精神科救急病棟病床稼働率</td><td>%</td><td>85.0</td><td>86.8</td><td>81.1</td><td>74.3</td><td>↓</td></tr><tr><td>精神科救急急性期医療入院料適用患者割合</td><td>%</td><td>75.3</td><td>72.2</td><td>73.6</td><td>81.0</td><td>↑</td></tr><tr><td>精神科救急病棟平均在院日数</td><td>日</td><td>67.5</td><td>73.5</td><td>71.4</td><td>68.0</td><td>↑</td></tr><tr><td>宮城県内における措置入院件数</td><td>件</td><td>141</td><td>175</td><td>199</td><td>169</td><td>↓</td></tr><tr><td>うち精神医療センター受入数</td><td>件</td><td>73</td><td>110</td><td>116</td><td>87</td><td>↓</td></tr><tr><td>宮城県内における措置入院受入割合</td><td>%</td><td>51.8</td><td>62.9</td><td>58.3</td><td>51.5</td><td>↓</td></tr></table>							参考となる指標	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	状況	入院患者数(病院全体)	人	65,329	58,679	59,705	58,557	↓	入院収益(病院全体)	千円	1,524,319	1,402,399	1,453,035	1,466,706	↑	外来患者数(病院全体)	人	37,373	37,948	38,473	39,821	↑	外来収益(病院全体)	千円	306,657	311,677	324,943	339,498	↑	精神科救急患者受診数	人	357	246	309	308	↓	精神科救急患者入院数	人	148	150	147	127	↓	病床稼働率(病床合計)	%	69.4	62.3	63.2	62.2	↓	北1病棟病床稼働率	%	90.7	89.4	81.7	75.3	↓	北2病棟病床稼働率	%	78.9	83.9	74.8	73.1	↓	新規入院患者数	人	552	514	562	573	↑	精神科救急病棟患者数	人	30,700	31,356	32,649	29,826	↓	精神科救急病棟病床稼働率	%	85.0	86.8	81.1	74.3	↓	精神科救急急性期医療入院料適用患者割合	%	75.3	72.2	73.6	81.0	↑	精神科救急病棟平均在院日数	日	67.5	73.5	71.4	68.0	↑	宮城県内における措置入院件数	件	141	175	199	169	↓	うち精神医療センター受入数	件	73	110	116	87	↓	宮城県内における措置入院受入割合	%	51.8	62.9	58.3	51.5	↓
参考となる指標	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	状況																																																																																																																																			
入院患者数(病院全体)	人	65,329	58,679	59,705	58,557	↓																																																																																																																																			
入院収益(病院全体)	千円	1,524,319	1,402,399	1,453,035	1,466,706	↑																																																																																																																																			
外来患者数(病院全体)	人	37,373	37,948	38,473	39,821	↑																																																																																																																																			
外来収益(病院全体)	千円	306,657	311,677	324,943	339,498	↑																																																																																																																																			
精神科救急患者受診数	人	357	246	309	308	↓																																																																																																																																			
精神科救急患者入院数	人	148	150	147	127	↓																																																																																																																																			
病床稼働率(病床合計)	%	69.4	62.3	63.2	62.2	↓																																																																																																																																			
北1病棟病床稼働率	%	90.7	89.4	81.7	75.3	↓																																																																																																																																			
北2病棟病床稼働率	%	78.9	83.9	74.8	73.1	↓																																																																																																																																			
新規入院患者数	人	552	514	562	573	↑																																																																																																																																			
精神科救急病棟患者数	人	30,700	31,356	32,649	29,826	↓																																																																																																																																			
精神科救急病棟病床稼働率	%	85.0	86.8	81.1	74.3	↓																																																																																																																																			
精神科救急急性期医療入院料適用患者割合	%	75.3	72.2	73.6	81.0	↑																																																																																																																																			
精神科救急病棟平均在院日数	日	67.5	73.5	71.4	68.0	↑																																																																																																																																			
宮城県内における措置入院件数	件	141	175	199	169	↓																																																																																																																																			
うち精神医療センター受入数	件	73	110	116	87	↓																																																																																																																																			
宮城県内における措置入院受入割合	%	51.8	62.9	58.3	51.5	↓																																																																																																																																			
②救急・急性期医療の取組の推進																																																																																																																																									
政策医療である県の精神科救急医療システムについては、本県精神科の基幹病院として、適切な対応に努めた。																																																																																																																																									
また、従来から精神科救急医療のセーフティネットとして機能を果たしてきた当院の役割を、令和6年4月1日より正式に「常時対応型医療施設」として県から認定されており、当番日以外の受入れも関係機関と連携しながら対応に努めた。																																																																																																																																									
③地域の精神科病院等とのネットワーク強化に向けた取組																																																																																																																																									
地域医療連携室を中心に、関係機関との連絡調整の体制を整備しているほか、精神科病院・診療所との連携協定に基づく適切な患者対応に努めており、随時入院依頼の対応や、紹介・逆紹介時の連携に努めた。																																																																																																																																									
④身体合併症への対応等と、医療機関、関係機関とのネットワークの構築や連携強化の取組																																																																																																																																									
当院は、基幹病院として、民間医療機関では対応困難な医療の提供に努めているとともに、身体合併症治療を要する精神疾患患者については、一般医療機関との連携を推進している。																																																																																																																																									
また、地域医療連携室を中心に、行政、医療、教育機関をはじめとする関係機関との円滑な連携体制を整備しているほか、総合病院との連携協定に基づく適切な患者対応に努めた。																																																																																																																																									
<table><tr><th>指標</th><th>実績値</th><th>達成率</th></tr><tr><td>精神科救急病棟患者数(人)</td><td>29,826</td><td>80.1%</td></tr><tr><td>精神科救急入院料適用患者割合(%)</td><td>81.0</td><td>108.0%</td></tr><tr><td>平均在院日数(日)</td><td>68.0</td><td>105.7%</td></tr></table>			指標	実績値	達成率	精神科救急病棟患者数(人)	29,826	80.1%	精神科救急入院料適用患者割合(%)	81.0	108.0%	平均在院日数(日)	68.0	105.7%																																																																																																																											
指標	実績値	達成率																																																																																																																																							
精神科救急病棟患者数(人)	29,826	80.1%																																																																																																																																							
精神科救急入院料適用患者割合(%)	81.0	108.0%																																																																																																																																							
平均在院日数(日)	68.0	105.7%																																																																																																																																							

第4期中期目標 (令和5～8年度)	第4期中期計画 (令和5～8年度)	令和6年度計画	評価の視点												
	(ロ)児童思春期医療の提供 県内の児童思春期医療に携わる関係機関とのネットワークを強化し、必要な症例への早期介入及び高度・専門的な医療提供を行う。 また、現行の地域医療保健の体制で対応が困難な医療ニーズへの対応に向け、積極的に取り組む。 <table><tr><th>目標とする指標</th><th>目標値</th></tr><tr><td>児童思春期延入院患者数</td><td>年間3,430人以上 (利用率67.1%以上)</td></tr><tr><td>児童思春期延外来患者数</td><td>年間4,900人以上</td></tr></table> (ハ)慢性重症者に向けた医療体制の整備 慢性重症者の精神症状や日常生活能力を評価し、国内外における症例報告を参考に、症状の特性に応じた治療・支援の枠組みを構築し、医療体制を整備する。 (ニ)心神喪失等の状態で重大な他害行為を行った者の医療及び観察等に関する法律に基づく司法精神医療への対応 心神喪失等の状態で重大な他害行為を行った者の医療及び観察等に関する法律(平成15年法律第110号)に基づく鑑定入院や司法機関等からの精神鑑定依頼などの司法精神医療に対応する。 (ホ)精神疾患に関する普及啓発活動の実施 精神疾患に関する講演会や地域の相談機関を対象とした研修会への講師派遣などにより、精神疾患に関する普及啓発活動を実施し、精神疾患の早期発見・早期治療につなげる。 (ヘ)高度医療・臨床研究の実施に向けた体制整備及び推進 高度で専門的な医療の提供に向け、クロザピン及び治験薬等に関し、安全で適正な投与を行うための体制整備を進め、東北大学との連携も図りながら、医療機能や医療水準の向上に向けた臨床研究及び治験を実施する。	目標とする指標	目標値	児童思春期延入院患者数	年間3,430人以上 (利用率67.1%以上)	児童思春期延外来患者数	年間4,900人以上	(ロ)児童思春期医療の提供 ①児童思春期外来の拡充・入院受入れ 県内の児童思春期医療に携わる関係機関とのネットワークを強化し、患者への早期介入及び高度・専門的な医療提供を行う。 また、地域の医療保健福祉体制で対応が困難な医療ニーズへの対応に向け、積極的に取り組む。 <table><tr><th>目標とする指標</th><th>目標値</th></tr><tr><td>児童思春期延入院患者数</td><td>年間4,015人以上 (利用率78.6%以上)</td></tr><tr><td>児童思春期延外来患者数</td><td>年間4,900人以上</td></tr></table> (ハ)慢性重症者に向けた医療体制の整備 慢性重症者や治療抵抗性のある患者に対して、症状の特性に応じた治療・支援の枠組みを構築し、修正型電気痙攣療法(m-ECT)の導入やクロザリル治療の拡大等、難治性患者への高度な治療法の導入に向けて取り組みを行う。 (ニ)心神喪失等の状態で重大な他害行為を行った者の医療及び観察等に関する法律に基づく司法精神医療への対応 「心神喪失等の状態で重大な他害行為を行った者の医療及び観察等に関する法律(平成15年法律第110号)」に基づく鑑定入院や指定通院医療の提供、司法機関等からの精神鑑定依頼などの司法精神医療に対応する。 (ホ)精神疾患に関する普及啓発活動の実施 県民や地域支援者等を対象とした精神疾患に関する講演会の開催及び他機関が開催する研修会への講師派遣などにより、精神疾患に関する普及啓発活動を実施し、精神疾患の早期発見に繋げる。 (ヘ)高度医療・臨床研究の実施に向けた体制整備及び推進 東北大学と連携を図りながら、クロザリル治療等の高度で専門的な医療の提供に向け、安全で適正な投与を行うための体制整備を進めるとともに、医療機能や医療水準の向上に向けた臨床研究及び治験を実施する。	目標とする指標	目標値	児童思春期延入院患者数	年間4,015人以上 (利用率78.6%以上)	児童思春期延外来患者数	年間4,900人以上	◇ 関係機関とのネットワークの構築の取組状況はどうか。 ◇児童思春期病棟への入院等の取組状況はどうか。 ◇児童外来の取組状況はどうか。 ◇現行の地域医療保健の体制で対応が困難な医療ニーズへの対応に係る取組状況はどうか。 ◇中期計画及び年度計画に掲げる数値の達成状況はどうか。 ◇慢性重症者に対する医療体制の整備状況はどうか。 ◇医療観察法等の司法精神医療への取組状況はどうか。 ◇地域の相談機関等を対象とした精神疾患に関する普及啓発活動の取組状況はどうか。 ◇治験薬等の安全で適正な投与のための体制整備の取組状況はどうか。 ◇臨床研究及び治験の取組状況はどうか。
目標とする指標	目標値														
児童思春期延入院患者数	年間3,430人以上 (利用率67.1%以上)														
児童思春期延外来患者数	年間4,900人以上														
目標とする指標	目標値														
児童思春期延入院患者数	年間4,015人以上 (利用率78.6%以上)														
児童思春期延外来患者数	年間4,900人以上														

令和6年度業務実績 ※定量評価は年度計画に対する達成率で判定			定量 評価	定性 評価	業務実績の参考となる指標等																																											
(ロ)児童思春期医療の提供 ①児童思春期関係機関とのネットワークづくりに向けた協議 地域医療連携室を中心に、学校、児童相談所や地域の拠点施設と定期的なケア会議や連絡会を実施するなど、連携の強化に努めた。 また、西多賀支援学校による学習支援のほか、関係する教育機関との情報共有や連携により、学習機会の確保に努めた。 ②児童思春期外来の拡充・入院患者受入れ 児童・思春期病棟については、入院患者が増加しており、常勤医師2名体制が継続していることもあったが、可能な限り受入確保に努めた。 児童・思春期外来は、新患受付枠を最大限に運用し、積極的な患者の受入に努めたが、常勤医師2名体制(令和元年度は4名体制)となっていることが影響し外来患者が減少している。 また、精神科デイケアのなかで、児童・思春期の患者を可能な限り受け入れ、就学や就職に向けた各種プログラムを提供し継続的な支援を行った。デイケア利用者の増加に加え、週に複数回利用するメンバーも多く、件数の増加に繋がった。 入院時カンファレンス等において、対応困難な要因を早期に院内多職種チームにて確認し、困難度が高いと思われる事例については、早期にケア会議を開催するなど、地域と協力し初期段階から検討を進めていく体制づくりに努めた。また、関係機関との情報共有を密に行い、円滑な入退院支援に努めた。 <table><tr><th>指標</th><th>実績値</th><th>達成率</th></tr><tr><td>児童思春期延入院患者数(人)</td><td>3,874</td><td>96.5%</td></tr><tr><td>児童思春期延外来患者数(人)</td><td>3,839</td><td>78.3%</td></tr></table>			指標	実績値	達成率	児童思春期延入院患者数(人)	3,874	96.5%	児童思春期延外来患者数(人)	3,839	78.3%	B		【精神医療センター】 <table><tr><th>参考となる指標</th><th>単位</th><th>令和3年度</th><th>令和4年度</th><th>令和5年度</th><th>令和6年度</th><th>状況</th></tr><tr><td>児童・思春期延入院患者数</td><td>人</td><td>3,462</td><td>2,251</td><td>3,196</td><td>3,874</td><td>↑</td></tr><tr><td>児童・思春期延外来患者数</td><td>人</td><td>4,839</td><td>4,491</td><td>4,173</td><td>3,839</td><td>↓</td></tr><tr><td>児童・思春期デイケア患者数</td><td>人</td><td>203</td><td>309</td><td>341</td><td>693</td><td>↑</td></tr></table>							参考となる指標	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	状況	児童・思春期延入院患者数	人	3,462	2,251	3,196	3,874	↑	児童・思春期延外来患者数	人	4,839	4,491	4,173	3,839	↓	児童・思春期デイケア患者数	人	203	309	341	693	↑
			指標	実績値	達成率																																											
			児童思春期延入院患者数(人)	3,874	96.5%																																											
			児童思春期延外来患者数(人)	3,839	78.3%																																											
			参考となる指標	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	状況																																							
児童・思春期延入院患者数	人	3,462	2,251	3,196	3,874	↑																																										
児童・思春期延外来患者数	人	4,839	4,491	4,173	3,839	↓																																										
児童・思春期デイケア患者数	人	203	309	341	693	↑																																										
C																																																
D																																																
B																																																
B																																																
(ハ)慢性重症者に向けた医療体制の整備 クロザピンを服用している患者の安全性の確保や適正な運用を図るための運用委員会を開催し、情報共有およびマニュアルの改訂を行った。 定期カンファランスなどで多職種連携のもと、患者のニーズに沿った退院支援を計画的に実施した。 長期に行動制限している患者については、毎週月曜日の院長チームラウンドや行動制限最小化・特例措置事後審査委員会で治療の方向性について検討を行い、行動制限の最小化に取り組んだ。			B		【精神医療センター】 <table><tr><th>参考となる指標</th><th>単位</th><th>令和3年度</th><th>令和4年度</th><th>令和5年度</th><th>令和6年度</th><th>状況</th></tr><tr><td>慢性重症者プロジェクトチームの開催回数</td><td>回</td><td>12</td><td>9</td><td>11</td><td>10</td><td>↓</td></tr><tr><td>クロザピンの使用実績</td><td>件</td><td>23</td><td>26</td><td>34</td><td>45</td><td>↑</td></tr></table>							参考となる指標	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	状況	慢性重症者プロジェクトチームの開催回数	回	12	9	11	10	↓	クロザピンの使用実績	件	23	26	34	45	↑																
			参考となる指標	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	状況																																							
			慢性重症者プロジェクトチームの開催回数	回	12	9	11	10	↓																																							
			クロザピンの使用実績	件	23	26	34	45	↑																																							
			C																																													
D																																																
B																																																
(ニ)心神喪失等の状態で重大な他害行為を行った者の医療及び観察等に関する法律に基づく司法精神医療への対応 心神喪失等の状態で重大な他害行為を行った者の医療及び観察等に関する法律(平成15年法律第110号)に基づく鑑定入院や指定通院医療の提供、司法機関等からの精神鑑定依頼などの司法精神医療への対応に努めた。			B		【精神医療センター】 <table><tr><th>参考となる指標</th><th>単位</th><th>令和3年度</th><th>令和4年度</th><th>令和5年度</th><th>令和6年度</th><th>状況</th></tr><tr><td>医療観察法通院患者数(実数)</td><td>人</td><td>3</td><td>3</td><td>3</td><td>3</td><td>→</td></tr><tr><td>鑑定入院実施件数</td><td>件</td><td>1</td><td>2</td><td>2</td><td>5</td><td>↑</td></tr></table>							参考となる指標	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	状況	医療観察法通院患者数(実数)	人	3	3	3	3	→	鑑定入院実施件数	件	1	2	2	5	↑																
			参考となる指標	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	状況																																							
			医療観察法通院患者数(実数)	人	3	3	3	3	→																																							
			鑑定入院実施件数	件	1	2	2	5	↑																																							
			C																																													
D																																																
B																																																
(ホ)精神疾患に関する普及啓発活動の実施 毎年がんセンター・名取市医師会と共同で開催している県民公開講座をがんセンター主催で開催したほか、行政機関や地域関係機関での研修会講師などを引受け、地域保健福祉活動等を通じて、精神疾患の理解の醸成に努めた。			B		【精神医療センター】 <table><tr><th>参考となる指標</th><th>単位</th><th>令和3年度</th><th>令和4年度</th><th>令和5年度</th><th>令和6年度</th><th>状況</th></tr><tr><td>精神疾患に関する講演会開催実績</td><td>回</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>→</td></tr><tr><td>相談機関対象研修会開催実績</td><td>回</td><td>1</td><td>3</td><td>6</td><td>1</td><td>↓</td></tr></table>							参考となる指標	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	状況	精神疾患に関する講演会開催実績	回	1	1	1	1	→	相談機関対象研修会開催実績	回	1	3	6	1	↓																
			参考となる指標	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	状況																																							
			精神疾患に関する講演会開催実績	回	1	1	1	1	→																																							
			相談機関対象研修会開催実績	回	1	3	6	1	↓																																							
			C																																													
D																																																
B																																																
(ヘ)高度医療・臨床研究の実施に向けた体制整備及び推進 院内の倫理審査委員会を通じ、個人との人権や安全に配慮した治験等の実施に努めた。 高度で専門的な医療の提供に向け、大学との連携を図りながら、医療機能や医療水準の向上に向けた臨床研究を推進した。			B																																													
			B																																													
			B																																													
			B																																													
			B																																													

第4期中期目標 (令和5～8年度)	第4期中期計画 (令和5～8年度)	令和6年度計画	評価の視点																												
ロ 医療機器、施設の計画的な更新・整備 病院施設全体の老朽化が著しいことから、償還等の負担、費用対効果等を十分に考慮した中長期的な投資計画のもと、計画的に施設及び設備の更新、整備を図ること。 なお、施設及び設備の更新、整備を行う際は、県立病院の再編協議の進捗を踏まえるものとする。 ハ 地域医療への貢献 地域の医療機関との病病・病診連携に取り組む、患者の紹介・逆紹介を推進するなど、精神医療センターの持つ医療機能が効率的かつ効果的に発揮されるよう努めること。 また、患者が地域において良質な医療を適切に受けることができるよう、訪問看護ステーションによる活動を一層推進するとともに、関係機関等との機能分担や協力体制を強化すること。 さらに、地域の支援者等と協働して、患者に合った地域生活ができるよう支援するなど、地域包括ケアシステムにおける役割を果たすこと。 新興感染症等の公衆衛生上の重大な危害が発生した場合は、県の要請に応じ地域医療の確保に努めること。 【指標】 ① 紹介率を毎年度、42.0%以上とすること。(前中期目標期間実績:令和元年度43.0%、令和2年度45.1%、令和3年度37.1%) ② 逆紹介率を毎年度、41.5%以上とすること。(前中期目標期間実績:令和元年度41.2%、令和2年度43.7%、令和3年度39.2%) ③ 訪問看護実施件数を毎年度、4,800件以上とすること。(前中期目標期間実績:令和元年度4,625件、令和2年度4,638件、令和3年度4,773件)	ロ 医療機器、施設の計画的な更新・整備 医療機器及び施設設備(以下「機器等」という。)の整備に当たっては、県が進める県立病院の再編協議の進捗を踏まえ、費用対効果、県民の医療需要、医療技術の進展、機器等の現況等を十分に考慮し、中長期的な投資計画を作成の上、計画的に更新・整備を行う。 中期目標期間中に更新・整備する機器等に関する投資総額は、別紙4のとおりとする。 ただし、状況に応じて増減があるものとする。 ハ 地域医療への貢献 高度・専門医療の機能を効率的に発揮し、患者が地域において良質な医療を適切に受けることを目標として、次の取組を重点的に行い、地域医療機関との機能分担や協力体制の維持・強化を行う。 また、新興感染症等の公衆衛生上の重大な危害が発生した場合は、県の要請に応じ地域医療の確保に努める。 (イ)地域の医療機関との病病・病診連携の推進等 精神医療センターが持つ高度・専門医療の機能を充分に発揮するため、地域の医療機関との病病・病診連携(核となる病院と地域の病院・診療所が行う連携)に取り組むとともに、患者に合った地域生活ができるよう支援するため、地域の支援者等と協働して、地域包括ケアシステムにおける役割を果たす。 また、地域精神保健福祉活動への参画と障害福祉サービス等への支援を展開する。 (ロ)患者の紹介率、逆紹介率の向上 患者の紹介率及び逆紹介率は、中期目標で指示されている目標値を目指す。 <table><tr><th>目標とする指標</th><th>目標値</th></tr><tr><td>紹介率</td><td>42.0%以上</td></tr><tr><td>逆紹介率</td><td>41.5%以上</td></tr></table> (ハ)地域移行・地域定着支援の実施 重症度等に応じた多職種によるチーム支援、訪問看護ステーションによる活動及び認知リハビリテーション等により治療効果のあるリハビリテーションを展開することにより、地域生活支援体制の充実・強化を図り、患者の地域移行・地域定着の支援を推進する。 <table><tr><th>目標とする指標</th><th>目標値</th></tr><tr><td>訪問看護実施件数</td><td>年間4,800件以上</td></tr><tr><td>デイケア実施件数</td><td>年間2,950件以上</td></tr><tr><td>地域移行患者数</td><td>対象者数(入院期間5年以上)の5%以上</td></tr></table>	目標とする指標	目標値	紹介率	42.0%以上	逆紹介率	41.5%以上	目標とする指標	目標値	訪問看護実施件数	年間4,800件以上	デイケア実施件数	年間2,950件以上	地域移行患者数	対象者数(入院期間5年以上)の5%以上	ロ 医療機器、施設の計画的な更新・整備 (イ)医療機器、施設の更新・整備 医療機器及び施設設備の更新・整備に当たっては、県が進める県立病院の再編協議の進捗を踏まえ、費用対効果、県民の医療需要、医療技術の進展・現況等を十分に考慮し、中長期的な投資計画を作成の上、計画的に更新・整備を行う。 (ロ)建替え事業の推進 「宮城県立精神医療センターの今後のあり方に関する報告書」により提言された、当センターに求められる役割を基に、新病院建設に向け院内で検討し、令和5年度に取りまとめた「当センターの果たすべき役割と今後の方向性」を実現するため、関係者との協議・連携等、着実に取り組みを進める。 ハ 地域医療への貢献 患者が地域において良質な医療を適切に受けることを目標として、現在まで実施してきた取組に加えて、精神医療センターが持つ高度・専門医療の機能を効率的に発揮し、次の取組を重点的に行うなど、地域医療機関との機能分担や協力体制の維持・強化を図る。 また、新興感染症等の公衆衛生上の重大な危害が発生した場合は、県の要請に応じ地域医療の確保に努める。 (イ)地域の医療機関との病病・病診連携及び障害福祉サービス等との連携の推進 精神医療センターが持つ高度・専門医療の機能を充分に発揮するため、地域の医療機関との病病・病診連携(核となる病院と地域の病院・診療所が行う連携)に取り組むとともに、行政や地域の障害福祉サービス事業所、教育機関、児童福祉施設等との連携を強化する。 くわえて、障害者自立支援協議会等の地域精神保健福祉活動への参加を推進し、障害福祉サービスの基盤整備に尽力する。 さらに、患者に合った地域生活ができるよう支援するため、地域の支援者等と協働して、地域包括ケアシステムにおける役割を果たす。 (ロ)患者の紹介率、逆紹介率の向上 地域の医療機関及びに関係各機関との連携を図り、下記の目標値以上の患者紹介率及び逆紹介率を目指す。 <table><tr><th>目標とする指標</th><th>目標値</th></tr><tr><td>紹介率</td><td>42.0%以上</td></tr><tr><td>逆紹介率</td><td>41.5%以上</td></tr></table> (ハ)地域移行・地域定着支援の実施 ①多職種によるチーム支援・訪問支援の提供 重症度等に応じて、地域支援者等との連携のもと多職種によるチーム支援・訪問支援や心理社会的療法も含めた地域移行・定着プログラムの継続等により、計画的な支援を図る。 ②リハビリテーションの提供 個人・集団作業療法、疾患別心理教育、認知リハビリテーション等を計画的に実施し、患者の地域移行・地域定着を推進する。 <table><tr><th>目標とする指標</th><th>目標値</th></tr><tr><td>訪問看護実施件数</td><td>年間6,075件以上</td></tr><tr><td>デイケア実施件数</td><td>年間2,950件以上</td></tr><tr><td>地域移行患者数</td><td>対象者数(入院期間5年以上)の5%以上</td></tr></table>	目標とする指標	目標値	紹介率	42.0%以上	逆紹介率	41.5%以上	目標とする指標	目標値	訪問看護実施件数	年間6,075件以上	デイケア実施件数	年間2,950件以上	地域移行患者数	対象者数(入院期間5年以上)の5%以上	◇医療機器、施設の更新・整備については、費用対効果、県民の医療需要、医療技術の進展、機器等の現況等を十分に考慮し、中長期的な投資計画に基づき、計画的に行っているか。 ◇地域の医療機関との病病・病診連携の取組状況はどうか。 ◇地域包括ケアシステムにおける役割を果たしているか。 ◇地域精神保健福祉活動への参画及び障害福祉サービス等への支援の取組状況はどうか。 ◇中期目標、中期計画及び年度計画に掲げる数値の達成状況はどうか。 ◇患者の地域移行・地域定着支援の推進状況はどうか。 ◇中期目標、中期計画及び年度計画に掲げる数値の達成状況はどうか。
目標とする指標	目標値																														
紹介率	42.0%以上																														
逆紹介率	41.5%以上																														
目標とする指標	目標値																														
訪問看護実施件数	年間4,800件以上																														
デイケア実施件数	年間2,950件以上																														
地域移行患者数	対象者数(入院期間5年以上)の5%以上																														
目標とする指標	目標値																														
紹介率	42.0%以上																														
逆紹介率	41.5%以上																														
目標とする指標	目標値																														
訪問看護実施件数	年間6,075件以上																														
デイケア実施件数	年間2,950件以上																														
地域移行患者数	対象者数(入院期間5年以上)の5%以上																														

令和6年度業務実績			定量 評価	定性 評価	業務実績の参考となる指標等																
※定量評価は年度計画に対する達成率で判定																					
ロ 医療機器、施設の計画的な更新・整備				A	【精神医療センター】																
精神科医療の基幹病院として、良質な医療の提供や医療水準の向上を図るため、収支バランスを考慮し、計画的な医療機器等の更新・導入及び施設の整備を行った。 特に、療養環境整備の観点から、早急に修繕が必要だった屋上屋根防水工事等について、県と調整した結果、令和5年度の後半に修繕事業として認められ、令和6年11月に施工完了した。			参考となる指標		単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	状況											
			機器等の整備計画の策定と具体的な取組状況			超音波診断装置、電解質分析装置、食器洗浄機、セントラルモニター一式、医療情報系LAN用PC更新	情報系LAN用パソコン等一式、生理検査システム、公用自動車(3台)、薬用冷蔵庫(2台)、診療材料キャビネット(7台)、ティーサーバー更新	除細動器、公用自動車(1台)、冷温蔵配膳車(4台)、蒸気回転釜(3台)等の更新	解析機能付心電計、生化学自動分析装置、尿化学分析装置、ガスレンジ(2台)、集塵機付調剤台等の更新												
ハ 地域医療への貢献																					
(イ)地域の医療機関との病病・病診連携及び障害福祉サービス等との連携の推進				B																	
地域医療連携室を中心に連携病院及びその他関係機関と連携を推進し、受診・入院の受け入れ、地域移行・地域定着支援を図るとともに、地域包括ケアシステムを活用して、地域の医療機関と連携し、より安定的な支援体制の構築に努めた。																					
患者の安心で安全な地域生活を支えるため、地域と構築してきた地域包括ケアシステムをベースに、必要時の入院の受け入れ及び、地域生活における継続的な関わりなど、地域の関係機関と連携を取りながら役割を果たしている。 訪問看護においては、退院後の患者の地域生活が継続できるよう支援を行うとともに、地域の支援者との連携を図り、地域と医療をつなぐ役割を果たしている。				A																	
行政が実施している精神保健相談への医師派遣、自立支援協議会などの地域精神保健福祉活動に関係する会議への職員派遣や、精神疾患に関する普及啓発のための講師派遣等を積極的にやっている。また、障害福祉サービス事業所などに対しては、事例を通して双方の対応能力の向上を図るなどの研鑽を重ねている。				A																	
(ロ) 患者の紹介率、逆紹介率の向上																					
<table><tr><td>指標</td><td>実績値</td><td>達成率</td></tr><tr><td>紹介率(%)</td><td>33.5</td><td>79.8%</td></tr><tr><td>逆紹介率(%)</td><td>50.7</td><td>122.2%</td></tr></table>			指標	実績値	達成率	紹介率(%)	33.5	79.8%	逆紹介率(%)	50.7	122.2%		D	【精神医療センター】							
指標	実績値	達成率																			
紹介率(%)	33.5	79.8%																			
逆紹介率(%)	50.7	122.2%																			
				A	参考となる指標	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	状況										
					患者紹介率	%	37.1	33.2	40.1	33.5	↓										
					患者逆紹介率	%	39.2	44.9	43.9	50.7	↑										
(ハ)地域移行・地域定着支援の実施				A																	
地域ケア会議の開催等を通じ、医師を含めた多職種チームと地域の支援スタッフがともに患者の自立生活に向けた計画的支援を行えるよう連携を図った。 訪問看護ステーションを中心に、多職種での複数名訪問及び患者の状態に応じた頻回且つ丁寧な支援を行い、患者の再発防止等に努めた。特に長期入院患者や入退院を繰り返す患者については退院前訪問や退院日の訪問を行い円滑な地域移行に努めた。 新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、昨年再開した入院患者のデイケア見学・試験通所が定着し、入院時の作業療法プログラムから退院後のデイケアプログラムを実施し、地域移行・定着に向け継続した支援を提供した。																					
<table><tr><td>指標</td><td>実績値</td><td>達成率</td></tr><tr><td>訪問看護実施件数(件)</td><td>6,055</td><td>99.7%</td></tr><tr><td>デイケア実施件数(件)</td><td>3,775</td><td>128.0%</td></tr><tr><td>地域移行患者数(人)</td><td>6</td><td>120.0%</td></tr></table>			指標		実績値	達成率	訪問看護実施件数(件)	6,055	99.7%	デイケア実施件数(件)	3,775	128.0%	地域移行患者数(人)	6	120.0%						
指標	実績値	達成率																			
訪問看護実施件数(件)	6,055	99.7%																			
デイケア実施件数(件)	3,775	128.0%																			
地域移行患者数(人)	6	120.0%																			
				C	【精神医療センター】																
				A	参考となる指標	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	状況										
				A	地域ケア会議実施回数	回	1,991	1,226	1,453	1,712	↑										
					訪問看護実施件数	回	4,773	5,501	5,865	6,055	↑										
					リハビリテーション提供実績(作業療法)	件	12,245	11,804	13,597	11,650	↓										
					デイケア実施件数	件	3,233	2,689	2,832	3,775	↑										
					地域移行患者数	人	4	5	6	6	→										

第4期中期目標 (令和5～8年度)	第4期中期計画 (令和5～8年度)	令和6年度計画	評価の視点									
二 医療に関する調査研究と情報の発信 本県の医療水準の向上が図られるよう、精神疾患に関する知識や理解の普及啓発に努めるとともに、医療に関する調査・研究を推し進め、その成果や情報を積極的に発信していくこと。 また、疾病に関する情報を、セミナーなどを通して広く分かりやすく発信し、県民から信頼される病院づくりに努めること。	(二)医療相談会への参加 自治体が開催する医療相談会へ積極的に参加する。	(二)医療相談会への参加 自治体が開催する医療相談会へ積極的に参加する。	◇中期計画及び年度計画に掲げる数値の達成状況はどうか。									
	<table><tr><th>目標とする指標</th><th>目標値</th></tr><tr><td>自治体の医療相談会参加回数</td><td>年110回</td></tr></table>	目標とする指標		目標値	自治体の医療相談会参加回数	年110回	<table><tr><th>目標とする指標</th><th>目標値</th></tr><tr><td>自治体の医療相談会参加回数</td><td>年110回</td></tr></table>	目標とする指標	目標値	自治体の医療相談会参加回数	年110回	
	目標とする指標	目標値										
	自治体の医療相談会参加回数	年110回										
	目標とする指標	目標値										
自治体の医療相談会参加回数	年110回											
二 医療に関する調査・研究と情報の発信 県内における精神科医療の水準向上が図られるよう、医療に関する調査・研究を推進し、その成果や情報を発信する。 また、治療の実績、疾病や検診に関する情報を分かりやすく県民に広報し、県民から信頼される病院づくりを進める。	二 医療に関する調査・研究と情報の発信 県内の精神医療水準の向上が図られるよう、医療に関する調査・研究を推進し、その成果や情報を発信する。 また、治療の実績、疾病や検診に関する情報を分かりやすく県民に広報し、県民から信頼される病院づくりを進める。	二 医療に関する調査・研究と情報の発信 県内の精神医療水準の向上が図られるよう、医療に関する調査・研究を推進し、その成果や情報を発信する。 また、治療の実績、疾病や検診に関する情報を分かりやすく県民に広報し、県民から信頼される病院づくりを進める。										
(イ)調査・研究の推進 治療実績や医療に係る情報の蓄積、管理に努めるとともに、診断や治療などを臨床に応用するための調査・研究を進める。 なお、この調査・研究を進めるに当たっては、倫理審査委員会を活用した審査を行うなど、個人の人権や安全に十分配慮し、適切に実施する。	(イ)調査・研究の推進 治療実績や医療に係る情報の蓄積、管理に努めるとともに、診断や治療などを臨床に応用するための調査・研究を進める。 なお、この調査・研究を進めるに当たっては、倫理審査委員会を活用した審査を行うなど、個人の人権や安全に十分配慮し、適切に実施する。	(イ)調査・研究の推進 治療実績や医療に係る情報の蓄積、管理に努めるとともに、診断や治療などを臨床に応用するための調査・研究を進める。 なお、この調査・研究を進めるに当たっては、倫理審査委員会を活用した審査を行うなど、個人の人権や安全に十分配慮し、適切に実施する。	◇臨床に応用するための調査・研究の取組状況はどうか。また、倫理審査委員会の審査は適切に行われているか。									
<table><tr><th>目標とする指標</th><th>目標値</th></tr><tr><td>倫理審査新規審議件数</td><td>10件</td></tr></table>	目標とする指標	目標値	倫理審査新規審議件数	10件	<table><tr><th>目標とする指標</th><th>目標値</th></tr><tr><td>倫理審査新規審議件数</td><td>10件</td></tr></table>	目標とする指標	目標値	倫理審査新規審議件数	10件		◇中期計画及び年度計画に掲げる数値の達成状況はどうか。	
目標とする指標	目標値											
倫理審査新規審議件数	10件											
目標とする指標	目標値											
倫理審査新規審議件数	10件											
	(ロ)学会等への積極的参加と関係機関への情報発信 学会等への参加及び研究成果の発表を奨励・支援するとともに、専門誌等への寄稿等を通じて関係機関への情報発信を行う。	(ロ)学会等への積極的参加と関係機関への情報発信 学会等(オンラインを含む。)への参加及び研究成果の発表を奨励・支援するとともに、専門誌等への寄稿等を通じて関係機関への情報発信を行う。	◇学会等への参加や関係機関への情報発信の取組状況はどうか。									
	<table><tr><th>目標とする指標</th><th>目標値</th></tr><tr><td>学会発表</td><td>10件</td></tr><tr><td>学会参加者数</td><td>90人</td></tr><tr><td>専門誌への寄稿件数</td><td>1件</td></tr></table>	目標とする指標	目標値	学会発表	10件	学会参加者数	90人	専門誌への寄稿件数	1件			◇年度計画に掲げる数値の達成状況はどうか。
目標とする指標	目標値											
学会発表	10件											
学会参加者数	90人											
専門誌への寄稿件数	1件											
(ハ)WEBサイト等を利用した疾病や検診の情報提供 WEBサイト等の広報媒体を通じ、県民が関心のある疾病や検診等に関する情報を分かりやすく提供する。 また、IT環境の変化に応じて、WEBサイト等を充実させる。	(ハ)WEBサイト等を利用した疾病や検診の情報提供 WEBサイト等の広報媒体を通じ、県民が関心のある疾病等に関する情報を分かりやすく提供する。 また、IT環境の変化に応じて、WEBサイト等を充実させる。	(ハ)WEBサイト等を利用した疾病や検診の情報提供 WEBサイト等の広報媒体を通じ、県民が関心のある疾病等に関する情報を分かりやすく提供する。 また、IT環境の変化に応じて、WEBサイト等を充実させる。	◇WEBサイトの充実や情報提供への取組状況はどうか。									

令和6年度業務実績 ※定量評価は年度計画に対する達成率で判定			定量 評価	定性 評価	業務実績の参考となる指標等									
(二)医療相談会への参加			A		【精神医療センター】									
					参考となる指標	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	状況			
自治体の医療相談会参加回数(回)					147		133.6%	医療機関向けセミナーの参加実績	件	0	0	0	0	→
								医療相談会の開催回数	回	132	131	130	147	↑
二 医療に関する調査・研究と情報の発信														
(イ)調査・研究の推進 国際疾病分類法に則した統計データや、入院患者の在院期間別構成等その他臨床指標の統計データを統計集として院内で情報共有化を図った。			B		【精神医療センター】									
					参考となる指標	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	状況			
治療実績等に係るデータベースの作成					有無	有	有	有	有					
【精神医療センター】			A		【精神医療センター】									
					参考となる指標	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	状況			
倫理審査新規審議件数(件)					13		130.0%	倫理審査新規審議件数	件	20	19	10	13	↑
(ロ)学会等への積極的参加と関係機関への情報発信 医師のほか看護師、コメディカルについてもオンライン開催を含む学会発表・参加とともに、院内研究発表会などを通じて成果の積極的な情報発信に努めた。また、新型コロナウイルス感染症の流行を経て、学会の参加方法も、現地参加やオンライン参加など柔軟に選択できる環境となってきたため、院内の情報機器や受講環境を整え、参加を促進した。			B		【精神医療センター】									
					参考となる指標	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	状況			
学会発表(件)					6		60.0%	学会発表	件	8	14	11	6	↓
学会参加者数(人)					89		98.9%	学会参加者数	人	97	94	89	89	→
専門誌への寄稿件数(件)					0		0.0%	専門誌への寄稿件数	件	0	0	2	0	↓
(ハ)WEBサイト等を利用した疾病や検診の情報提供 当センターの診療情報、職員募集情報及び各部門案内について最新情報に更新するよう努めた。			B		【精神医療センター】									
					参考となる指標	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	状況			
WEBサイトの充実								診療情報、各部門案内等について発信した。		診療情報、各部門案内等について発信した。		診療情報、各部門案内等について発信した。		診療情報、各部門案内等について発信した。

第4期中期目標 (令和5～8年度)	第4期中期計画 (令和5～8年度)	令和6年度計画	評価の視点																				
(2) がんセンター	(2) がんセンター	(2) がんセンター	(2) がんセンター																				
イ 政策医療、高度・専門医療の確実な提供 高度・専門医療を提供していくため、診療機能の充実を図っていくこと。 また、東北大学病院との機能分担や連携のもと、県がん診療連携拠点病院として、求められる診療機能や患者相談支援・情報提供機能の強化及びがん登録の質的向上を図り、地域連携を推進し、「全県のがん診療体制」の構築に努めること。 特に、地域のがん患者療養支援ネットワークとの連携及びがんゲノム医療連携病院として果たすべきがんゲノム医療及び県がん診療連携拠点病院として果たすべき緩和ケアの一層の充実を図り、引き続き医療の質の向上に努めること。 あわせて、がんに関する研究が促進されるよう、がんセンター研究所を効率的に運営し、その成果を生かした医療を提供するよう努めること。 【指標】 ① 手術件数を毎年度、1,600件以上（うちロボット手術件数160件以上）とすること。（前中期目標期間実績：令和元年度1,441件（うちロボット手術件数28件）、令和2年度1,449件（うちロボット手術件数124件）、令和3年度1,625件（うちロボット手術件数167件）） ② がん遺伝子パネル検査 件数を毎年度、50件以上とすること。（前中期目標期間実績：令和元年度21件、令和2年度56件、令和3年度49件） ③ 緩和ケアチーム による対応件数を毎年度、350件以上とすること。（前中期目標期間実績：令和元年度267件、令和2年度338件、令和3年度444件）	イ 政策医療、高度・専門医療の確実な提供 （イ）がん患者の状態に応じた適切な治療の提供 がんの種類や患者の状態に応じて、手術療法、放射線療法、化学療法、さらにそれらを効果的に組み合わせた集学的治療や緩和ケアなど、がんの全てのステージにおいて、最適な治療を提供する。 また、手術療法においては、低侵襲化を推進し、患者負担の少ない治療を提供する。 さらに、患者の求める医療の変化に応じて、必要とされる医師・看護師等を配置し、適切な治療を提供する。	イ 政策医療、高度・専門医療の確実な提供 （イ）がん患者の状態に応じた適切な治療の提供 ①がん患者の状態に応じた治療の実施 がんの種類や患者の状態に応じて、手術療法、放射線療法、化学療法、又はそれらを効果的に組み合わせた集学的治療など、最適な治療を提供する。 ②集学的治療の一層の推進 集学治療棟において、PET－CTによる検査及びリニアック等による放射線治療に加え、外来化学療法の実施により、集学的治療を一層推進する。 ③低侵襲化の検討、推進 手術療法においては、手術支援ロボットや内視鏡手術システムを活用し、低侵襲化を推進し、患者負担の少ない治療を提供する。 ④がんゲノム医療センターの運用 がんゲノム医療連携病院として、中心的な役割を担うがんゲノム医療センターにて、継続的ながんゲノム医療支援を提供する。 ⑤適切な医師、看護師等の人員配置 患者数の変動や、提供する医療内容の変化に応じて、必要とされる医師・看護師の配置に努め、適切な医療を提供する。	◇がんの種類や患者の状態に応じて、最適な治療が提供できているか。 ◇低侵襲化手術など、患者負担の少ない治療への取組状況はどうか。 ◇患者の求める医療の変化に応じた人員配置がなされているか。 ◇中期目標、中期計画及び年度計画に掲げる数値の達成状況はどうか。																				
	<table><tr><th>目標とする指標</th><th>目標値</th></tr><tr><td>手術件数</td><td>年間1,600件以上（うちロボット手術件数160件以上）</td></tr><tr><td>トモセラピー件数</td><td>年間4,500件以上</td></tr><tr><td>リニアック件数</td><td>年間11,800件以上</td></tr><tr><td>化学療法室使用件数</td><td>年間7,300件以上</td></tr></table>	目標とする指標	目標値	手術件数	年間1,600件以上（うちロボット手術件数160件以上）	トモセラピー件数	年間4,500件以上	リニアック件数	年間11,800件以上	化学療法室使用件数	年間7,300件以上	<table><tr><th>目標とする指標</th><th>目標値</th></tr><tr><td>手術件数</td><td>年間1,600件以上（うちロボット手術件数160件以上）</td></tr><tr><td>トモセラピー使用回数</td><td>年間2,250件以上</td></tr><tr><td>リニアック使用回数</td><td>年間11,800件以上</td></tr><tr><td>化学療法室使用件数</td><td>年間7,300件以上</td></tr></table>	目標とする指標	目標値	手術件数	年間1,600件以上（うちロボット手術件数160件以上）	トモセラピー使用回数	年間2,250件以上	リニアック使用回数	年間11,800件以上	化学療法室使用件数	年間7,300件以上	
目標とする指標	目標値																						
手術件数	年間1,600件以上（うちロボット手術件数160件以上）																						
トモセラピー件数	年間4,500件以上																						
リニアック件数	年間11,800件以上																						
化学療法室使用件数	年間7,300件以上																						
目標とする指標	目標値																						
手術件数	年間1,600件以上（うちロボット手術件数160件以上）																						
トモセラピー使用回数	年間2,250件以上																						
リニアック使用回数	年間11,800件以上																						
化学療法室使用件数	年間7,300件以上																						

令和6年度業務実績			定量評価	定性評価	業務実績の参考となる指標等																																																																																																																						
※定量評価は年度計画に対する達成率で判定																																																																																																																											
(2) がんセンター																																																																																																																											
イ 政策医療、高度・専門医療の確実な提供 (イ)がん患者の状態に応じた適切な治療の提供 がんの種類や患者の状況に応じて、手術、放射線治療、化学療法による最適な治療やチームによる緩和ケアを提供した。 集学治療棟においては、PET－CTによる検査、トモセラピーによる放射線治療、外来化学療法室により集学的治療の一層の促進を図った。本館では最新型リニアックに更新中である。 また、就労支援の一環として平成26年度に開始したハローワークと連携した就労相談や夜間外来化学療法を引き続き実施した。 低侵襲外科手術として高性能手術支援ロボットでの手術件数は248件であった。内訳は泌尿器科(前立腺がん53件、膀胱がん11件)、消化器外科(直腸がん21件、結腸10件、肝臓4件、膵臓3件、胃がん30件)、呼吸気外科(肺45件、縦隔1件)、婦人科70件であった。その他、3D内視鏡手術システムを用いた手術やIR(赤外線観察システム)を行った。また、毎月、低侵襲外科センター運営委員会でも安全性や患者負担の軽減対策を十分に検討している。 令和5年5月に新型コロナウイルスが5類となったことで、同年10月より新型コロナウイルス感染病棟を緩和ケア病棟に戻し患者の受け入れを始めた。受入当初は10床より稼働を開始し、看護師を配置したが、緩和ケア病棟入棟希望の患者増加に伴い、病床数の増加と看護師配置人数も業務量に応じた人数とした。令和6年4月より25床フル稼働となり、看護師に関しても適正な配置人数を行い、患者・家族が望むような医療の提供ができています。					【がんセンター】 <table><tr><th>参考となる指標</th><th>単位</th><th>令和3年度</th><th>令和4年度</th><th>令和5年度</th><th>令和6年度</th><th>状況</th></tr><tr><td>入院患者数(病院全体)</td><td>人</td><td>88,858</td><td>92,273</td><td>90,343</td><td>94,802</td><td>↑</td></tr><tr><td>入院収益(病院全体)</td><td>千円</td><td>5,412,943</td><td>5,753,762</td><td>5,777,527</td><td>6,209,608</td><td>↑</td></tr><tr><td>外来患者数(病院全体)</td><td>人</td><td>81,621</td><td>84,595</td><td>84,155</td><td>84,214</td><td>↑</td></tr><tr><td>外来収益(病院全体)</td><td>千円</td><td>3,894,355</td><td>3,889,765</td><td>4,197,120</td><td>4,544,370</td><td>↑</td></tr><tr><td>院内クリティカルパス新規作成件数</td><td>件</td><td>16</td><td>5</td><td>20</td><td>22</td><td>↑</td></tr><tr><td>院内クリティカルパス更新修正件数</td><td>件</td><td>66</td><td>29</td><td>38</td><td>94</td><td>↑</td></tr><tr><td>院内クリティカルパス運用件数</td><td>件</td><td>2,155</td><td>2,535</td><td>2,439</td><td>2,487</td><td>↑</td></tr><tr><td>手術件数</td><td>件</td><td>1,622</td><td>1,671</td><td>1,679</td><td>1,724</td><td>↑</td></tr><tr><td>放射線治療件数</td><td>件</td><td>14,989</td><td>17,381</td><td>14,371</td><td>14,378</td><td>↑</td></tr><tr><td>トモセラピー件数</td><td>件</td><td>3,723</td><td>4,020</td><td>3,567</td><td>4,026</td><td>↑</td></tr><tr><td>リニアック件数</td><td>件</td><td>11,248</td><td>13,302</td><td>10,728</td><td>10,282</td><td>↓</td></tr><tr><td>化学療法治療件数(入院)</td><td>件</td><td>5,450</td><td>4,592</td><td>5,022</td><td>4,461</td><td>↓</td></tr><tr><td>化学療法治療件数(外来)(化学療法室使用件数)</td><td>件</td><td>7,255</td><td>7,865</td><td>8,079</td><td>8,928</td><td>↑</td></tr></table> <table><tr><th>参考となる指標</th><th>単位</th><th>令和3年度</th><th>令和4年度</th><th>令和5年度</th><th>令和6年度</th><th>状況</th></tr><tr><td>高性能手術支援ロボットによる手術件数</td><td>件</td><td>167</td><td>210</td><td>255</td><td>248</td><td>↓</td></tr></table>							参考となる指標	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	状況	入院患者数(病院全体)	人	88,858	92,273	90,343	94,802	↑	入院収益(病院全体)	千円	5,412,943	5,753,762	5,777,527	6,209,608	↑	外来患者数(病院全体)	人	81,621	84,595	84,155	84,214	↑	外来収益(病院全体)	千円	3,894,355	3,889,765	4,197,120	4,544,370	↑	院内クリティカルパス新規作成件数	件	16	5	20	22	↑	院内クリティカルパス更新修正件数	件	66	29	38	94	↑	院内クリティカルパス運用件数	件	2,155	2,535	2,439	2,487	↑	手術件数	件	1,622	1,671	1,679	1,724	↑	放射線治療件数	件	14,989	17,381	14,371	14,378	↑	トモセラピー件数	件	3,723	4,020	3,567	4,026	↑	リニアック件数	件	11,248	13,302	10,728	10,282	↓	化学療法治療件数(入院)	件	5,450	4,592	5,022	4,461	↓	化学療法治療件数(外来)(化学療法室使用件数)	件	7,255	7,865	8,079	8,928	↑	参考となる指標	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	状況	高性能手術支援ロボットによる手術件数	件	167	210	255	248	↓
参考となる指標	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	状況																																																																																																																					
入院患者数(病院全体)	人	88,858	92,273	90,343	94,802	↑																																																																																																																					
入院収益(病院全体)	千円	5,412,943	5,753,762	5,777,527	6,209,608	↑																																																																																																																					
外来患者数(病院全体)	人	81,621	84,595	84,155	84,214	↑																																																																																																																					
外来収益(病院全体)	千円	3,894,355	3,889,765	4,197,120	4,544,370	↑																																																																																																																					
院内クリティカルパス新規作成件数	件	16	5	20	22	↑																																																																																																																					
院内クリティカルパス更新修正件数	件	66	29	38	94	↑																																																																																																																					
院内クリティカルパス運用件数	件	2,155	2,535	2,439	2,487	↑																																																																																																																					
手術件数	件	1,622	1,671	1,679	1,724	↑																																																																																																																					
放射線治療件数	件	14,989	17,381	14,371	14,378	↑																																																																																																																					
トモセラピー件数	件	3,723	4,020	3,567	4,026	↑																																																																																																																					
リニアック件数	件	11,248	13,302	10,728	10,282	↓																																																																																																																					
化学療法治療件数(入院)	件	5,450	4,592	5,022	4,461	↓																																																																																																																					
化学療法治療件数(外来)(化学療法室使用件数)	件	7,255	7,865	8,079	8,928	↑																																																																																																																					
参考となる指標	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	状況																																																																																																																					
高性能手術支援ロボットによる手術件数	件	167	210	255	248	↓																																																																																																																					
<table><tr><th>指標</th><th>実績値</th><th>達成率</th></tr><tr><td>手術件数(件)</td><td>1,724</td><td>107.8%</td></tr><tr><td>トモセラピー使用回数(件)</td><td>4,026</td><td>178.9%</td></tr><tr><td>リニアック使用回数(件)</td><td>10,282</td><td>87.1%</td></tr><tr><td>化学療法室使用件数(件)</td><td>8,928</td><td>122.3%</td></tr></table>			指標	実績値	達成率	手術件数(件)	1,724	107.8%	トモセラピー使用回数(件)	4,026	178.9%	リニアック使用回数(件)	10,282	87.1%	化学療法室使用件数(件)	8,928	122.3%	B	A	C	A																																																																																																						
指標	実績値	達成率																																																																																																																									
手術件数(件)	1,724	107.8%																																																																																																																									
トモセラピー使用回数(件)	4,026	178.9%																																																																																																																									
リニアック使用回数(件)	10,282	87.1%																																																																																																																									
化学療法室使用件数(件)	8,928	122.3%																																																																																																																									

第4期中期目標 (令和5～8年度)	第4期中期計画 (令和5～8年度)	令和6年度計画	評価の視点																				
	(ロ)がんゲノム医療に関する取組 国の「がんゲノム医療」の推進状況を注視しながら、ゲノム医療に関する正しい情報や知識を収集し、県民への情報提供や普及啓発を行うとともに、がんゲノム医療中核拠点病院である東北大学病院と連携しつつ必要な体制整備を行い、質の高いがんゲノム医療を提供する。 <table><tr><th>目標とする指標</th><th>目標値</th></tr><tr><td>がん遺伝子パネル検査件数</td><td>年間50件以上</td></tr></table> (ハ)がん予防に関する県民への啓発 がんなんでも講座、県民公開講座及びWeb配信等を通じて、県民に対してがん予防の啓発を行い、生活習慣の改善やPET-CTを利用した検診による早期発見・早期治療等を促す。 <table><tr><th>目標とする指標</th><th>目標値</th></tr><tr><td>一般向けセミナー開催回数</td><td>年4回</td></tr><tr><td>がん検診件数</td><td>年75回</td></tr></table> (ニ)東北大学病院との機能分担による「全県のがん診療体制」の構築 国の指針(「がん診療連携拠点病院等の整備について」(令和4年8月1日付け厚生労働省健康局長通知))及び今後新たながん診療連携拠点病院の指定要件等で求められる診療機能や患者相談支援・情報提供機能の整備及び質の高いがん登録を継続するとともに、地域連携を推進し、県がん診療連携拠点病院としての役割を担う。	目標とする指標	目標値	がん遺伝子パネル検査件数	年間50件以上	目標とする指標	目標値	一般向けセミナー開催回数	年4回	がん検診件数	年75回	(ロ)がんゲノム医療に関する取組 国の「がんゲノム医療」の推進状況を注視しながら、ゲノム医療に関する正しい情報や知識を収集し、県民への情報提供や普及啓発を行うとともに、がんゲノム医療中核拠点病院である東北大学と連携しつつ、必要な体制整備を行い、質の高いがんゲノム医療を提供する。 <table><tr><th>目標とする指標</th><th>目標値</th></tr><tr><td>がん遺伝子パネル検査件数</td><td>年間50件以上</td></tr></table> (ハ)がん予防に関する県民への啓発 がん予防、早期発見、早期治療等の重要性を県民に知ってもらうため、動画共有サービスを活用した「がん何でも講座」の実施及び一般向けセミナーの開催、エフエムなど「がん情報ラジオ」の放送、名取市の広報紙「広報なとり」における連載コラム「がん健康講座」の掲載など、がん予防啓発活動を積極的に推進し、生活習慣の改善やPET-CTを利用した検診による早期発見・早期治療等を促す。 <table><tr><th>目標とする指標</th><th>目標値</th></tr><tr><td>一般向けセミナー開催回数</td><td>年4回</td></tr><tr><td>がん検診件数</td><td>年75回</td></tr></table> (ニ)東北大学病院との機能分担による「全県のがん診療体制」の構築 都道府県がん診療連携拠点病院として、診療機能や患者相談支援・情報提供機能の整備を図るとともに、地域連携を推進し、「全県のがん診療体制」の構築に向け、以下の取組を行う。 ・緩和ケアに携わる医師を対象とした研修会及び緩和ケアを提供している病院との勉強会を定期的に実施する。 ・放射線治療に携わる医療従事者に対する研修をWEB等を利用して実施するほか、地域がん診療連携拠点病院が実施する研修への講師派遣等の協力を行う。 ・県内のがん患者会や家族会、関係団体等との意見交換会や交流会を通じて、がん情報提供や相談支援を行う。また、県内の相談窓口の情報共有・ネットワーク化を推進する。 ・がんセンターの医療機能を効率的に提供するため、地域の医療機関との機能分担・連携を進める。 ・中級認定者の複数配置を維持し、質の高い登録を安定的に実施し、生存率を含む集計結果のタイムリーかつ分かりやすい公表と院内での利活用を推進するとともに、「がん登録実務者育成支援事業」を推進し、地域におけるがん登録の実務の継続性及び質の向上に貢献する。	目標とする指標	目標値	がん遺伝子パネル検査件数	年間50件以上	目標とする指標	目標値	一般向けセミナー開催回数	年4回	がん検診件数	年75回	◇がんゲノム医療への取組状況はどうか。 ◇中期目標、中期計画及び年度計画に掲げる数値の達成状況はどうか。 ◇県民に対するがん予防の啓発への取組状況はどうか。 ◇中期計画及び年度計画に掲げる数値の達成状況はどうか。 ◇国の指針等で求められる診療機能や患者相談支援・情報提供機能の整備及び質の高いがん登録への取組状況はどうか。 ◇県がん診療連携拠点病院としての役割を果たしているか。 ○年度計画に掲げる数値の達成状況はどうか。
目標とする指標	目標値																						
がん遺伝子パネル検査件数	年間50件以上																						
目標とする指標	目標値																						
一般向けセミナー開催回数	年4回																						
がん検診件数	年75回																						
目標とする指標	目標値																						
がん遺伝子パネル検査件数	年間50件以上																						
目標とする指標	目標値																						
一般向けセミナー開催回数	年4回																						
がん検診件数	年75回																						

令和6年度業務実績			定量評価	定性評価	業務実績の参考となる指標等																																																																					
※定量評価は年度計画に対する達成率で判定																																																																										
(ロ)がんゲノム医療に関する取組 保険診療のがん遺伝子パネル検査は検査出庫89例と増加した。この要因は新規の分子標的薬剤が保険収載されたことなどがある。「エキスパートパネル実施可能ながんゲノム医療連携病院」指定にむけて院内エキスパートパネル実施体制を構築した。院内で模擬エキスパートパネルを4回実施、東北大学病院に指定に向けて申請を実施、承認された。			A	A	【がんセンター】 <table><tr><th>参考となる指標</th><th>単位</th><th>令和3年度</th><th>令和4年度</th><th>令和5年度</th><th>令和6年度</th><th>状況</th></tr><tr><td>がん遺伝子パネル検査</td><td>件</td><td>49</td><td>57</td><td>75</td><td>89</td><td>↑</td></tr></table>							参考となる指標	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	状況	がん遺伝子パネル検査	件	49	57	75	89	↑																																																	
参考となる指標	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	状況																																																																				
がん遺伝子パネル検査	件	49	57	75	89	↑																																																																				
(ハ)がん予防に関する県民への啓発 一般向けセミナーである「がんなんでも講座」は、7月に1件行った。県民公開講座については感染対策を行った上で、名取市文化会館を会場に当センター主催で行い、約65名の方が来場した。その他にも、がん情報ラジオの放送や外来掲示板を最大限活用し、がん予防に関する情報等を発信している。			A	B																																																																						
<table><tr><th>指標</th><th>実績値</th><th>達成率</th></tr><tr><td>がん遺伝子パネル検査件数(件)</td><td>89</td><td>178.0%</td></tr></table>			指標	実績値	達成率	がん遺伝子パネル検査件数(件)	89	178.0%	D	A	<table><tr><th>参考となる指標</th><th>単位</th><th>令和3年度</th><th>令和4年度</th><th>令和5年度</th><th>令和6年度</th><th>状況</th></tr><tr><td>一般向けセミナー開催回数(回)</td><td>回</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td><td>→</td></tr><tr><td>がん検診件数(件)</td><td>件</td><td>101</td><td>124</td><td>150</td><td>162</td><td>↑</td></tr></table>							参考となる指標	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	状況	一般向けセミナー開催回数(回)	回	2	2	2	2	→	がん検診件数(件)	件	101	124	150	162	↑																																				
指標	実績値	達成率																																																																								
がん遺伝子パネル検査件数(件)	89	178.0%																																																																								
参考となる指標	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	状況																																																																				
一般向けセミナー開催回数(回)	回	2	2	2	2	→																																																																				
がん検診件数(件)	件	101	124	150	162	↑																																																																				
(二)東北大学病院との機能分担による「全県のがん診療体制」の構築 外来初診時に相談窓口を訪問してもらう体制は定着し、その後の相談に繋がっている。院内・外周知のため、イベントの開催、情報誌の発行など行った。地域ラジオへの出演、市図書館での出張がん相談会の開催など、地域住民に向けた発信も行い、気軽に利用できる場として周知に努めた。患者会を定期開催し、養成研修を修了したがんピアサポーターの支援にも努めた。相談員の質の担保のため、認定がん専門相談員として新規1名、更新2名の申請を行い、認定登録されている。 また「がん登録実務者育成支援事業」を通して、県内における実務者の育成に貢献するとともに、宮城県がん診療連携協議会がん登録部会としてのオンラインによる研修会を6回開催した。また、県内のがん診療連携拠点病院8施設の比較集計を行った。			A	A	<table><tr><th>参考となる指標</th><th>単位</th><th>令和3年度</th><th>令和4年度</th><th>令和5年度</th><th>令和6年度</th><th>状況</th></tr><tr><td>緩和ケア研修会開催実績</td><td>回</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>→</td></tr><tr><td>緩和ケア勉強会開催実績</td><td>回</td><td>2</td><td>5</td><td>5</td><td>5</td><td>→</td></tr><tr><td>放射線治療研修会開催実績</td><td>回</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>→</td></tr><tr><td>がん相談窓口連携会議開催実績</td><td>回</td><td>7</td><td>7</td><td>7</td><td>7</td><td>→</td></tr><tr><td>がん登録患者数(実績)</td><td>人</td><td>2,032</td><td>2,095</td><td>2,070</td><td></td><td></td></tr><tr><td>うち5大がん登録患者数</td><td>人</td><td>921</td><td>942</td><td>910</td><td></td><td></td></tr><tr><td>うち5大がん以外(希少・難治性がん等)登録患者数</td><td>人</td><td>1,111</td><td>1,153</td><td>1,160</td><td></td><td></td></tr><tr><td>5大がん以外登録数の比率</td><td>件</td><td>54.7</td><td>45.0</td><td>56.0</td><td></td><td></td></tr></table> ※がん登録については8月以降実績が確定する。							参考となる指標	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	状況	緩和ケア研修会開催実績	回	1	1	1	1	→	緩和ケア勉強会開催実績	回	2	5	5	5	→	放射線治療研修会開催実績	回	0	0	0	0	→	がん相談窓口連携会議開催実績	回	7	7	7	7	→	がん登録患者数(実績)	人	2,032	2,095	2,070			うち5大がん登録患者数	人	921	942	910			うち5大がん以外(希少・難治性がん等)登録患者数	人	1,111	1,153	1,160			5大がん以外登録数の比率	件	54.7	45.0	56.0		
参考となる指標	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	状況																																																																				
緩和ケア研修会開催実績	回	1	1	1	1	→																																																																				
緩和ケア勉強会開催実績	回	2	5	5	5	→																																																																				
放射線治療研修会開催実績	回	0	0	0	0	→																																																																				
がん相談窓口連携会議開催実績	回	7	7	7	7	→																																																																				
がん登録患者数(実績)	人	2,032	2,095	2,070																																																																						
うち5大がん登録患者数	人	921	942	910																																																																						
うち5大がん以外(希少・難治性がん等)登録患者数	人	1,111	1,153	1,160																																																																						
5大がん以外登録数の比率	件	54.7	45.0	56.0																																																																						
<table><tr><th>指標</th><th>実績値</th><th>達成率</th></tr><tr><td>緩和ケア研修会開催回数(回)</td><td>1</td><td>100.0%</td></tr></table>			指標	実績値	達成率	緩和ケア研修会開催回数(回)	1	100.0%	B	B																																																																
指標	実績値	達成率																																																																								
緩和ケア研修会開催回数(回)	1	100.0%																																																																								

第4期中期目標 (令和5～8年度)	第4期中期計画 (令和5～8年度)	令和6年度計画	評価の視点																				
	(ホ)がん患者の療養生活の質の向上 多職種で構成する緩和ケアチームにより、がんと診断されたときから、精神的ケアも含めた緩和ケアを推進する。 また、がん患者の在宅療養を支援するため、地域のがん患者療養支援ネットワークと連携し、緩和ケア病棟施設を活用することにより、患者及びその家族のQOL(クオリティ・オブ・ライフ)の向上を推進する。 さらに、緩和ケアチーム、緩和ケア外来、緩和ケア病棟等を有機的に統合する緩和ケアセンターを中心に、緩和ケアを一層充実させる。	(ホ)がん患者の療養生活の質の向上 ・がん患者の療養生活の質向上のため、多職種で構成する緩和ケアチームにより、がんと診断されたときから精神的ケアも含めた緩和ケアを実施する。また、がん患者の在宅療養を支援するため、地域のネットワークと連携し、緩和ケア病棟等を活用することで、患者・家族のクオリティ・オブ・ライフ(QOL)の向上に寄与する。 ・緩和ケアセンターは緩和ケアチーム、緩和ケア外来、緩和ケア病棟等を有機的に統合し、緩和ケアの充実を図る。	◇緩和ケアの推進状況はどうか。 ◇がん患者の在宅療養への支援に関する取組状況はどうか。 ◇地域のがん患者療養支援ネットワークとの連携や緩和ケア病棟施設の活用についてはどうか。 ◇中期目標、中期計画及び年度計画に掲げる数値の達成状況はどうか。																				
	<table><tr><th>目標とする指標</th><th>目標値</th></tr><tr><td>緩和ケアチームによる対応件数</td><td>年間350件以上</td></tr></table>	目標とする指標	目標値	緩和ケアチームによる対応件数	年間350件以上	<table><tr><th>目標とする指標</th><th>目標値</th></tr><tr><td>緩和ケアチームによる対応件数</td><td>年間350件以上</td></tr></table>	目標とする指標	目標値	緩和ケアチームによる対応件数	年間350件以上													
目標とする指標	目標値																						
緩和ケアチームによる対応件数	年間350件以上																						
目標とする指標	目標値																						
緩和ケアチームによる対応件数	年間350件以上																						
	(ヘ)研究の促進と研究成果の応用 高度で専門的な医療の提供に向け、東北大学との連携も図りながら医療機能や医療水準の向上に向けた基礎及び臨床研究を実施する。また、新薬開発に係る研究も積極的に受託する。 がんセンター研究所については、がんに対する先進的な研究を促進し、その成果をがんの診断・治療法開発に向けて活用を図る。特に、新しい診断法や新薬開発に関しては、企業との共同研究を積極的に推進する。 研究の内容や成果については、医療関係者のほか、県民の理解が深められるよう、積極的に公表する。 がん医療の変革に対応できる革新的な研究成果を発信し続けるため、競争的資金の獲得に努める。	(ヘ)研究の促進と研究成果の応用 高度で専門的な医療の提供に向け、大学との連携も図りながら医療機能や医療水準の向上に向けた基礎及び臨床研究を実施する。さらに若手臨床医を研究面で指導することで臨床医のキャリア形成を支援する。また、企業等による新薬開発に係る研究も積極的に受託する。 がんセンター研究所については、難治性がんを中心としたがんに対する先進的な研究を促進し、その成果をがんの診断・治療法開発に向けて活用を図るとともに、薬事戦略相談の実施等を検討課題とする。 さらに、研究の内容や成果については、がんセンターセミナー、県民公開講座、出前講座の開催、各種研修会への協力を通じて医療関係者のほか、県民の理解が深められるよう、積極的に公表する。	◇基礎及び臨床研究の実施状況はどうか。 ◇新薬開発に係る研究の受託状況はどうか。 ◇がんセンター研究所の研究状況と成果の活用についてはどうか。 ◇研究内容や成果の情報発信についてはどうか。 ◇中期計画及び年度計画に掲げる数値の達成状況はどうか。																				
	<table><tr><th>目標とする指標</th><th>目標値</th></tr><tr><td>科研費採択件数(新規・継続)</td><td>年間30件</td></tr><tr><td>科研費採択金額(新規・継続)</td><td>年間60,000千円</td></tr><tr><td>科研費を除いた外部資金獲得件数(新規・継続)</td><td>年間20件</td></tr><tr><td>科研費を除いた外部資金獲得金額(新規・継続)</td><td>年間70,000千円</td></tr></table>	目標とする指標	目標値	科研費採択件数(新規・継続)	年間30件	科研費採択金額(新規・継続)	年間60,000千円	科研費を除いた外部資金獲得件数(新規・継続)	年間20件	科研費を除いた外部資金獲得金額(新規・継続)	年間70,000千円	<table><tr><th>目標とする指標</th><th>目標値</th></tr><tr><td>科研費採択件数(新規・継続)</td><td>年間30件</td></tr><tr><td>科研費採択金額(新規・継続)</td><td>年間60,000千円</td></tr><tr><td>科研費を除いた外部資金獲得件数(新規・継続)</td><td>年間20件</td></tr><tr><td>科研費を除いた外部資金獲得金額(新規・継続)</td><td>年間70,000千円</td></tr></table>	目標とする指標	目標値	科研費採択件数(新規・継続)	年間30件	科研費採択金額(新規・継続)	年間60,000千円	科研費を除いた外部資金獲得件数(新規・継続)	年間20件	科研費を除いた外部資金獲得金額(新規・継続)	年間70,000千円	
目標とする指標	目標値																						
科研費採択件数(新規・継続)	年間30件																						
科研費採択金額(新規・継続)	年間60,000千円																						
科研費を除いた外部資金獲得件数(新規・継続)	年間20件																						
科研費を除いた外部資金獲得金額(新規・継続)	年間70,000千円																						
目標とする指標	目標値																						
科研費採択件数(新規・継続)	年間30件																						
科研費採択金額(新規・継続)	年間60,000千円																						
科研費を除いた外部資金獲得件数(新規・継続)	年間20件																						
科研費を除いた外部資金獲得金額(新規・継続)	年間70,000千円																						

令和6年度業務実績			定量評価	定性評価	業務実績の参考となる指標等						
※定量評価は年度計画に対する達成率で判定											
(木)がん患者の療養生活の質の向上 緩和ケアチームで依頼を受けた患者をチームメンバーで毎朝のミーティングで共有し身体面、精神面それぞれでラウンドし緩和医療についての相談を行い提案している。依頼件数は496件で前年度より2件増加している。チームでは1回/週カンファレンスを行い、さらに緩和ケアの推進に尽力している。苦痛のスクリーニングをもとにした各病棟へのカンファレンスの参加を行い、意見交換・情報共有を行い緩和ケアの推進に努めている。 在宅支援診療所から当院に緊急入院できるシステムとして「緊急緩和ケア病床」を確保している。新規登録施設の拡大や病床利用についてメールや郵送で案内し、登録施設は32施設となった。緊急緩和ケア病床利用の申し込みは、登録施設からの申込であるが、コロナ禍が明けて緩和ケア病棟が再開し過去最高であった昨年度より増加し、41件の受入れを行った。 緩和ケア地域連携カンファレンスは、案内範囲を徐々に拡大し県内全域へ案内した。参加者は延べ300名だった。緩和ケア病棟として総入院患者は319名、そのうち在宅療養がん患者は77名(約24%)を受入れた。地域との切れ目のない連携を図るため随時メールや郵送で緩和ケアに関する内容の案内等を継続して行っている。			A	A	【がんセンター】						
					参考となる指標	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	状況
					緩和ケアチームによる対応件数	件	444	459	494	496	↑
					緩和ケア病棟患者数	人	16	147	215	319	↑
					在宅療養がん患者の緩和ケア病棟利用実績	件	0	36	43	77	↑
			</								

第4期中期目標 (令和5～8年度)	第4期中期計画 (令和5～8年度)	令和6年度計画	評価の視点												
ロ 医療機器、施設の計画的な更新・整備 病院施設の老朽化が進行しつつあることから、償還等の負担、費用対効果等を十分に考慮した中長期的な投資計画のもと、計画的に施設及び設備の更新、整備を図ること。 なお、施設及び設備の更新、整備を行う際は、県立病院の再編協議の進捗を踏まえるものとする。 ハ 地域医療への貢献 ICT(情報・通信)に関連する技術一般の総称)等の活用により、地域の医療機関との病病・病診連携(核となる病院と地域の病院・診療所が行う連携)に取り組み、患者の紹介・逆紹介を推進するなど、がんセンターが持つ医療機能が効率的に発揮されるよう努め、患者が地域において良質な医療を適切に受けることができるよう、他の医療機関との機能分担や協力体制を強化すること。 また、地域の支援者等と協働して、患者に合った地域生活ができるよう支援するなど、地域包括ケアシステムにおける役割を果たすこと。 新興感染症等の公衆衛生上の重大な危害が発生した場合は、県の要請に応じ地域医療の確保に努めること。 【指標】 ① 紹介率を毎年度、87.5%以上とすること。(前中期目標期間実績:令和元年度88.5%、令和2年度88.1%、令和3年度85.0%) ② 逆紹介率を毎年度、56.0%以上とすること。(前中期目標期間実績:令和元年度54.8%、令和2年度59.9%、令和3年度52.5%)	ロ 医療機器、施設の計画的な更新・整備 機器等の整備に当たっては、県が進める県立病院の再編協議の進捗を踏まえ、費用対効果、県民の医療需要、医療技術の進展、機器等の現況等を十分に考慮し、中長期的な投資計画を作成の上、計画的に更新・整備を行う。 中期目標期間中に更新・整備する機器等に関する投資総額は、別紙4のとおりとする。 ただし、状況に応じて増減があるものとする。 ハ 地域医療への貢献 高度・専門医療の機能を効率的に発揮し、患者が地域において良質な医療を適切に受けることを目標として、次の取組を重点的に行い、地域医療機関との機能分担や協力体制の維持・強化を進める。 また、新興感染症等の公衆衛生上の重大な危害が発生した場合は、県の要請に応じ地域医療の確保に努める。 (イ)地域の医療機関との病病・病診連携の推進等 ICTの活用を推進し、地域の医療機関との病病・病診連携に取り組みとともに、地域包括ケアシステムにおける役割を果たすため、地域の支援者等と協働して、患者に合った地域生活ができるよう支援を行う。 (ロ)患者の紹介率、逆紹介率の向上 患者の紹介率及び逆紹介率は、中期目標で指示されている目標値を目指す。 <table><tr><th>目標とする指標</th><th>目標値</th></tr><tr><td>紹介率(歯科除く)</td><td>87.5%以上</td></tr><tr><td>逆紹介率</td><td>56.0%以上</td></tr></table>	目標とする指標	目標値	紹介率(歯科除く)	87.5%以上	逆紹介率	56.0%以上	ロ 医療機器、施設の計画的な更新・整備 令和6年度の主な更新・整備は次のとおり。 ・ 病院の機能維持のための大規模修繕事業の実施 ・ 高精度放射線治療システム(リニアック) ・ 磁気共鳴断層撮影装置(3テスラMRI) また、建設後31年経過し、劣化した病院本体の施設設備の改修工事については、令和3年度に策定した施設整備保全計画に沿って適切な対応を行う。 ハ 地域医療への貢献 高度・専門医療の機能を効率的に発揮し、患者が地域において良質な医療を適切に受けることを目標として、現在まで実施してきた取組に加えて、次の取組を重点的に行い、地域医療機関との機能分担や協力体制の維持・強化を進める。 また、新興感染症等の公衆衛生上の重大な危害が発生した場合は、県の要請に応じ地域医療の確保に努める。 (イ)地域の医療機関との病病・病診連携の推進等 WEBサイト等の活用により診療予約方法、受付時間などの情報を提供するほか、がんセンター広報誌や新患診療体制表の送付など、病病・病診連携に必要な情報を積極的に提供する。 (ロ)患者の紹介率、逆紹介率の向上 地域医療機関との連携を図り、中期計画に定めた目標値以上の患者紹介率及び逆紹介率を目指す。 <table><tr><th>目標とする指標</th><th>目標値</th></tr><tr><td>紹介率(歯科除く)</td><td>87.5%以上</td></tr><tr><td>逆紹介率</td><td>56.0%以上</td></tr></table>	目標とする指標	目標値	紹介率(歯科除く)	87.5%以上	逆紹介率	56.0%以上	◇医療機器、施設の更新・整備については、費用対効果、県民の医療需要、医療技術の進展、機器等の現況等を十分に考慮し、中長期的な投資計画に基づき、計画的に行っているか。 ◇ 地域の医療機関との病病・病診連携の取組状況はどうか。 ◇ 地域包括ケアシステムにおける役割を果たしているか。 ◇中期目標、中期計画及び年度計画に掲げる数値の達成状況はどうか。
目標とする指標	目標値														
紹介率(歯科除く)	87.5%以上														
逆紹介率	56.0%以上														
目標とする指標	目標値														
紹介率(歯科除く)	87.5%以上														
逆紹介率	56.0%以上														

令和6年度業務実績			定量評価	定性評価	業務実績の参考となる指標等																											
※定量評価は年度計画に対する達成率で判定																																
ロ 医療機器、施設の計画的な更新・整備 高度・専門医療を担う県立病院として、良質な医療の提供や医療水準の向上を図るため、経営健全化の観点から収支バランスを考慮し、計画的な医療機器等の更新・導入及び施設の整備を行った。幹部と部門長が2か月間に渡る部門別ヒアリングを経て、機器整備計画を立てる点は機器等の現況等を十分に考慮している。 ・ガンカメラ ・磁気共鳴断層撮影装置(3TMRi) ・高精度放射線治療システム(リニアック) 施設設備については中期計画の予定通り、真空遮断器更新工事、自動火災報知設備改修工事等の工事を行った。			B		【がんセンター】 <table><tr><th>参考となる指標</th><th>単位</th><th>令和3年度</th><th>令和4年度</th><th>令和5年度</th><th>令和6年度</th><th>状況</th></tr><tr><td rowspan="2">機器等の整備計画の策定と具体的な取組状況</td><td></td><td>機器：生体情報モニター(4F東・西病棟)、超音波診断装置「EPIQ Elite」、自動細胞解析分取装置(セルソーター)</td><td>機器：電子カルテシステム、乳房撮影装置 工事：照明LED化(中央監視室)、看護外来ブース設置</td><td>機器：コンピュータ断層撮影装置【MDCT】、内視鏡用X線TVシステム(診療放射線技術部)</td><td>機器：ガンカメラ、磁気共鳴断層撮影装置(3TMRi)、高精度放射線治療システム(リニアック)</td><td rowspan="2"></td></tr><tr><td></td><td>工事：CVCF・VCB電源装置更新</td><td></td><td>工事：HCUナースコール更新</td><td>施設設備：真空遮断器更新工事、自動火災報知設備改修工事等</td></tr></table>							参考となる指標	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	状況	機器等の整備計画の策定と具体的な取組状況		機器：生体情報モニター(4F東・西病棟)、超音波診断装置「EPIQ Elite」、自動細胞解析分取装置(セルソーター)	機器：電子カルテシステム、乳房撮影装置 工事：照明LED化(中央監視室)、看護外来ブース設置	機器：コンピュータ断層撮影装置【MDCT】、内視鏡用X線TVシステム(診療放射線技術部)	機器：ガンカメラ、磁気共鳴断層撮影装置(3TMRi)、高精度放射線治療システム(リニアック)			工事：CVCF・VCB電源装置更新		工事：HCUナースコール更新	施設設備：真空遮断器更新工事、自動火災報知設備改修工事等		
参考となる指標	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	状況																										
機器等の整備計画の策定と具体的な取組状況		機器：生体情報モニター(4F東・西病棟)、超音波診断装置「EPIQ Elite」、自動細胞解析分取装置(セルソーター)	機器：電子カルテシステム、乳房撮影装置 工事：照明LED化(中央監視室)、看護外来ブース設置	機器：コンピュータ断層撮影装置【MDCT】、内視鏡用X線TVシステム(診療放射線技術部)	機器：ガンカメラ、磁気共鳴断層撮影装置(3TMRi)、高精度放射線治療システム(リニアック)																											
		工事：CVCF・VCB電源装置更新		工事：HCUナースコール更新	施設設備：真空遮断器更新工事、自動火災報知設備改修工事等																											
ハ 地域医療への貢献 (イ)地域の医療機関との病病・病診連携の推進等 新規に開業した地域の医療機関や、受診の申し込みを初めて受けた医療機関に向けて、当院との連携を深める目的で登録医制度を紹介し手続きを勧めた。 新患患者の受診報告書を受診翌日までには記載し、紹介元医療機関への発送を確実にできるようにした。担当医師が記載していない場合は、地域医療連携室で確認し、院長名で記載して発送することを継続している。 がんセンター広報誌「せりなべ」は総務グループ広報担当が内容の充実を図り年4回発行している。地域医療機関の紹介などのページを増やしたり、図書館や公民館などの公共機関750件への配布を行っている。また、年6回「外来新患診療体制表」を発行し590件余りの医療機関へ発送を行った。 令和6年度「地域医療連携の会」を開催し院内外162名の参加があった。当院医師による講演を3席(呼吸器内科・婦人科・消化器内科)行い、地域の医療機関との交流を図った。前年度より参加人数33人増、アンケート回収率53.2%、アンケート結果からも好評を得た。 退院調整に関して、在宅診療医、看護師、ケアマネージャー等の参加のもと退院前カンファレンスを実施し患者が在宅療養を行う上で安心して過ごすことができるよう地域との連携を図った。(年間の退院前カンファレンス件数 約140件) 外来患者の在宅療養支援に関しては、患者が住み慣れた自宅で社会資源を活用しながら生活できるよう地域包括支援センター、訪問看護ステーション、在宅診療医等と患者・家族の意向を確認しながら調整・連携を図った。(在宅医療調整件数 約100件…入院患者も含む) 入院が必要になった場合は、地域との情報交換を行い速やかに対応した。 (ロ)患者の紹介率、逆紹介率の向上			A		【がんセンター】 <table><tr><th>参考となる指標</th><th>単位</th><th>令和3年度</th><th>令和4年度</th><th>令和5年度</th><th>令和6年度</th><th>状況</th></tr><tr><td>患者紹介率</td><td>%</td><td>85.0</td><td>89.4</td><td>92.4</td><td>93.4</td><td>↑</td></tr><tr><td>患者逆紹介率</td><td>%</td><td>52.5</td><td>63.1</td><td>61.5</td><td>60.7</td><td>↓</td></tr></table>							参考となる指標	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	状況	患者紹介率	%	85.0	89.4	92.4	93.4	↑	患者逆紹介率	%	52.5	63.1	61.5	60.7	↓
参考となる指標	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	状況																										
患者紹介率	%	85.0	89.4	92.4	93.4	↑																										
患者逆紹介率	%	52.5	63.1	61.5	60.7	↓																										
<table><tr><th>指標</th><th>実績値</th><th>達成率</th></tr><tr><td>紹介率(歯科を除く)(%)</td><td>93.4</td><td>106.7%</td></tr><tr><td>逆紹介率(歯科を除く)(%)</td><td>60.7</td><td>108.4%</td></tr></table>			指標	実績値	達成率	紹介率(歯科を除く)(%)	93.4	106.7%	逆紹介率(歯科を除く)(%)	60.7	108.4%	B																				
指標	実績値	達成率																														
紹介率(歯科を除く)(%)	93.4	106.7%																														
逆紹介率(歯科を除く)(%)	60.7	108.4%																														
			B																													

第4期中期目標 (令和5～8年度)	第4期中期計画 (令和5～8年度)	令和6年度計画	評価の視点
二 医療に関する調査研究と情報の発信 本県の医療水準の向上が図られるよう、医療に関する調査・研究を推し進め、その成果や情報を積極的に発信していくこと。 また、国の「がんゲノム医療」の推進状況を注視しながら、ゲノム医療に関する正しい情報や知識を収集し、県民への情報提供や普及啓発に努めること。 さらに、治療の実績、疾病や検診に関する情報を、セミナーなどを通して広く分かりやすく発信し、県民から信頼される病院づくりに努めること。	二 医療に関する調査・研究と情報の発信 県内医療水準の向上が図られるよう、医療に関する調査・研究を推進し、その成果や情報を発信する。 また、国の「がんゲノム医療」の推進状況を注視しながら、ゲノム医療に関する正しい情報や知識を収集し、県民への情報提供や普及啓発を行う。 さらに、治療の実績や疾病、検診に関する情報を分かりやすく県民に広報し、県民から信頼される病院づくりを推進する。 (イ)調査・研究の推進 治療実績や医療に係る情報の蓄積、管理に努めるとともに、診断や治療など臨床に応用するための調査・研究を進める。 なお、この調査・研究を進めるに当たっては、倫理審査委員会を活用した審査を行うなど、個人の人権や安全に十分配慮し、適切に実施する。	二 医療に関する調査研究と情報の発信 県内医療水準の向上が図られるよう、医療に関する調査・研究を推進し、その成果や情報を発信する。 また、国の「がんゲノム医療」の推進状況を注視しながら、ゲノム医療に関する正しい情報や知識を収集し、県民への情報提供や普及啓発を行う。 さらに、治療の実績や疾病、検診に関する情報を分かりやすく県民に広報し、県民から信頼される病院づくりを推進する。 (イ)調査・研究の推進 治療実績や医療に係る情報の蓄積、管理に努めるとともに、診断や治療など臨床に応用するための調査・研究を進める。 なお、この調査・研究を進めるに当たっては、倫理審査委員会を活用した審査を行うなど、個人の人権や安全に十分配慮し、適切に実施する。	◇治療実績や医療に係る情報の蓄積、管理への取組状況はどうか。 <

令和6年度業務実績			定量評価	定性評価	業務実績の参考となる指標等						
※定量評価は年度計画に対する達成率で判定											
二 医療に関する調査研究と情報の発信											
(イ)調査・研究の推進											
国立がん研究センターが提示する院内がん登録標準登録様式に準拠し、さらに当院独自の登録項目を追加し、院内がん登録を実施している。がん登録により作成されるデータベースについては、ID・パスワードにより管理され、実務者のみがアクセスできるようセキュリティを厳重に行っている。				B	【がんセンター】						
また、令和元年度から「宮城県がん登録室」を設置し、宮城県との委託契約により「宮城県がん登録管理事業」を受託。がん登録推進法に基づく届け出の受理、登録、報告書の発行、データ提供を行っている。令和6年度は、年次報告の発行を行った。また、市町村によるがん登録情報の活用を推進するため、令和3年度から活用を支援する事業を研究所にて開始しており、令和6年度は8市町で実施し、研究所HPに2市3町及び宮城県の集計結果を公表した。				B	【がんセンター】(宮城県がん登録管理事業)						
当院で診断・治療された2010年～2020年症例6,223件に対して予後調査を行い、判明率は99.0%であった。2023年症例については、国立がん研究センターが行う全国集計に提出するとともに、集計結果を一般公開した。2016年～2017年症例の5年生存率集計結果については、電子カルテを通して内部公開とした。				B							
倫理審査委員会を年6回開催し、人権や安全に関する配慮を適正に行うとともに、審査件数82件(内訳:迅速審査80件、本審査2件)を実施し急な案件についても対応している。				B							
また、臨床研究法および倫理指針に基づく研究倫理研修会を年度内に2回開催し、研究に携わる職員の意識向上、啓発に努めた。				B							
倫理審査委員会を年6回開催し、審査件数82件(内訳:迅速審査80件、本審査2件)を実施し急な案件についても対応している。				B							
また、臨床研究法および倫理指針に基づく研究倫理研修会を年度内に2回開催し、研究に携わる職員の意識向上、啓発に努めた。				B							
指標			実績値	達成率	【がんセンター】						
倫理審査委員会開催回数(回)			6	100.0%	【がんセンター】						
				B							
				B							
				B							
				B							
				B							
				B							
				B							
				B							
				B							
				B							
				B							
				B							
				B							
				B							
				B							
				B							
				B							
				B							
				B							
				B							
				B							
				B							
				B							
				B							
				B							
				B							
				B							
				B							
				B							
				B							
				B							
				B							
				B							
				B							
				B							
				B							
				B							
				B							
				B							
				B							
				B							
				B							
				B							
				B							
				B							
				B							
				B							
				B							
				B							
				B							
				B							
				B							
				B							
				B							
				B							
				B							
				B							
				B							
				B							
				B							
				B							
				B							
				B							
				B							
				B							
				B							
				B							
				B							
				B							
				B							
				B							
				B							
				B							
				B							
				B							
				B							
				B							
				B							
				B							
				B							
				B							
				B							
				B							
				B							
				B							
				B							
				B							
				B							
				B							
				B							
				B							
				B							
				B							
				B							
				B							
				B							
				B							
				B							
				B							
				B							
				B							
				B							
				B							
				B							
				B							
				B							
				B							
				B							
				B							
				B							
				B							
				B							
				B							
				B							
				B							
				B							
				B							
				B							
				B							
				B							
				B							
				B							
				B							
				B							
				B							
				B							
				B							
				B							
				B							
				B							
				B							
				B							
				B							
				B							
				B							
				B							
				B							
				B							
				B							
				B							
				B							
				B							
				B							
				B							
				B							
				B							
				B							
				B							
				B							
				B							
				B							
				B							
				B							
				B							
				B							
				B							

第4期中期目標 (令和5～8年度)	第4期中期計画 (令和5～8年度)	令和6年度計画	評価の視点																												
	(ロ)セミナーの開催と広報活動の実施 医療機関及び医療従事者向けに、調査・研究活動の成果に関するセミナー等を定期的に開催するとともに、県民及び患者向けに、医療相談会等の開催を通じた広報活動を実施する。 <table><tr><th>目標とする指標</th><th>目標値</th></tr><tr><td>医療機関向けセミナー開催回数</td><td>年7回</td></tr><tr><td>看護部公開研修会開催回数</td><td>年2回</td></tr></table> (ハ)学会等への積極的参加と関係機関への情報発信 学会等への参加及び研究成果の発表を奨励・支援するとともに、専門誌等への寄稿等を通じて関係機関への情報発信を行う。 <table><tr><th>目標とする指標</th><th>目標値</th></tr><tr><td>学会発表実績</td><td>140件</td></tr><tr><td>学会参加実績</td><td>440件</td></tr><tr><td>専門誌等への寄稿件数</td><td>90件</td></tr></table> (ニ)WEBサイト等を利用した疾病や検診の情報提供 WEBサイト等の広報媒体を通じ、県民が関心のある疾病や検診等に関する情報を分かりやすく提供する。 また、IT環境の変化に応じて、WEBサイト等を充実させる。	目標とする指標	目標値	医療機関向けセミナー開催回数	年7回	看護部公開研修会開催回数	年2回	目標とする指標	目標値	学会発表実績	140件	学会参加実績	440件	専門誌等への寄稿件数	90件	(ロ)セミナーの開催と広報活動の実施 医療機関、医療従事者向けに、WEB等を利用し、調査・研究活動の成果に関するセミナー等を定期的に開催するとともに、県民及び患者向けに、当院の情報を広く認知してもらえるよう、広報誌や動画共有サービス、ラジオなど様々な広報媒体を活用し広報活動を行う。 <table><tr><th>目標とする指標</th><th>目標値</th></tr><tr><td>医療機関向けセミナー開催回数</td><td>年7回</td></tr><tr><td>看護部公開研修会開催回数</td><td>年2回</td></tr></table> (ハ)学会等への積極的参加と関係機関への情報発信 学会等(オンラインを含む。)への参加及び研究成果の発表を奨励・支援するとともに、専門誌等への寄稿等を通じて関係機関への情報発信を行う。 <table><tr><th>目標とする指標</th><th>目標値</th></tr><tr><td>学会発表実績</td><td>140件</td></tr><tr><td>学会参加実績</td><td>440件</td></tr><tr><td>専門誌等への寄稿件数</td><td>90件</td></tr></table> (ニ)ゲノム医療に関する情報収集・提供 国の「がんゲノム医療」の推進状況、診療報酬等の制度設計などを注視しながら、ゲノム医療に関する正しい情報や知識を収集し、県民への情報提供や普及啓発を行う。 (ホ)WEBサイト等を利用した疾病や検診の情報提供 病院機構のWEBサイト等の広報媒体を通じ、県民が関心のある疾病や検診等に関する情報を分かりやすく提供する。 また、医療従事者に向けての公開研修会等について、オンラインを活用した配信を行う等、効果的な情報提供を図る。	目標とする指標	目標値	医療機関向けセミナー開催回数	年7回	看護部公開研修会開催回数	年2回	目標とする指標	目標値	学会発表実績	140件	学会参加実績	440件	専門誌等への寄稿件数	90件	◇ 医療機関・医療従事者向けの調査・研究成果に係るセミナー等の開催状況についてはどうか。 ◇ 県民及び患者向けの広報活動についてはどうか。 ◇ 中期計画及び年度計画に掲げる数値の達成状況はどうか。 ◇ 学会等への参加・発表や専門誌への寄稿等の実施状況はどうか。 ○ 年度計画に掲げる数値の達成状況はどうか。 ◇ WEBサイト等を通じた疾病や検診等に関する情報提供の状況はどうか。
目標とする指標	目標値																														
医療機関向けセミナー開催回数	年7回																														
看護部公開研修会開催回数	年2回																														
目標とする指標	目標値																														
学会発表実績	140件																														
学会参加実績	440件																														
専門誌等への寄稿件数	90件																														
目標とする指標	目標値																														
医療機関向けセミナー開催回数	年7回																														
看護部公開研修会開催回数	年2回																														
目標とする指標	目標値																														
学会発表実績	140件																														
学会参加実績	440件																														
専門誌等への寄稿件数	90件																														

令和6年度業務実績			定量評価	定性評価	業務実績の参考となる指標等						
※定量評価は年度計画に対する達成率で判定											
(ロ)セミナーの開催と広報活動の実施 がんセンターセミナーについては、感染対策を徹底して会場とオンラインでのハイブリッド形式で実施した。看護部公開研修会については2回開催し、全体で61名(外部32名)が参加した。 調査・研究の成果を広く県民に伝えるための県民公開講座を名取市文化会館で行った。専門・認定看護師による高等学校での講演などを行った。 また、がんセンターの広報誌「せりなべ」を年4回発行しがん情報の発信に努めている。				B							
				B	【がんセンター】						

第4期中期目標 (令和5～8年度)	第4期中期計画 (令和5～8年度)	令和6年度計画	評価の視点
2 安全・安心な医療の提供	2 安全・安心な医療の提供	2 安全・安心な医療の提供	
(1)医療安全対策の推進	(1)医療安全対策の推進	(1)医療安全対策の推進	
患者が安心して医療を受けることができるよう、患者の安全を守ることを旨として、医療安全対策を更に推し進めること。医療安全マニュアル等の見直しを定期的に行い、職員に対して周知を徹底すること。 万が一、医療事故やインシデント、ヒヤリ・ハットが発生した場合には、その事例の把握・事例検証を実施し、再発防止体制を強化していくこと。	患者が安心して医療を受けることができるよう、安全で安心な医療を支えるため、適宜、医療安全マニュアルを見直し、医療従事者の研修を充実させるとともに、医療事故及びヒヤリ・ハット事例に関する情報の収集・分析を的確に行うなど、医療安全対策を一層推進する。 また、患者に対して、医薬品及び医療機器に関する安全情報の提供をするとともに、服薬指導を充実させる。	患者が安心して医療を受けることができるよう、安全で安心な医療を支えるため、適宜、医療安全マニュアルの見直しや医療従事者の研修を充実させるとともに、医療事故及びヒヤリ・ハットに関する情報の収集・分析を的確に行うなど、医療安全対策を一層推進する。 また、患者に対して、医薬品及び医療機器に関する安全情報の提供や、服薬指導を充実させる。	◇医療安全マニュアルの見直し、医療従事者の研修や医療事故等の情報収集・分析を行う等、医療安全対策の推進状況はどうか。

令和6年度業務実績			定量評価	定性評価	業務実績の参考となる指標等					
※定量評価は年度計画に対する達成率で判定										
2 安全・安心な医療の提供										
(1)医療安全対策の推進										
【精神】 医療安全管理マニュアルの改訂を行った。インシデントレポートレベル3b報告を受け、必要な研修として身体拘束実施手順研修を開催した。医療法で定められている全職員対象の研修は2回実施し、医療機器の操作研修やBLS研修も実施、医療従事者の資質向上に努めた。報告のあったインシデントレポートは週1回実施の医療安全カンファランス内で情報共有を図り、事故防止に努めた。 また、医療安全部門会議では現場を確認・分析し、その内容を医療安全管理委員会で報告し、情報の共有と安全対策の推進に努めた。 【がん】 毎日提出されるインシデント・オカレンスレポートを基に現場に出向き確認を行った。状況確認しながら、院内・院外の危険な箇所等のラウンドした。 改善する点については、医療安全推進部会で検討し医療安全管理委員会で承認を得て指針やマニュアル等の修正を行った。令和6年度は、1つの医療安全管理指針の麻薬の関する報告体制の見直し、マニュアルは身体拘束をはじめ3つのマニュアルを修正した。 医療安全管理室室員の研修は、各自で受講し自己研鑽に努めた。院内の医療安全主催の研修会は2回開催し、平均的に参加率は90%の参加率でった。他に麻薬に関する研修をラダー別と全体研修で実施した。 インシデントで重大な内容については、医療安全情報ニュースで各部署へ情報共有し、他部署との連携も密に行った。 【本部】 各病院のインシデント等の発生状況を取りまとめ、情報共有に努めたほか、医療安全管理指針に基づきホームページに公開した。 【精神】 厚労省からの医薬品安全性情報はメール発信し、院内職員に周知を図り、個別に確認が必要な場合は主治医に患者名を連絡するなどして情報共有を図った。 また、服薬指導を充実するため、個別のケースカンファレンスに参加している。 【がん】 がん薬剤師外来において、医師の診察前面談を開始した。(5月トライアル、6月より算定開始) 【本部】 各病院の取組状況を取りまとめ、情報共有に努めたほか、医療安全管理指針に基づきホームページに公表した。			A							
			A							
			B							
			B							
			B							
			B							
			B							
			B							
			B							
			B							
				</						

第4期中期目標 (令和5～8年度)	第4期中期計画 (令和5～8年度)	令和6年度計画	評価の視点										
(2)院内感染症対策の推進	(2)院内感染症対策の推進	(2)院内感染症対策の推進											
院内の感染症制御(診断・治療・予防・管理・アウトブレイク対応)に関するシステム化を推進し進め、感染症に係る管理体制を強化すること。 また、新興感染症等が発生した場合に備え、院内感染を防ぐために、対応マニュアルを適宜見直すとともに、院内感染が発生した際にも速やかに対応できるよう、研修会等を実施し、職員の理解を深めること。	院内感染防止のため、院内感染対策委員会を充実させるとともに、感染管理の検証、感染患者の把握、分離菌状況など現状を把握し、必要な対策、改善策を実施し、職員への教育、研修に活用する。 また、新興感染症等の発生に備え、適宜、院内感染症対応マニュアルの見直しを行うとともに、院内感染が発生した際にも速やかに対応できるよう、研修会等を実施し、職員の理解を深める。	院内感染防止のため、院内感染対策委員会を充実させるとともに、感染管理の検証、感染患者の把握、分離菌状況など現状を把握し、必要な対策、改善策を実施するとともに、職員への教育、研修に活用する。 また、インフルエンザや麻疹等の感染症の発生に備え、適宜、院内感染症対応マニュアルの見直しを行う。 さらに、新型コロナウイルス感染症対策として、患者、職員等の検温等の徹底や適時適切なPCR検査の実施職員向けの関係通知の発出及び定例開催されている連絡会議での情報共有等により、役職員が一丸となり院内感染の防止に努める。	◇ 院内感染防止に関する取組状況はどうか。 ◇ 新興感染症等の発生に備えた取組状況はどうか。 ◇ 中期計画及び年度計画に掲げる数値の達成状況はどうか。										
	<table><tr><th>目標とする指標</th><th>目標値</th></tr><tr><td>院内感染対策委員会開催回数</td><td>年12回(各病院)</td></tr></table>	目標とする指標	目標値	院内感染対策委員会開催回数	年12回(各病院)	<table><tr><th>目標とする指標</th><th>目標値</th></tr><tr><td>院内感染対策委員会開催回数</td><td>年12回(各病院)</td></tr><tr><td>職員のインフルエンザ予防接種率</td><td>95%(全体)</td></tr></table>	目標とする指標	目標値	院内感染対策委員会開催回数	年12回(各病院)	職員のインフルエンザ予防接種率	95%(全体)	
目標とする指標	目標値												
院内感染対策委員会開催回数	年12回(各病院)												
目標とする指標	目標値												
院内感染対策委員会開催回数	年12回(各病院)												
職員のインフルエンザ予防接種率	95%(全体)												

令和6年度業務実績			定量評価	定性評価	業務実績の参考となる指標等																																	
※定量評価は年度計画に対する達成率で判定																																						
(2)院内感染症対策の推進																																						
【精神】 感染対策委員会を定例開催(月1回)した。県内の感染症発生状況を基に院内での感染防止に取り組んだ。 また、ICTラウンドを実施(週1回)し、感染対策意識の向上に取り組んだ。 院内感染対策委員会:12回 院内感染対策研修会:4回				B	<table><tr><th>参考となる指標</th><th>単位</th><th>令和3年度</th><th>令和4年度</th><th>令和5年度</th><th>令和6年度</th><th>状況</th></tr><tr><td colspan="7">院内感染対策委員会開催実績</td></tr><tr><td>精神医療センター</td><td rowspan="2">回</td><td>13</td><td>13</td><td>12</td><td>12</td><td>→</td></tr><tr><td>がんセンター</td><td>12</td><td>12</td><td>12</td><td>12</td><td>→</td></tr></table>							参考となる指標	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	状況	院内感染対策委員会開催実績							精神医療センター	回	13	13	12	12	→	がんセンター	12	12	12	12	→
参考となる指標	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	状況																																
院内感染対策委員会開催実績																																						
精神医療センター	回	13	13	12	12	→																																
がんセンター		12	12	12	12	→																																
【がん】 ベースラインとなる平時の感染症の発生状況について、サーベイランスの対象を拡大し感染症発生の評価を充実化した。 職員の研修会について、集合、Webといった様々な手法を用いて実施し、職員の参加率の向上がみられた。				B	<table><tr><th>参考となる指標</th><th>単位</th><th>令和3年度</th><th>令和4年度</th><th>令和5年度</th><th>令和6年度</th><th>状況</th></tr><tr><td colspan="7">院内感染対策研修会開催実績</td></tr><tr><td>精神医療センター</td><td rowspan="2">回</td><td>4</td><td>4</td><td>4</td><td>4</td><td>→</td></tr><tr><td>がんセンター</td><td>12</td><td>3</td><td>2</td><td>2</td><td>→</td></tr></table>							参考となる指標	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	状況	院内感染対策研修会開催実績							精神医療センター	回	4	4	4	4	→	がんセンター	12	3	2	2	→
参考となる指標	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	状況																																
院内感染対策研修会開催実績																																						
精神医療センター	回	4	4	4	4	→																																
がんセンター		12	3	2	2	→																																
【本部】 感染症の発生状況の把握や、職員健康診断の検査項目の検討を行った。				B																																		
【精神】 新興感染症等の発生に備え、標準予防策を適切に実践できるよう、多職種への研修、指導を行った。また、合同カンファレンスにて感染対策に関する情報共有を行った。				B	<table><tr><th>参考となる指標</th><th>単位</th><th>令和3年度</th><th>令和4年度</th><th>令和5年度</th><th>令和6年度</th><th>状況</th></tr><tr><td colspan="7">院内感染対応マニュアルの見直し</td></tr><tr><td rowspan="2">精神医療センター</td><td rowspan="2">取組内容を記載</td><td>マニュアル(新型コロナウイルスワクチン関連、疥癬)の作成及び一部見直しを行った。</td><td>新型コロナウイルス感染症対策マニュアルについて、クラスター対応を追加した。</td><td>新型コロナウイルス感染症対策マニュアル第2版として改訂した。</td><td>マニュアル(梅毒)の一部見直しを行った。</td><td rowspan="2"></td></tr><tr><td>新型コロナウイルス感染症対策マニュアルを適宜改訂した。</td><td>院内感染対応マニュアル第3版として改訂した。</td><td>感染対策の基本となる標準予防策を適切に実践できるよう、多職種への指導、マニュアル改定を実施した。</td><td>感染対策の基本となる標準予防策を適切に実践できるよう、多職種への教育・指導、マニュアル改定を実施した。</td></tr></table>							参考となる指標	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	状況	院内感染対応マニュアルの見直し							精神医療センター	取組内容を記載	マニュアル(新型コロナウイルスワクチン関連、疥癬)の作成及び一部見直しを行った。	新型コロナウイルス感染症対策マニュアルについて、クラスター対応を追加した。	新型コロナウイルス感染症対策マニュアル第2版として改訂した。	マニュアル(梅毒)の一部見直しを行った。		新型コロナウイルス感染症対策マニュアルを適宜改訂した。	院内感染対応マニュアル第3版として改訂した。	感染対策の基本となる標準予防策を適切に実践できるよう、多職種への指導、マニュアル改定を実施した。	感染対策の基本となる標準予防策を適切に実践できるよう、多職種への教育・指導、マニュアル改定を実施した。		
参考となる指標	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	状況																																
院内感染対応マニュアルの見直し																																						
精神医療センター	取組内容を記載	マニュアル(新型コロナウイルスワクチン関連、疥癬)の作成及び一部見直しを行った。	新型コロナウイルス感染症対策マニュアルについて、クラスター対応を追加した。	新型コロナウイルス感染症対策マニュアル第2版として改訂した。	マニュアル(梅毒)の一部見直しを行った。																																	
		新型コロナウイルス感染症対策マニュアルを適宜改訂した。	院内感染対応マニュアル第3版として改訂した。	感染対策の基本となる標準予防策を適切に実践できるよう、多職種への指導、マニュアル改定を実施した。	感染対策の基本となる標準予防策を適切に実践できるよう、多職種への教育・指導、マニュアル改定を実施した。																																	
【がん】 新興感染症であれ、感染対策の基本はかわりないため、例年通り有事に備え、感染対策の基本となる標準予防策を適切に実践できるよう、教育を実施し、マニュアル改定などの取り組みを実施した				A																																		
<table><tr><th>指標</th><th>実績値</th><th>達成率</th></tr><tr><td colspan="3">院内感染対策委員会開催回数(回)</td></tr><tr><td>精神</td><td>12</td><td>100.0%</td></tr><tr><td>がん</td><td>12</td><td>100.0%</td></tr><tr><td colspan="3">職員のインフルエンザ予防接種率(%)</td></tr><tr><td>精神</td><td>90.6</td><td>95.4%</td></tr><tr><td>がん</td><td>94.2</td><td>99.2%</td></tr></table>			指標	実績値	達成率	院内感染対策委員会開催回数(回)			精神	12	100.0%	がん	12	100.0%	職員のインフルエンザ予防接種率(%)			精神	90.6	95.4%	がん	94.2	99.2%		B B C C													
指標	実績値	達成率																																				
院内感染対策委員会開催回数(回)																																						
精神	12	100.0%																																				
がん	12	100.0%																																				
職員のインフルエンザ予防接種率(%)																																						
精神	90.6	95.4%																																				
がん	94.2	99.2%																																				
					<table><tr><th>参考となる指標</th><th>単位</th><th>令和3年度</th><th>令和4年度</th><th>令和5年度</th><th>令和6年度</th><th>状況</th></tr><tr><td colspan="7">職員のインフルエンザ予防接種率</td></tr><tr><td>精神医療センター</td><td rowspan="2">%</td><td>93.4</td><td>92.4</td><td>90.9</td><td>90.6</td><td>↓</td></tr><tr><td>がんセンター</td><td>97.0</td><td>93.2</td><td>93.9</td><td>94.2</td><td>↑</td></tr></table>							参考となる指標	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	状況	職員のインフルエンザ予防接種率							精神医療センター	%	93.4	92.4	90.9	90.6	↓	がんセンター	97.0	93.2	93.9	94.2	↑
参考となる指標	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	状況																																
職員のインフルエンザ予防接種率																																						
精神医療センター	%	93.4	92.4	90.9	90.6	↓																																
がんセンター		97.0	93.2	93.9	94.2	↑																																

第4期中期目標 (令和5～8年度)	第4期中期計画 (令和5～8年度)	令和6年度計画	評価の視点												
(3)適切な情報管理	(3)適切な情報管理	(3)適切な情報管理													
情報公開条例(平成11年宮城県条例第10号)等、情報の取扱いに係る法令に基づき、適切な情報管理を行うこと。 電子カルテ、マイナンバーカードの健康保険証利用、遠隔診療・オンライン診療、その他各種情報システム等を活用していく中で、情報漏洩等を防止するため、情報資産の管理の徹底及びセキュリティ対策の強化に努めること。 また、情報セキュリティの重要性を職員に周知徹底するために研修等を実施し、個人情報に対する認識を高めること。	情報公開条例(平成11年宮城県条例第10号)等、情報の取扱いに係る法令に基づき、適切な情報管理を行うとともに、情報資産の管理の徹底及びセキュリティ対策の強化に取り組む。 特に、患者の個人情報については、その重要性を鑑み、個人情報保護や情報セキュリティに関する研修会や、本部事務局が主体となった情報セキュリティ監査等を実施し、職員の認識を高め情報管理を徹底する。	情報公開条例(平成11年宮城県条例第10号)等、情報の取扱いに係る法令に基づき、適切な情報管理を行うとともに、情報資産の管理の徹底及びセキュリティ対策の強化に取り組む。 特に患者の個人情報については、その重要性を鑑み、個人情報保護や情報セキュリティに関する研修会や、本部事務局が主体となった情報セキュリティ監査等を実施し、職員の認識を高め情報管理を徹底する。	◇情報の取扱いに係る法令に基づき、適切な情報管理を行っているか。 ◇情報資産の管理の徹底及びセキュリティ対策の強化への取組状況はどうか。 ◇中期計画及び年度計画に掲げる数値の達成状況はどうか。												
	<table><tr><th>目標とする指標</th><th>目標値</th></tr><tr><td>情報セキュリティに関する研修会開催回数</td><td>年1回以上(機構全体)</td></tr><tr><td>情報セキュリティ監査実施回数</td><td>年1回以上(各病院・本部)</td></tr></table>	目標とする指標	目標値	情報セキュリティに関する研修会開催回数	年1回以上(機構全体)	情報セキュリティ監査実施回数	年1回以上(各病院・本部)	<table><tr><th>目標とする指標</th><th>目標値</th></tr><tr><td>情報セキュリティに関する研修会開催回数</td><td>年1回(機構全体)</td></tr><tr><td>情報セキュリティ監査実施回数</td><td>年1回(各病院・本部)</td></tr></table>	目標とする指標	目標値	情報セキュリティに関する研修会開催回数	年1回(機構全体)	情報セキュリティ監査実施回数	年1回(各病院・本部)	
目標とする指標	目標値														
情報セキュリティに関する研修会開催回数	年1回以上(機構全体)														
情報セキュリティ監査実施回数	年1回以上(各病院・本部)														
目標とする指標	目標値														
情報セキュリティに関する研修会開催回数	年1回(機構全体)														
情報セキュリティ監査実施回数	年1回(各病院・本部)														

令和6年度業務実績			定量評価	定性評価	業務実績の参考となる指標等																																																								
※定量評価は年度計画に対する達成率で判定																																																													
(3)適切な情報管理																																																													
【精神】 情報セキュリティ研修会を開催して、「宮城県立病院機構情報セキュリティ対策基準」に基づき、情報管理に関する意識の向上を図った。 【がん】 医療情報システムの安全管理に関するガイドラインに沿って作成した運用管理規程を遵守した。 【本部】 情報管理を徹底していくため、新規採用職員を対象とした情報セキュリティに関する研修会を実施し、職員の意識向上を図った。 「地方独立行政法人宮城県立病院機構情報セキュリティ対策基準」に基づき、情報セキュリティ監査を実施した。 【精神】 サイバーセキュリティ対策強化のため、クラウド型セキュリティシステムとクラウドバックアップを導入した。 また、院内全職員向けに情報セキュリティ研修及び情報セキュリティ監査を実施し、日常の情報セキュリティに対する意識向上を図った。 【がん】 サイバー攻撃を想定した多職種での訓練を実施した。また、医療情報システムに接続している機器・端末の外部接続点を洗い出し、一覧表を作成、脆弱性診断を行った。 【本部】 「宮城県立病院機構ネットワーク運用管理要領」に基づき、機器構成の管理を徹底する為、機器構成一覧の作成を実施し、機構内の情報系リースPCの適切な管理に努めた。 R7年度の情報資産管理システム導入にあたり、R6年度は契約を締結し、本稼働に向けて各病院担当者、委託業者とのより具体的な調整を行った。導入に際しては、がんセンターの病院統合等の状況を勘案し、病院内に物理サーバーを設置しない仮想サーバーを使用する方式を採用した。				B																																																									
				B																																																									
				B																																																									
				B																																																									
				B																																																									
<table><tr><th>指標</th><th>実績値</th><th>達成率</th></tr><tr><td colspan="3">情報セキュリティに関する研修会開催回数(回)</td></tr><tr><td>法人全体</td><td>1</td><td>100.0%</td></tr><tr><td colspan="3">情報セキュリティ監査実施回数(回)</td></tr><tr><td>本部事務局</td><td>3</td><td>100.0%</td></tr></table>			指標	実績値	達成率	情報セキュリティに関する研修会開催回数(回)			法人全体	1	100.0%	情報セキュリティ監査実施回数(回)			本部事務局	3	100.0%	B		<table><tr><th>参考となる指標</th><th>単位</th><th>令和3年度</th><th>令和4年度</th><th>令和5年度</th><th>令和6年度</th><th>状況</th></tr><tr><td colspan="7">情報セキュリティ研修開催実績</td></tr><tr><td>法人全体</td><td>回</td><td>1</td><td>2</td><td>1</td><td>1</td><td>→</td></tr><tr><td colspan="7">情報セキュリティ監査の実施</td></tr><tr><td>本部事務局</td><td>回</td><td>3</td><td>3</td><td>3</td><td>3</td><td>→</td></tr></table>							参考となる指標	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	状況	情報セキュリティ研修開催実績							法人全体	回	1	2	1	1	→	情報セキュリティ監査の実施							本部事務局	回	3	3	3	3	→
指標	実績値	達成率																																																											
情報セキュリティに関する研修会開催回数(回)																																																													
法人全体	1	100.0%																																																											
情報セキュリティ監査実施回数(回)																																																													
本部事務局	3	100.0%																																																											
参考となる指標	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	状況																																																							
情報セキュリティ研修開催実績																																																													
法人全体	回	1	2	1	1	→																																																							
情報セキュリティ監査の実施																																																													
本部事務局	回	3	3	3	3	→																																																							

第4期中期目標 (令和5～8年度)	第4期中期計画 (令和5～8年度)	令和6年度計画	評価の視点
3 患者や家族の視点に立った医療の提供	3 患者や家族の視点に立った医療の提供	3 患者や家族の視点に立った医療の提供	
(1)患者や家族にとって分かりやすい医療の提供	(1)患者や家族にとって分かりやすい医療の提供	(1)患者や家族にとって分かりやすい医療の提供	
患者やその家族が、治療の内容を良く理解し、納得して医療を受けることができるよう、インフォームド・コンセントを徹底すること。 また、患者がセカンドオピニオンを希望する場合には、適切に診療情報を提供するとともに、県立病院におけるセカンドオピニオンの実施についても、積極的に努めること。 なお、患者の権利について十分に理解し、患者の権利に最大限の配慮をもって医療を実践すること。	患者及びその家族と医療関係者の信頼・協力関係の下、医療を提供するため、検査及び治療の選択について患者の意見を尊重し、インフォームド・コンセントを徹底するとともに、患者及び家族の要望に応じたカルテ開示など、必要な情報の公開を行う。 患者及びその家族が自らの医療を判断する際に、主治医以外の専門医の意見・アドバイスを求めた場合には、適切にセカンドオピニオンを実施する。 また、他医療機関でのセカンドオピニオンを希望する場合には、適切な診療情報を提供するとともに、患者及びその家族に対する支援を行う。 さらに、患者中心の医療を提供する旨を診察時に周知し、その方針についての掲示を行うなど、患者の権利に最大限に配慮した医療を実践する。	患者及びその家族と医療関係者の信頼・協力関係の下、医療を提供するため、検査及び治療の選択について患者の意見を尊重し、インフォームド・コンセントを徹底するとともに、患者及び家族の要望に応じたカルテ開示など、必要な情報の公開を行う。 患者及びその家族が自らの医療を判断する際に、主治医以外の専門医の意見・アドバイスを求めた場合には、適切にセカンドオピニオンを実施する。 また、他医療機関でのセカンドオピニオンを希望する場合には、適切な診療情報を提供するとともに、患者及びその家族に対する支援を行う。 さらに、患者中心の医療を提供する旨を診察時に周知し、その方針についての掲示を行うなど、患者の権利に最大限に配慮した医療を実践する。	◇ インフォームド・コンセントへの取組状況はどうか。 ◇ セカンドオピニオンへの取組状況はどうか。 ◇患者の権利に配慮した医療を実践しているか。

令和6年度業務実績 ※定量評価は年度計画に対する達成率で判定		定量 評価	定性 評価	業務実績の参考となる指標等																												
3 患者や家族の視点に立った医療の提供																																
(1)患者や家族にとって分かりやすい医療の提供																																
【精神】 入院時に医師及び看護師から病状や入院期間、看護支援内容などの説明を行っている。特に行動制限を伴う患者や家族へは、より丁寧な説明を心掛けています。 【がん】 医療安全管理マニュアルに、「インフォームド・コンセントの基本的な考え方」を明記し、医療従事者間の共通認識を確保することが良好かつ適切な患者・医療従事者関係を構築する上で重要であることから、同席に関するルールを取り決めている。同席できない場合は、「インフォームド・コンセント」後に看護師が患者の理解度や不安等を確認し、記録に残している。 【精神】 令和6年度は0件であったが、患者から相談があった場合の相談体制は確保している。 【がん】 ホームページやリーフレットを用いて、積極的に周知に努めた。オンラインでセカンドオピニオンを受ける体制を整備し、遠方や移動困難な状態の患者が利用されていた。 【精神】 患者や家族に対して、治療目的や方法等の丁寧な説明を行い、行動制限を伴う場合は、精神保健福祉法に則り、適切な対応に努めている。 【がん】 倫理審査委員会や受託研究審査委員会の開催及びご意見・ご提案検討部会を通じて、患者の権利確保への協議・検討を実施した。		B																														
		B																														
		B	<table><tr><th colspan="2">参考となる指標</th><th>単位</th><th>令和3年度</th><th>令和4年度</th><th>令和5年度</th><th>令和6年度</th><th>状況</th></tr><tr><td colspan="8">セカンドオピニオン実施件数</td></tr><tr><td>精神医療センター</td><td rowspan="2">件</td><td>5</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>→</td></tr><tr><td>がんセンター</td><td>64</td><td>74</td><td>52</td><td>48</td><td>↓</td></tr></table>	参考となる指標		単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	状況	セカンドオピニオン実施件数								精神医療センター	件	5	0	0	0	→	がんセンター	64	74	52	48	↓
		参考となる指標		単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	状況																							
		セカンドオピニオン実施件数																														
		精神医療センター	件	5	0	0	0	→																								
がんセンター	64	74		52	48	↓																										
B	<table><tr><th colspan="2">参考となる指標</th><th>単位</th><th>令和3年度</th><th>令和4年度</th><th>令和5年度</th><th>令和6年度</th><th>状況</th></tr><tr><td colspan="8">方針の揭示</td></tr><tr><td>精神医療センター</td><td rowspan="2">取組内容を記</td><td>揭示済</td><td>揭示済</td><td>揭示済</td><td>揭示済</td><td></td></tr><tr><td>がんセンター</td><td>揭示済</td><td>揭示済</td><td>揭示済</td><td>揭示済</td><td></td></tr></table>	参考となる指標		単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	状況	方針の揭示								精神医療センター	取組内容を記	揭示済	揭示済	揭示済	揭示済		がんセンター	揭示済	揭示済	揭示済	揭示済			
参考となる指標		単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	状況																									
方針の揭示																																
精神医療センター	取組内容を記	揭示済	揭示済	揭示済	揭示済																											
がんセンター		揭示済	揭示済	揭示済	揭示済																											
B																																
B																																

第4期中期目標 (令和5～8年度)	第4期中期計画 (令和5～8年度)	令和6年度計画	評価の視点
(2)病院利用者の利便性・快適性の向上	(2)病院利用者の利便性・快適性の向上	(2)病院利用者の利便性・快適性の向上	
外来診療や検査及び会計に係る患者の待ち時間の改善、プライバシーの確保や快適性に配慮した環境整備、相談を受付してから対処するまでの相談体制の一層の充実など、様々な面において病院利用者の利便性に配慮すること。 また、患者待ち時間調査や患者満足度調査を実施し、利用者の要望等に応えられるよう努めること。 【指標】 患者満足度調査を毎年度、宮城県立精神医療センター1回以上、宮城県立がんセンター1回以上実施すること。 (前中期目標期間実績：(宮城県立精神医療センター)令和元年度1回、令和2年度1回、令和3年度1回、(宮城県立がんセンター)令和元年度1回、令和2年度1回、令和3年度1回)	イ 患者待ち時間の短縮 待ち時間調査を毎年度実施し、実態の分析及び対策の検討を行い、待ち時間の短縮に努め、病院利用者に配慮した取組を行う。 ロ 快適な院内環境の整備 患者のプライバシー確保に配慮するなど、病院利用者の快適性に配慮した院内環境の整備を計画的に実施する。 ハ 患者支援体制の充実 患者サポートセンターの機能を拡充・強化して、患者やその家族の意見・要望を尊重したサービスを提供するなど、患者支援体制を一層充実させる。	イ 患者待ち時間の短縮 患者待ち時間調査を実施し、実態の分析、対応策の検討を行い、待ち時間の短縮に引き続き努める。 ロ 快適な院内環境の整備 患者のプライバシー確保に配慮するなど、病院利用者の快適性に配慮した院内環境の整備を計画的に実施する。 また、がんセンターにおいて患者案内表示板システムの内容見直しを行う。 ハ 患者支援体制の充実 患者サポートセンター及び地域医療連携室等を活用し、患者やその家族の意見・要望を尊重したサービスを提供するなど、患者支援体制を一層充実させる。	◇ 患者待ち時間の短縮に向けた取組状況はどうか。 ◇ 病院利用者の快適性に配慮した院内環境の整備状況はどうか。 ◇ 患者サポートセンターの機能の拡充・強化など、患者支援体制の充実に向けた取組状況はどうか。

令和6年度業務実績		定量評価	定性評価	業務実績の参考となる指標等																																																					
※定量評価は年度計画に対する達成率で判定																																																									
(2)病院利用者の利便性・快適性の向上																																																									
イ 患者待ち時間の短縮 【精神】 10月末から11月上旬にかけて患者待ち時間調査を行い、実態の把握に努めた。 【がん】 新患患者及び再来患者を対象とした待ち時間調査を年1回以上実施して実態の把握に務めた。昨年度と比較して初診患者の1時間未満の待ち時間が47%減少した一方で1時間～1時間30分未満が36%増加した。再診患者の1時間未満の待ち時間も11%減少した一方で1時間～1時間30分未満で6%増加した。待ち時間が増加した要因としては予約時間のかなり前に来院して受付を済ませている方が多く患者都合による別の要因があったと考えられる。 ロ 快適な院内環境の整備 【精神】 老朽化した施設・設備等の修繕により、環境の維持に努めた。また、全体の治療・療養環境の改善のため、計画的な修繕工事に加え、突発的な案件にも迅速に対応し、施設機能の維持・向上に努めた。 また、療養環境整備の観点から早急に修繕が必要だった、屋上屋根防水工事等について、県と調整の結果、修繕事業として認められ、緊急的な整備を行った。 【がん】 緩和ケア病棟の各個室(25か所)に設置されているアームライトが旧式で重量があったため、小型で軽いLEDライトに交換し、安全性と快適性を強化した。 ハ 患者支援体制の充実 【精神】 本館1階地域医療連携室(旧相談コーナー)へ、令和4年度から1名増員し、計3名体制としている。令和6年度も人員配置の優先度が高いと認め、3名体制を維持し、入院依頼や成人・児童思春期外来の受診相談や、社会資源に関する相談対応などを積極的に行った。 【がん】 令和6年度、地域医療連携室では引き続き入院支援加算1(入院時支援含む)の確実な算定に向けて体制を整備し取り組んだ。入院支援加算要件をクリアするため地域の医療機関22施設と訪問看護ステーションなど4施設の訪問を行い連携を深めた。令和6年度の退院支援件数3,874件、入院支援加算算定件数3,850件、支援割合99.4%、入院支援加算算定額30,232,000円、前年度比413,000円減少した。要支援件数も前年度比189件減少し算定件数も143件減少した。 入院時支援に関しては対応診療科を10診療科まで拡充、これまでのiPadでの視聴内容を見直し、簡潔でわかりやすい説明を心掛け質の担保と業務の効率化を図った。介入件数1,486件、前年度比158件増加した。入院時支援加算算定件数1,377件、前年度比206件増加、入院時支援加算算定額3,282,000円だった。令和6年6月から入院時支援加算1が230点から240点に改定され、前年度比588,000円の増となった。次年度は更に入院時支援の診療科を拡充し、初めて入院する全診療科の患者を対象に入院前から介入し切れ目のない支援に繋げることができるように取り組みを継続していく。 がん相談支援センターについては、今年度初めて「がん相談支援センターweek」を開催し、活動をより多くの方に知ってもらえるよう参加型のブースを設け実施した。ハンドマッサージのブースでは延べ75人が利用し、マッサージをしながらひとり一人に活動内容を伝え交流を図ることができた。名取市図書館での出張相談会も初めて企画・開催し、相談支援の周知に努めた。がん相談員基礎研修(3)の修了、認定がん専門相談員の新規取得、更新申請、患者部会の企画・運営など院内外の研修に積極的に参加し相談員の質の維持・向上に取り組んだ。次年度も継続し、院内外の活動の充実と患者サービスの向上に努めた。		B	B	<table><tr><th>参考となる指標</th><th>単位</th><th>令和3年度</th><th>令和4年度</th><th>令和5年度</th><th>令和6年度</th><th>状況</th></tr><tr><td colspan="7">患者待ち時間短縮等の取組内容</td></tr><tr><td>精神医療センター</td><td rowspan="2">取組内容を記載</td><td>11月調査実施し、結果を院内掲示した。</td><td>2月下旬から3月上旬にかけて調査実施し、結果を院内掲示した。</td><td>9月に調査を実施し、結果を院内掲示した。</td><td>10月末から11月上旬にかけて調査を実施し、12月に結果を院内掲示した。</td><td rowspan="2"></td></tr><tr><td>がんセンター</td><td>患者待ち時間調査を実施し、予約時刻表示を継続して実施した。</td><td>患者待ち時間調査を実施し、予約時刻表示を継続して実施した。</td><td>患者待ち時間調査を実施し、予約時刻表示を継続して実施した。</td><td>患者待ち時間調査を実施し、予約時刻表示を継続して実施した。</td></tr><tr><td colspan="2">【精神医療センター】患者待ち時間</td><td>分</td><td>18</td><td>19</td><td>16</td><td>15</td><td>↑</td></tr><tr><td colspan="2">【がんセンター】待ち時間1時間未満の患者割合</td><td>%</td><td>69</td><td>64</td><td>75</td><td>65</td><td>↓</td></tr></table>						参考となる指標	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	状況	患者待ち時間短縮等の取組内容							精神医療センター	取組内容を記載	11月調査実施し、結果を院内掲示した。	2月下旬から3月上旬にかけて調査実施し、結果を院内掲示した。	9月に調査を実施し、結果を院内掲示した。	10月末から11月上旬にかけて調査を実施し、12月に結果を院内掲示した。		がんセンター	患者待ち時間調査を実施し、予約時刻表示を継続して実施した。	患者待ち時間調査を実施し、予約時刻表示を継続して実施した。	患者待ち時間調査を実施し、予約時刻表示を継続して実施した。	患者待ち時間調査を実施し、予約時刻表示を継続して実施した。	【精神医療センター】患者待ち時間		分	18	19	16	15	↑	【がんセンター】待ち時間1時間未満の患者割合		%	69	64	75	65	↓						
参考となる指標	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	状況																																																			
患者待ち時間短縮等の取組内容																																																									
精神医療センター	取組内容を記載	11月調査実施し、結果を院内掲示した。	2月下旬から3月上旬にかけて調査実施し、結果を院内掲示した。	9月に調査を実施し、結果を院内掲示した。	10月末から11月上旬にかけて調査を実施し、12月に結果を院内掲示した。																																																				
がんセンター		患者待ち時間調査を実施し、予約時刻表示を継続して実施した。	患者待ち時間調査を実施し、予約時刻表示を継続して実施した。	患者待ち時間調査を実施し、予約時刻表示を継続して実施した。	患者待ち時間調査を実施し、予約時刻表示を継続して実施した。																																																				
【精神医療センター】患者待ち時間		分	18	19	16	15	↑																																																		
【がんセンター】待ち時間1時間未満の患者割合		%	69	64	75	65	↓																																																		
		A	B	<table><tr><th>参考となる指標</th><th>単位</th><th>令和3年度</th><th>令和4年度</th><th>令和5年度</th><th>令和6年度</th><th>状況</th></tr><tr><td colspan="7">計画的な施設改修</td></tr><tr><td>精神医療センター</td><td rowspan="2">取組内容を記載</td><td>大規模改修・修繕工事等により、施設機能の維持に努めた。</td><td>計画的・突発的な修繕工事に対応し、施設機能の維持・向上に努めた。</td><td>計画的・突発的な修繕工事に対応し、施設機能の維持・向上に努めた。</td><td>計画的・突発的な修繕工事に対応し、施設機能の維持・向上に努めた。</td><td rowspan="2"></td></tr><tr><td>がんセンター</td><td>中長期保全計画に基づき、緊急性や優先度を考慮し改修を行った。</td><td>中長期保全計画に基づき、緊急性や優先度を考慮し改修を行った。</td><td>中長期保全計画に基づき、緊急性や優先度を考慮し改修を行った。</td><td>中長期保全計画に基づき、緊急性や優先度を考慮し改修を行った。</td></tr></table>						参考となる指標	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	状況	計画的な施設改修							精神医療センター	取組内容を記載	大規模改修・修繕工事等により、施設機能の維持に努めた。	計画的・突発的な修繕工事に対応し、施設機能の維持・向上に努めた。	計画的・突発的な修繕工事に対応し、施設機能の維持・向上に努めた。	計画的・突発的な修繕工事に対応し、施設機能の維持・向上に努めた。		がんセンター	中長期保全計画に基づき、緊急性や優先度を考慮し改修を行った。	中長期保全計画に基づき、緊急性や優先度を考慮し改修を行った。	中長期保全計画に基づき、緊急性や優先度を考慮し改修を行った。	中長期保全計画に基づき、緊急性や優先度を考慮し改修を行った。																						
参考となる指標	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	状況																																																			
計画的な施設改修																																																									
精神医療センター	取組内容を記載	大規模改修・修繕工事等により、施設機能の維持に努めた。	計画的・突発的な修繕工事に対応し、施設機能の維持・向上に努めた。	計画的・突発的な修繕工事に対応し、施設機能の維持・向上に努めた。	計画的・突発的な修繕工事に対応し、施設機能の維持・向上に努めた。																																																				
がんセンター		中長期保全計画に基づき、緊急性や優先度を考慮し改修を行った。	中長期保全計画に基づき、緊急性や優先度を考慮し改修を行った。	中長期保全計画に基づき、緊急性や優先度を考慮し改修を行った。	中長期保全計画に基づき、緊急性や優先度を考慮し改修を行った。																																																				
		A	A	<table><tr><th>参考となる指標</th><th>単位</th><th>令和3年度</th><th>令和4年度</th><th>令和5年度</th><th>令和6年度</th><th>状況</th></tr><tr><td colspan="7">相談窓口への相談件数</td></tr><tr><td>精神医療センター</td><td rowspan="2">件</td><td>29,432</td><td>25,689</td><td>25,875</td><td>23,744</td><td>↓</td></tr><tr><td>がんセンター</td><td>1,492</td><td>1,708</td><td>1,876</td><td>1,768</td><td>↓</td></tr></table> 【がんセンター】 <table><tr><th>参考となる指標</th><th>単位</th><th>令和3年度</th><th>令和4年度</th><th>令和5年度</th><th>令和6年度</th><th>状況</th></tr><tr><td>入院支援加算件数</td><td>件</td><td>4,282</td><td>3,834</td><td>3,993</td><td>3,850</td><td>↓</td></tr><tr><td>入院支援加算算定金額</td><td>千円</td><td>27,044</td><td>28,701</td><td>30,644</td><td>30,232</td><td>↓</td></tr></table>						参考となる指標	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	状況	相談窓口への相談件数							精神医療センター	件	29,432	25,689	25,875	23,744	↓	がんセンター	1,492	1,708	1,876	1,768	↓	参考となる指標	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	状況	入院支援加算件数	件	4,282	3,834	3,993	3,850	↓	入院支援加算算定金額	千円	27,044	28,701	30,644	30,232	↓
参考となる指標	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	状況																																																			
相談窓口への相談件数																																																									
精神医療センター	件	29,432	25,689	25,875	23,744	↓																																																			
がんセンター		1,492	1,708	1,876	1,768	↓																																																			
参考となる指標	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	状況																																																			
入院支援加算件数	件	4,282	3,834	3,993	3,850	↓																																																			
入院支援加算算定金額	千円	27,044	28,701	30,644	30,232	↓																																																			

第4期中期目標 (令和5～8年度)	第4期中期計画 (令和5～8年度)	令和6年度計画	評価の視点																						
	ニ 患者満足度調査の定期的実施と分析 患者満足度調査を毎年度実施し、明らかになった課題については十分な検討を行い、患者及びその家族に対するサービスを向上させる。 <table><tr><th>目標とする指標</th><th>目標値</th></tr><tr><td>患者満足度調査</td><td>年1回以上(各病院)</td></tr></table> ホ 接遇に関する研修の実施 患者サービスの向上のため、患者及びその家族の立場に立った接遇を行うための研修会を実施する。 <table><tr><th>目標とする指標</th><th>目標値</th></tr><tr><td>接遇に関する研修会開催回数</td><td>年1回以上(各病院・本部)</td></tr></table> ヘ ボランティア受入体制の整備・充実 病院ボランティアを積極的に受け入れ、患者及びその家族を円滑に支援することができるよう体制を整備する。	目標とする指標	目標値	患者満足度調査	年1回以上(各病院)	目標とする指標	目標値	接遇に関する研修会開催回数	年1回以上(各病院・本部)	ニ 患者満足度調査の定期的実施と分析 病院利用者の利便性や快適性の課題を明確にするため、調査内容・方法について継続的に検討の上、患者満足度調査を実施し、具体的な対応策を検討する。 <table><tr><th>目標とする指標</th><th>目標値</th></tr><tr><td>患者満足度調査</td><td>年1回以上(各病院)</td></tr></table> ホ 接遇に関する研修の実施 患者サービスの向上のため、患者及びその家族の立場に立った接遇を行うための研修会を実施する。 <table><tr><th>目標とする指標</th><th>目標値</th></tr><tr><td>接遇に関する研修会開催回数</td><td>年1回以上(各病院・本部)</td></tr></table> ヘ ボランティア受入体制の整備・充実 (イ)精神医療センター 宮城県農業高等学校の生徒による植栽支援をはじめとしたボランティアの受入れを行う。 (ロ)がんセンター 病院ボランティアの積極的な受入れと質の向上を図り、患者・家族への支援を円滑に行う。 <table><tr><th>目標とする指標</th><th>目標値</th></tr><tr><td>ボランティア受入人数(精神)</td><td>年18名</td></tr><tr><td>ボランティア受入人数(がん)</td><td>年80名</td></tr></table>	目標とする指標	目標値	患者満足度調査	年1回以上(各病院)	目標とする指標	目標値	接遇に関する研修会開催回数	年1回以上(各病院・本部)	目標とする指標	目標値	ボランティア受入人数(精神)	年18名	ボランティア受入人数(がん)	年80名	◇患者満足度調査の実施状況はどうか。また、その分析結果と対応はどうか。 ◇中期目標、中期計画及び年度計画に掲げる数値の達成状況はどうか。 ◇中期計画及び年度計画に掲げる数値の達成状況はどうか。 ◇ 病院ボランティアの受入等、患者及びその家族を円滑に支援するための取組状況はどうか。 ○年度計画に掲げる数値の達成状況はどうか。
目標とする指標	目標値																								
患者満足度調査	年1回以上(各病院)																								
目標とする指標	目標値																								
接遇に関する研修会開催回数	年1回以上(各病院・本部)																								
目標とする指標	目標値																								
患者満足度調査	年1回以上(各病院)																								
目標とする指標	目標値																								
接遇に関する研修会開催回数	年1回以上(各病院・本部)																								
目標とする指標	目標値																								
ボランティア受入人数(精神)	年18名																								
ボランティア受入人数(がん)	年80名																								

令和6年度業務実績			定量評価	定性評価	業務実績の参考となる指標等																				
※定量評価は年度計画に対する達成率で判定																									
二 患者満足度調査の定期的実施と分析																									
【精神】																									
入院患者・外来患者満足度調査を10月に実施し、各設問とも概ね満足との評価を得た。その結果を院内に掲示し、周知を図った。																									
【がん】																									
外来新患患者及び再来患者（調査期間内の各診療日20人を抽出）及び入院患者（調査期間内の入院者を対象）に実施して外来で141名、入院で61名の回答を得た結果、病室からトイレが遠い、トイレに入る通路が狭い、トイレの手洗い場では特に自動水栓を希望、ネット等の通信環境に不満を感じる、病院給食の味付けについての意見等が挙げられた。一方で職員への対応が親切で説明も分かりやすかったという意見が前年と比較してより多く見られた。なお、その他の各設問は概ね満足との評価結果であった。																									
<table><tr><th>指標</th><th>実績値</th><th>達成率</th></tr><tr><td colspan="3">患者満足度調査（回）</td></tr><tr><td>精神</td><td>1</td><td>100.0%</td></tr><tr><td>がん</td><td>1</td><td>100.0%</td></tr></table>			指標	実績値	達成率	患者満足度調査（回）			精神	1	100.0%	がん	1	100.0%											
指標	実績値	達成率																							
患者満足度調査（回）																									
精神	1	100.0%																							
がん	1	100.0%																							
ホ 接遇に関する研修の実施																									
<table><tr><th>指標</th><th>実績値</th><th>達成率</th></tr><tr><td colspan="3">接遇に関する研修会開催回数（回）</td></tr><tr><td>精神</td><td>1</td><td>100.0%</td></tr><tr><td>がん</td><td>1</td><td>100.0%</td></tr><tr><td>本部</td><td>1</td><td>100.0%</td></tr></table>			指標	実績値	達成率	接遇に関する研修会開催回数（回）			精神	1	100.0%	がん	1	100.0%	本部	1	100.0%								
指標	実績値	達成率																							
接遇に関する研修会開催回数（回）																									
精神	1	100.0%																							
がん	1	100.0%																							
本部	1	100.0%																							
ヘ ボランティア受入体制の整備・充実																									
【精神】																									
全館閉鎖病棟であるため、病棟でのボランティア受け入れは実施していないが、屋外の花壇整備のボランティアを受け入れている。																									
【がん】																									
ソーイングや移動図書、ギャラリー展などを継続実施してきたが、活動を拡大し緩和ケア病棟でのラウンジ図書、絵手紙やアロママッサージ、ティーサービスを再開した。ロビーコンサートは3回企画したが、出演者都合で1回中止のため2回開催。計125名の患者・家族の方にご参加いただいた。また、活動拡大に伴いボランティア募集を行い、計93名登録となった。																									
外来での案内や患者が日常的に必要なネックエプロン、腹巻帽子の作成などで患者支援をおこない、季節の折り紙の飾りつけや花活けなどで安らぎの場造りに取り組んだ。																									
<table><tr><th>指標</th><th>実績値</th><th>達成率</th></tr><tr><td colspan="3">ボランティア受入人数（人）</td></tr><tr><td>精神</td><td>19</td><td>105.6%</td></tr><tr><td>がん</td><td>93</td><td>116.3%</td></tr></table>			指標	実績値	達成率	ボランティア受入人数（人）			精神	19	105.6%	がん	93	116.3%											
指標	実績値	達成率																							
ボランティア受入人数（人）																									
精神	19	105.6%																							
がん	93	116.3%																							

B	B	B	B	B	参考となる指標					
					患者満足度調査の分析・検討・反映					
	精神医療センター	回	1	1	1	1	1	→		
		取組内容	10月に実施。結果を外来・各病棟に掲示した。	10月に実施。結果を外来・各病棟に掲示した。	10月に実施。結果を外来・各病棟に掲示した。	10月に実施。結果を外来・各病棟に掲示した。	10月に実施。結果を外来・各病棟に掲示した。また、毎月皆様の声委員会にて患者からの意見や提案についての対応を検討			
	がんセンター	回	1	1	1	1	1	→		
		取組内容	毎月ご意見・ご提案検討部会にて患者からの意見や提案についての対応を検討した。	毎月ご意見・ご提案検討部会にて患者からの意見や提案についての対応を検討した。	毎月ご意見・ご提案検討部会にて患者からの意見や提案についての対応を検討した。	毎月ご意見・ご提案検討部会にて患者からの意見や提案についての対応を検討した。	毎月ご意見・ご提案検討部会にて患者からの意見や提案についての対応を検討した。			

					参考となる指標					
					接遇研修開催状況					
	精神医療センター	回	1	1	1	1	1	→		
	がんセンター	回	1	2	1	1	1	→		
	本部事務局	回	1	1	1	1	1	→		

					参考となる指標					
					ボランティア受入数（実数）					
	精神医療センター	人	21	14	18	19	↑			
	がんセンター		77	79	80	93	↑			

第4期中期目標 (令和5～8年度)	第4期中期計画 (令和5～8年度)	令和6年度計画	評価の視点																									
	ト 通院の利便性向上に関する検討 病院の立地条件、外来患者数の状況等を踏まえ、必要駐車場数を適宜確保するなど、病院利用者の利便性を向上させる。 チ 食事療養の充実 患者の状態(がん、嚥下力の低下、生活習慣病、低栄養等)に合わせた栄養指導を行い、治療効果を促し、安全でQOL(クオリティ・オブ・ライフ)の向上に役立つ病院食を提供する。 <table><tr><th>目標とする指標</th><th>目標値</th></tr><tr><td>入院栄養指導件数(精神)</td><td>年50件</td></tr><tr><td>外来栄養指導件数(精神)</td><td>年270件</td></tr><tr><td>入院栄養指導件数(がん)</td><td>年400件</td></tr><tr><td>外来栄養指導件数(がん)</td><td>年400件</td></tr></table>	目標とする指標	目標値	入院栄養指導件数(精神)	年50件	外来栄養指導件数(精神)	年270件	入院栄養指導件数(がん)	年400件	外来栄養指導件数(がん)	年400件	ト 通院の利便性向上に関する検討 令和元年度にがんセンターにおいて整備した駐車場の利用状況を適宜モニタリングするとともに、病院利用者の更なる利便性向上に向けた検討を行う。 チ 食事療養の充実 (イ)精神医療センター 患者の栄養状態を把握し、改善を目標とした継続的な栄養管理を実施する。 身体合併症を有する患者については、精神面や生活面等を考慮した栄養指導を行う。 また、管理栄養士のチーム医療への参加により、栄養状態や摂食嚥下機能等を考慮し、患者のQOL向上につながる栄養サポートに努める。 さらに、病院食については、食事満足度調査結果をもとに、選択メニューや行事食、外食産業とのタイアップ企画等、患者の嗜好やニーズに応じた食事提供を行う。 (ロ)がんセンター 治療開始時及び術前からの栄養介入を実施し早期に患者の栄養状態を把握する。また、管理栄養士がチーム医療に参加することで患者支援に繋がることから、他職種による連携強化に努める。提供する食事は、患者に合わせた量や食形態を考慮し、患者のQOL向上につながる選択メニューの実施や季節に合わせた行事食を提供する。 <table><tr><th>目標とする指標</th><th>目標値</th><th>令和2年～令和4年平均値</th></tr><tr><td>入院栄養指導件数(精神)</td><td>年75件</td><td>63件</td></tr><tr><td>外来栄養指導件数(精神)</td><td>年300件</td><td>273件</td></tr><tr><td>入院栄養指導件数(がん)</td><td>年400件</td><td>480件</td></tr><tr><td>外来栄養指導件数(がん)</td><td>年500件</td><td>680件</td></tr></table>	目標とする指標	目標値	令和2年～令和4年平均値	入院栄養指導件数(精神)	年75件	63件	外来栄養指導件数(精神)	年300件	273件	入院栄養指導件数(がん)	年400件	480件	外来栄養指導件数(がん)	年500件	680件	◇病院利用者の利便性の向上に向けた検討状況はどうか。 ◇患者の状態に合わせた栄養指導が行われているか。 ◇安全でQOL(クオリティ・オブ・ライフ)の向上に役立つ病院食を提供しているか。 ◇中期計画及び年度計画に掲げる数値の達成状況はどうか。
目標とする指標	目標値																											
入院栄養指導件数(精神)	年50件																											
外来栄養指導件数(精神)	年270件																											
入院栄養指導件数(がん)	年400件																											
外来栄養指導件数(がん)	年400件																											
目標とする指標	目標値	令和2年～令和4年平均値																										
入院栄養指導件数(精神)	年75件	63件																										
外来栄養指導件数(精神)	年300件	273件																										
入院栄養指導件数(がん)	年400件	480件																										
外来栄養指導件数(がん)	年500件	680件																										

令和6年度業務実績			定量 評価	定性 評価	業務実績の参考となる指標等						
※定量評価は年度計画に対する達成率で判定											
ト 通院の利便性向上に関する検討											
【精神】											
駐車場の確保のため、外来利用者用の駐車場用地として賃借している土地の賃借契約を更新した。				B							
【がん】											
内視鏡室に回復室を新たに設置し、内視鏡検査後の回復に活用するとともに検査の回転効率も上がり、患者の待ち時間短縮になった。				B							
チ 食事療養の充実											
【精神】											
栄養指導では、糖尿病や脂質異常症など生活習慣病を合併している患者について、主治医に積極的に提案を行い栄養指導件数の増加となったことに加え、入院、外来ともに継続的な介入を行い、患者の理解度に合わせた内容で指導するよう努めた。				A							
また、摂食嚥下ラウンドやNSTラウンドなど多職種で連携し、安全に配慮しながらも可能な限り患者の希望に寄り添い、満足度を低下させないよう食形態の調整・食事指導を行った。											
【がん】											
栄養指導件数は入院576件、外来946件実施し入院から外来まで継続的に関わることで患者に寄り添った栄養介入ができたと考えられる。				A							
【精神】											
行事食(23回)及びセレクトメニュー(254回)の実施や新メニューを積極的に取り入れるなど、患者の楽しみとなる食事提供に努めた。				B							
さらに、給食受託業者と外食産業とのタイアップ企画として、外食チェーン店のメニュー(牛丼、カレー等)を提供することで、外食気分を味わい、リフレッシュを図ることができるような取り組みを継続的にを行い満足度向上に努めた。											
【がん】											
がん治療中の食事摂取量低下に伴い起こる低栄養に対応し、適切な栄養補助食品や付加食品の追加をはじめ、「ちょびっと食」や「はなもも食」等の患者ニーズにあった食事の提供を行い、例年通り行事食28回・選択メニュー128回を実施、患者満足度の向上に努めた。				B							

第4期中期目標 (令和5～8年度)	第4期中期計画 (令和5～8年度)	令和6年度計画	評価の視点
4 人材の確保と育成	4 人材の確保と育成	4 人材の確保と育成	
(1)医師の確保と育成	(1)医師の確保と育成	(1)医師の確保と育成	
医療水準の維持・向上のため、大学との連携強化などにより優秀な医師の必要数の確保に努めるとともに、研究・教育研修体制を強化し、資質向上を図ること。 また、臨床研修協力病院として、積極的な受入れに努めること。	イ 医師の確保 大学との連携強化や随時募集により、医療環境や業務量の変化に応じた柔軟な医師の確保及び配置を行う。 <		

令和6年度業務実績 ※定量評価は年度計画に対する達成率で判定			定量 評価	定性 評価	業務実績の参考となる指標等																																																																	
4 人材の確保と育成																																																																						
(1)医師の確保と育成																																																																						
イ 医師の確保			A	A	<table><tr><th>参考となる指標</th><th>単位</th><th>令和3年度</th><th>令和4年度</th><th>令和5年度</th><th>令和6年度</th><th>状況</th></tr><tr><td colspan="7">医師の採用状況等(採用者数)</td></tr><tr><td>精神医療センター</td><td rowspan="2">人</td><td>1</td><td>5</td><td>8</td><td>5</td><td>↓</td></tr><tr><td>がんセンター</td><td>11</td><td>21</td><td>17</td><td>27</td><td>↑</td></tr></table>						参考となる指標	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	状況	医師の採用状況等(採用者数)							精神医療センター	人	1	5	8	5	↓	がんセンター	11	21	17	27	↑																																	
参考となる指標	単位	令和3年度			令和4年度	令和5年度	令和6年度	状況																																																														
医師の採用状況等(採用者数)																																																																						
精神医療センター	人	1	5	8	5	↓																																																																
がんセンター		11	21	17	27	↑																																																																
【精神】 令和6年度における医師の採用は5人であった。																																																																						
【がん】 令和6年度における医師の採用は27人であった。また、後期研修医については、10人を採用した。			B	B																																																																		
ロ 研修医の積極的な受入れ			B	B																																																																		
【精神】 協力型臨床研修病院として、仙台市立病院等から40人の臨床研修医の受入を行った。																																																																						
【がん】 初期研修については研修医1人であった。後期研修医については10人を採用した。							<table><tr><th>参考となる指標</th><th>単位</th><th>令和3年度</th><th>令和4年度</th><th>令和5年度</th><th>令和6年度</th><th>状況</th></tr><tr><td colspan="7">後期研修医受入数(実数)</td></tr><tr><td>精神医療センター</td><td rowspan="2">人</td><td>1</td><td>4</td><td>5</td><td>5</td><td>→</td></tr><tr><td>がんセンター</td><td>10</td><td>8</td><td>8</td><td>10</td><td>↑</td></tr></table>				参考となる指標	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	状況	後期研修医受入数(実数)							精神医療センター	人	1	4	5	5	→	がんセンター	10	8	8	10	↑																																	
参考となる指標	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	状況																																																																
後期研修医受入数(実数)																																																																						
精神医療センター	人	1	4	5	5	→																																																																
がんセンター		10	8	8	10	↑																																																																
<table><tr><th>指標</th><th>実績値</th><th>達成率</th></tr><tr><td colspan="3">研修医受入数(人)</td></tr><tr><td>精神</td><td>40</td><td>137.9%</td></tr><tr><td>がん</td><td>11</td><td>183.3%</td></tr></table>			指標	実績値	達成率	研修医受入数(人)			精神	40	137.9%	がん	11	183.3%	A	A	<table><tr><th>参考となる指標</th><th>単位</th><th>令和3年度</th><th>令和4年度</th><th>令和5年度</th><th>令和6年度</th><th>状況</th></tr><tr><td colspan="7">研修医受入数(実数)</td></tr><tr><td>精神医療センター</td><td rowspan="2">人</td><td>34</td><td>31</td><td>28</td><td>35</td><td>↑</td></tr><tr><td>がんセンター</td><td>1</td><td>0</td><td>2</td><td>1</td><td>↓</td></tr></table>						参考となる指標	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	状況	研修医受入数(実数)							精神医療センター	人	34	31	28	35	↑	がんセンター	1	0	2	1	↓																					
指標	実績値	達成率																																																																				
研修医受入数(人)																																																																						
精神	40	137.9%																																																																				
がん	11	183.3%																																																																				
参考となる指標	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	状況																																																																
研修医受入数(実数)																																																																						
精神医療センター	人	34	31	28	35	↑																																																																
がんセンター		1	0	2	1	↓																																																																
ハ 研究・教育の強化			B	B																																																																		
【精神】 東北大学大学院医学系研究科との連携講座協定(地域精神医療講座)を継続している。																																																																						
【がん】 令和6年度は東北大学大学院との連携講座(医学系研究科がん医科学講座)にて指導を受けた大学院生1名が修士課程を卒業した。またがん医科学セミナー(がんプロ講座)ではYouTubeを介して、学生が聴講できるように体制整備を行った。							<table><tr><th>参考となる指標</th><th>単位</th><th>令和3年度</th><th>令和4年度</th><th>令和5年度</th><th>令和6年度</th><th>状況</th></tr><tr><td colspan="7">連携大学院講座の設置数</td></tr><tr><td>精神医療センター</td><td rowspan="2">分野</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>→</td></tr><tr><td>がんセンター</td><td>10</td><td>10</td><td>10</td><td>10</td><td>→</td></tr><tr><td colspan="7">連携大学院学生数(実数)</td></tr><tr><td>精神医療センター</td><td rowspan="2">人</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>→</td></tr><tr><td>がんセンター</td><td>10</td><td>11</td><td>11</td><td>9</td><td>↓</td></tr></table>				参考となる指標	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	状況	連携大学院講座の設置数							精神医療センター	分野	1	1	1	1	→	がんセンター	10	10	10	10	→	連携大学院学生数(実数)							精神医療センター	人	0	0	0	0	→	がんセンター	10	11	11	9	↓													
参考となる指標	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	状況																																																																
連携大学院講座の設置数																																																																						
精神医療センター	分野	1	1	1	1	→																																																																
がんセンター		10	10	10	10	→																																																																
連携大学院学生数(実数)																																																																						
精神医療センター	人	0	0	0	0	→																																																																
がんセンター		10	11	11	9	↓																																																																
<table><tr><th>指標</th><th>実績値</th><th>達成率</th></tr><tr><td colspan="3">連携大学院講座設置数(分野)</td></tr><tr><td>精神</td><td>1</td><td>100.0%</td></tr><tr><td>がん</td><td>10</td><td>100.0%</td></tr></table>			指標	実績値	達成率	連携大学院講座設置数(分野)			精神	1	100.0%	がん	10	100.0%	B	B																																																						
指標	実績値	達成率																																																																				
連携大学院講座設置数(分野)																																																																						
精神	1	100.0%																																																																				
がん	10	100.0%																																																																				
ニ 医師の資質向上			B	B																																																																		
【精神】 院内での研修会等への参加を促進するとともに、学会等の参加について支援を行った。							<table><tr><th>参考となる指標</th><th>単位</th><th>令和3年度</th><th>令和4年度</th><th>令和5年度</th><th>令和6年度</th><th>状況</th></tr><tr><td colspan="7">資格保有者数(専門医、研修指導医等)</td></tr><tr><td>精神医療センター</td><td rowspan="2">人</td><td>42</td><td>43</td><td>44</td><td>44</td><td>→</td></tr><tr><td>がんセンター</td><td>243</td><td>208</td><td>210</td><td>286</td><td>↑</td></tr></table>				参考となる指標	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	状況	資格保有者数(専門医、研修指導医等)							精神医療センター	人	42	43	44	44	→	がんセンター	243	208	210	286	↑																																	
参考となる指標	単位	令和3年度			令和4年度	令和5年度	令和6年度	状況																																																														
資格保有者数(専門医、研修指導医等)																																																																						
精神医療センター	人	42	43	44	44	→																																																																
がんセンター		243	208	210	286	↑																																																																
【がん】 学会への参加や、カンサーボード・その他の院内研修会への参加の促進、研究所と共同での研究内容の臨床への応用など、様々な機会を捉えた働きかけを行った。また、引き続き、海外の学会等への参加の支援を行っている。					<table><tr><td colspan="7">医師研修会開催実績</td></tr><tr><td>精神医療センター</td><td rowspan="2">回</td><td>12</td><td>16</td><td>15</td><td>13</td><td>↓</td></tr><tr><td>がんセンター</td><td>10</td><td>10</td><td>10</td><td>10</td><td>→</td></tr><tr><td colspan="7">学会等発表実績(医師)</td></tr><tr><td>精神医療センター</td><td rowspan="2">件</td><td>0</td><td>3</td><td>2</td><td>1</td><td>↓</td></tr><tr><td>がんセンター</td><td>77</td><td>79</td><td>85</td><td>103</td><td>↑</td></tr><tr><td colspan="7">学会参加実績(医師)</td></tr><tr><td>精神医療センター</td><td rowspan="2">件</td><td>17</td><td>19</td><td>23</td><td>24</td><td>↑</td></tr><tr><td>がんセンター</td><td>284</td><td>246</td><td>255</td><td>256</td><td>↑</td></tr></table>						医師研修会開催実績							精神医療センター	回	12	16	15	13	↓	がんセンター	10	10	10	10	→	学会等発表実績(医師)							精神医療センター	件	0	3	2	1	↓	がんセンター	77	79	85	103	↑	学会参加実績(医師)							精神医療センター	件	17	19	23	24	↑	がんセンター	284	246	255	256	↑
医師研修会開催実績																																																																						
精神医療センター	回	12	16	15	13	↓																																																																
がんセンター		10	10	10	10	→																																																																
学会等発表実績(医師)																																																																						
精神医療センター	件	0	3	2	1	↓																																																																
がんセンター		77	79	85	103	↑																																																																
学会参加実績(医師)																																																																						
精神医療センター	件	17	19	23	24	↑																																																																
がんセンター		284	246	255	256	↑																																																																
<table><tr><th>指標</th><th>実績値</th><th>達成率</th></tr><tr><td colspan="3">医師の学会参加件数(件)</td></tr><tr><td>精神</td><td>24</td><td>126.3%</td></tr><tr><td>がん</td><td>256</td><td>94.8%</td></tr></table>			指標	実績値	達成率	医師の学会参加件数(件)			精神	24	126.3%	がん	256	94.8%	A	C																																																						
指標	実績値	達成率																																																																				
医師の学会参加件数(件)																																																																						
精神	24	126.3%																																																																				
がん	256	94.8%																																																																				

第4期中期目標 (令和5～8年度)	第4期中期計画 (令和5～8年度)	令和6年度計画	評価の視点
(2)看護師の確保と育成 看護体制などの最適化のため、養成機関との連携強化などにより、必要となる看護師の確保に努めること。 また、専門看護師や認定看護師の資格取得の促進や研修の実施などにより、看護師の専門性を高め、看護水準の向上を図ること。	(2)看護師の確保と育成 イ 看護師の確保 養成機関との連携強化や随時募集により、医療環境や業務量の変化に応じた柔軟な看護師の確保及び適正配置を行う。 		

令和6年度業務実績			定量評価	定性評価	業務実績の参考となる指標等						
※定量評価は年度計画に対する達成率で判定											
(2)看護師の確保と育成											
イ 看護師の確保											
【本部】											
看護師採用試験の応募者確保対策として、看護師養成校訪問のほか、合同就職説明会の参加、ホームページ・YouTube・民間の就職情報サイトによる情報発信、病院見学会・説明会を実施するなど積極的に広報活動を行った。				B							
採用試験については、6月に実施したほか、その後は、随時募集による採用試験を実施し、採用予定者数を確保できた。											
ロ 看護師の資質向上											
【精神】											
認定看護師の資格取得については、1名の認定看護師が資格を更新したが、新規の受験者はいなかった。				B							
専門看護師については、各職員のキャリア形成についての希望を確認し、令和7年度に大学院入学受験の見込み者を確保することができた。											
クリニカルラーについてはレベルⅢbまでは病休などの事情を抱えた職員以外、順調に修了することができ、レベルⅤを含め19名のレベル修了を認定した。											
各部署の看護の質を向上するための取り組み成果を発表する場として看護研究発表会も12月に開催した。											
【がん】											
新型コロナウイルスが5類となり、看護師対象の研修もコロナ禍以前の開催の戻りつつあったため、勤務計画表の配慮など看護師が研修受講のできる環境を整えた。その結果R6年度は研修受講者、出張87名、自己研鑽での受講者144名(自己申告者)と多くの看護師が学べる機会を得ることができ、その学びを看護の実際に役立てることができている。また、看護管理者の育成として、看護管理教育課程、ファーストレベル3名、セカンドレベル2名、サードレベル1名が受講し認定され、現在看護管理を行っている。				B							
【本部】											
認定看護師、専門看護師の資格取得を支援したほか、2病院の看護部長及び副部長による看護業務検討部会を開催し、看護師のキャリアに応じた研修の企画や意見交換等を行った。				B							
【精神】											
クリニカルラーについては前年度のうちに教育委員のレベル担当者が主体的に前年度のうちに年間計画を立て、それにそって研修を実施することができた。											
また、行動制限中の患者の事故発生をきっかけに「身体拘束における事故の判例」のWebセミナー受講を2回開催した。過去に暴力事故の発生により、看護師の安全が脅かされる状況があり、その対策として令和5年度からCVPPPインストラクターの協力のもと「安全・安心研修」を開催しているが、令和6年度は3回開催し、37人が受講した。この研修については今後3年かけて看護師全員が受講する計画である。				A							
【がん】											
看護師個人のキャリア開発を組織として支援するため、院内キャリア開発ラダーを基に教育体制が整備されている。看護部内に教育委員会を設置し、組織が期待する看護師像のラダーⅢ以上、スペシャリストを目指すラダーⅣ以上を取得、キャリア採用者は当院の目指す看護実践のため研修を受講し、年度末に審査を受けラダー研修では計40名が承認を受けている。それ以外にも各役割や看護師全員に向け行う研修など、その対象に応じ年間を通し企画・実施し、看護の質向上に努めている。				B							
【本部】											
2病院の看護部長及び副部長による看護業務検討部会において、看護師のキャリアに応じた研修を企画し、令和6年度においては、副主任看護師研修、副看護部長研修、看護部長・副部長研修を実施した。				B							
指標			実績値	達成率							
資格取得者数(人)											
認定看護管理者資格取得者数			1	100.0%							
				B							
参考となる指標			単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	状況			
専門看護師資格取得者数(法人全体)			人	-	-	1	-				
認定看護師資格取得者数(法人全体)			人	-	1	1	-				
認定看護管理者資格取得者数(法人全体)			人	-	-	-	1				

第4期中期目標 (令和5～8年度)	第4期中期計画 (令和5～8年度)	令和6年度計画	評価の視点
(3)医療従事者の確保と育成	(3)医療従事者の確保と育成	(3)医療従事者の確保と育成	
病院機能の最適化のため、養成機関との連携強化などにより、必要となる薬剤師・診療放射線技師・臨床検査技師・臨床検査技師・作業療法士・臨床心理士・精神保健福祉士等の他の医療従事者の確保に努めること。 また、専門性を高める各種認定資格の取得及び資質向上につながる取組を奨励し、病院機能を向上させること。	イ 医療従事者の確保 養成機関との連携強化や随時募集により、医療環境や業務量の変化に応じた薬剤師・診療放射線技師・臨床検査技師・作業療法士・臨床心理士・精神保健福祉士等の医療従事者の確保及び適正配置を行う。 ロ 医療従事者の資質向上 各種認定資格の取得や学会等への参加など、資質向上につながる取組をより積極的に奨励・支援できる仕組みを構築する。 また、実効性のある研修プログラムに基づき、計画的に研修を実施する。	イ 医療従事者の確保 医療従事者の人材を確保するため、各養成機関に対する募集活動を実施する。 また、医療環境や業務量の変化等に応じた適正な体制を維持するため、随時募集による採用等、柔軟な採用・配置に努める。 ロ 医療従事者の資質向上 各種認定資格の取得、学会等(オンラインを含む。)への参加などの資質向上につながる取組を、より積極的に奨励・支援できる仕組みを構築する。 また、実効性のある研修プログラムに基づき、計画的に研修を実施する。	◇医療従事者の確保及び適正配置に係る取組状況はどうか。 ◇医療従事者の資質向上に向けた取組状況はどうか。
(4)医療系学生への教育	(4)医療系学生への教育	(4)医療系学生への教育	
養成機関で学ぶ、次世代を担う医療系学生への臨床教育の場としての体制を維持し、積極的に学生を受け入れること。	養成機関からの要請に柔軟に応えるための体制を整備し、次世代を担う医療系学生に対する臨床教育や研修の場として、県立2病院が有する医療資源を積極的に提供する。	養成機関からの要請に柔軟に応えるための体制を整備し、次世代を担う医療系学生に対する臨床教育や、研修の場として県立2病院が有する医療資源を積極的に提供する。	◇次世代を担う医療系学生に対する臨床教育や研修の場としての体制が整備されているか。
(5)事務職員の確保と育成	(5)事務職員の確保と育成	(5)事務職員の確保と育成	
各種資格を有し、病院経営や医療事務等病院特有の事務に精通した職員の必要数の確保及び育成に努めること。 また、職員のスキルアップを図るため、外部研修会等への派遣を行うよう努めること。	イ 事務職員の確保 医療制度や経営環境の変化等に的確に対応できるよう事務職員の確保及び適正配置に努める。 ロ 事務職員の資質向上 各種認定資格の取得や外部研修会等の参加を奨励・支援するほか、研修体系の評価と見直しを継続的にを行い事務部門の専門性の向上を図る。	イ 事務職員の確保 医療制度や経営環境の変化に迅速に対応できるよう、病院経営や医療事務等の病院特有の事務や法人運営に精通した事務職員の計画的な確保及び適正配置を行う。 ロ 事務職員の資質向上 各種認定資格の取得や外部研修会等の参加を奨励・支援するほか、病院特有の事務や法人運営について精通した人材を育成するため、研修体系の評価と見直しを継続的にを行い事務部門の専門性の向上を図る。 また、最も身近で実践的な人材育成方法であるOJT(職場内研修)が効果的に行われるよう、OJTを指導できる職員を育成する。	◇ 事務職員の確保及び適正配置に係る取組状況はどうか。 ◇ 事務部門の専門性向上に向けた取組状況はどうか。

令和6年度業務実績 ※定量評価は年度計画に対する達成率で判定	定量 評価	定性 評価	業務実績の参考となる指標等																																																																																											
(3)医療従事者の確保と育成																																																																																														
イ 医療従事者の確保 【本部】 必要な職種について採用試験により人材を確保した。採用試験の実施に当たっては、各職種養成機関、公共機関等に広く募集要項を配布するなどして応募者確保に努めた。 ロ 医療従事者の資質向上 【精神】 各種研修会の開催や、外部研修機関への研修派遣、学会等への参加を通じて、資質向上に向けた取り組みを行っている。 【がん】 各種研修会への参加や、外部研修機関への研修派遣、WEBを利用した学会等への参加を通じて、資質向上に向けた取り組みを行っている。 【本部】 医療従事者の資質向上を図るため、各種認定資格の取得促進、外部研修会への参加など、資質向上につながる取組を推進した。		B	<table><tr><th>参考となる指標</th><th>単位</th><th>令和3年度</th><th>令和4年度</th><th>令和5年度</th><th>令和6年度</th><th>状況</th></tr><tr><td>医療従事者の採用状況等(法人全体)</td><td>人</td><td>5</td><td>6</td><td>8</td><td>2</td><td>↓</td></tr></table>						参考となる指標	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	状況	医療従事者の採用状況等(法人全体)	人	5	6	8	2	↓																																																																								
	参考となる指標		単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	状況																																																																																						
	医療従事者の採用状況等(法人全体)		人	5	6	8	2	↓																																																																																						
			B	<table><tr><th>参考となる指標</th><th>単位</th><th>令和3年度</th><th>令和4年度</th><th>令和5年度</th><th>令和6年度</th><th>状況</th></tr><tr><td colspan="7">資格保有者数</td></tr><tr><td>精神医療センター</td><td rowspan="2">人</td><td>21</td><td>33</td><td>32</td><td>34</td><td>↑</td></tr><tr><td>がんセンター</td><td>124</td><td>124</td><td>126</td><td>134</td><td>↑</td></tr><tr><td colspan="7">コメディカル研修会開催実績</td></tr><tr><td>精神医療センター</td><td rowspan="2">回</td><td>23</td><td>15</td><td>17</td><td>30</td><td>↑</td></tr><tr><td>がんセンター</td><td>12</td><td>11</td><td>24</td><td>24</td><td>→</td></tr><tr><td colspan="7">学会等発表実績(コメディカル)</td></tr><tr><td>精神医療センター</td><td rowspan="2">件</td><td>6</td><td>5</td><td>1</td><td>1</td><td>→</td></tr><tr><td>がんセンター</td><td>48</td><td>23</td><td>17</td><td>36</td><td>↑</td></tr><tr><td colspan="7">学会等参加実績(コメディカル)</td></tr><tr><td>精神医療センター</td><td rowspan="2">人</td><td>63</td><td>70</td><td>56</td><td>59</td><td>↑</td></tr><tr><td>がんセンター</td><td>91</td><td>72</td><td>81</td><td>113</td><td>↑</td></tr></table>						参考となる指標	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	状況	資格保有者数							精神医療センター	人	21	33	32	34	↑	がんセンター	124	124	126	134	↑	コメディカル研修会開催実績							精神医療センター	回	23	15	17	30	↑	がんセンター	12	11	24	24	→	学会等発表実績(コメディカル)							精神医療センター	件	6	5	1	1	→	がんセンター	48	23	17	36	↑	学会等参加実績(コメディカル)							精神医療センター	人	63	70	56	59	↑	がんセンター	91	72	81
参考となる指標	単位	令和3年度		令和4年度	令和5年度	令和6年度	状況																																																																																							
資格保有者数																																																																																														
精神医療センター	人	21		33	32	34	↑																																																																																							
がんセンター		124	124	126	134	↑																																																																																								
コメディカル研修会開催実績																																																																																														
精神医療センター	回	23	15	17	30	↑																																																																																								
がんセンター		12	11	24	24	→																																																																																								
学会等発表実績(コメディカル)																																																																																														
精神医療センター	件	6	5	1	1	→																																																																																								
がんセンター		48	23	17	36	↑																																																																																								
学会等参加実績(コメディカル)																																																																																														
精神医療センター	人	63	70	56	59	↑																																																																																								
がんセンター		91	72	81	113	↑																																																																																								
		B																																																																																												
(4)医療系学生への教育																																																																																														
【精神】 東北大学医学部の学生102人のほか、宮城大学を始めとする看護師養成機関から看護学生253人、精神保健福祉士等を目指す学生28人などの実習・研修生を受け入れた。 【がん】 令和6年度は、実習養成校が1校増え8校の実習を受けた。今年度は新たな項目として、宮城大学のマネジメント実習の学生も32名を受けた。事前の大学との打ち合わせを密に行い、実習担当者も副看護部長と配慮し、学びの場を整えた。実習後の検討会では、学びの多い実習であったとの感想が多く聞かれた。		B	<table><tr><th>参考となる指標</th><th>単位</th><th>令和3年度</th><th>令和4年度</th><th>令和5年度</th><th>令和6年度</th><th>状況</th></tr><tr><td colspan="7">学生受入数</td></tr><tr><td>精神医療センター</td><td rowspan="2">人</td><td>315</td><td>448</td><td>479</td><td>383</td><td>↓</td></tr><tr><td>がんセンター</td><td>1,574</td><td>1,461</td><td>2,167</td><td>1,873</td><td>↓</td></tr></table>						参考となる指標	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	状況	学生受入数							精神医療センター	人	315	448	479	383	↓	がんセンター	1,574	1,461	2,167	1,873	↓																																																											
	参考となる指標		単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	状況																																																																																						
	学生受入数																																																																																													
	精神医療センター		人	315	448	479	383	↓																																																																																						
がんセンター	1,574	1,461		2,167	1,873	↓																																																																																								
	B																																																																																													
(5)事務職員の確保と育成																																																																																														
イ 事務職員の確保 【本部】 病院経営や医療事務に精通した職員の育成に向けて計画的な人員配置を行った。 ロ 事務職員の資質向上 【精神】 法人主催の研修や公務研修所にて開催される研修に参加し、資質の向上に努めた。 【がん】 階層別研修や指導者養成研修及び管理監督者研修等や医療事務講座に職員を派遣するとともに、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、オンラインによる研修も利用し資質の向上に努めた。 【本部】 病院運営や診療行為を支える事務職員の資質向上を図るため、診療情報管理士や医療事務(メディカルクラーク)の資格取得を支援したほか、医事業務に関する研修会、業務改善を目的としたRPAの勉強会、事務管理者研修会や病院財務会計セミナーなどの研修を実施した。		B	<table><tr><th>参考となる指標</th><th>単位</th><th>令和3年度</th><th>令和4年度</th><th>令和5年度</th><th>令和6年度</th><th>状況</th></tr><tr><td>法人採用事務職員数</td><td>人</td><td>5</td><td>5</td><td>3</td><td>0</td><td>↓</td></tr></table>						参考となる指標	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	状況	法人採用事務職員数	人	5	5	3	0	↓																																																																								
	参考となる指標		単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	状況																																																																																						
	法人採用事務職員数		人	5	5	3	0	↓																																																																																						
			B	<table><tr><th>参考となる指標</th><th>単位</th><th>令和3年度</th><th>令和4年度</th><th>令和5年度</th><th>令和6年度</th><th>状況</th></tr><tr><td>資格保有者数(診療情報管理士)</td><td>人</td><td>16</td><td>17</td><td>19</td><td>19</td><td>→</td></tr><tr><td>事務職員研修会開催実績</td><td>回</td><td>0</td><td>3</td><td>3</td><td>3</td><td>→</td></tr><tr><td colspan="7">外部研修会参加実績</td></tr><tr><td>精神医療センター</td><td rowspan="2">人</td><td>10</td><td>37</td><td>17</td><td>18</td><td>↑</td></tr><tr><td>がんセンター</td><td>11</td><td>20</td><td>31</td><td>14</td><td>↓</td></tr></table>						参考となる指標	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	状況	資格保有者数(診療情報管理士)	人	16	17	19	19	→	事務職員研修会開催実績	回	0	3	3	3	→	外部研修会参加実績							精神医療センター	人	10	37	17	18	↑	がんセンター	11	20	31	14	↓																																												
参考となる指標	単位	令和3年度		令和4年度	令和5年度	令和6年度	状況																																																																																							
資格保有者数(診療情報管理士)	人	16		17	19	19	→																																																																																							
事務職員研修会開催実績	回	0		3	3	3	→																																																																																							
外部研修会参加実績																																																																																														
精神医療センター	人	10	37	17	18	↑																																																																																								
がんセンター		11	20	31	14	↓																																																																																								
	B																																																																																													

第4期中期目標 (令和5～8年度)	第4期中期計画 (令和5～8年度)	令和6年度計画	評価の視点
5 災害等への対応	5 災害等への対応	5 災害等への対応	
災害及び新興感染症等の公衆衛生上の重大な危害が発生し又は発生しようとしている場合には、関係機関との連携のもと、県立病院として医療を迅速かつ適切に提供するとともに、中長期的な支援にも努めること。 また、災害対応マニュアルの見直しや事業継続計画の策定を行うことにより、災害発生時に患者の安全が確保できるよう対策を講じ、訓練を実施すること。	大規模な災害及び新興感染症等の公衆衛生上の重大な危害が発生し又は発生しようとしている場合には、県立2病院及び関係機関が連携して必要とされる医療を迅速かつ適切に提供するとともに、災害後の中長期的な被災者支援も行う。 また、災害発生時に備え、毎年度、防災訓練を実施するとともに、通信手段や必要物資の確保対策を講じる。 さらに、災害対策マニュアルの見直しや事業継続計画の策定に向けて取組を進める。	大規模災害の発生時に2病院の職員が共通の認識をもって対応するため、連携方法や災害時の派遣チームの編成等のマニュアルの整備・更新を行い、職員への周知を徹底する。 また、東日本大震災の対応の検証を踏まえ、災害発生時に備え、通信手段や必要物資の確保対策を講じるとともに、病院毎に防災訓練を実施する。 さらに災害対策マニュアルの見直しや事業継続計画の策定に向けて取組を進める。	◇ 大規模な災害及び新興感染症等の公衆衛生上の重大な危害が発生し又は発生しようとしている際の対応状況はどうか。 <

令和6年度業務実績			定量 評価	定性 評価	業務実績の参考となる指標等																																									
※定量評価は年度計画に対する達成率で判定																																														
5 災害等への対応																																														
【精神】 DPAT先遣隊の活動として、技能維持研修や国が行う大規模地震時医療活動訓練に参加するなど、積極的な活動を行った。			B		<table><tr><th>参考となる指標</th><th>単位</th><th>令和3年度</th><th>令和4年度</th><th>令和5年度</th><th>令和6年度</th><th>状況</th></tr><tr><td colspan="7">災害時派遣チームの編成</td></tr><tr><td>精神医療センター</td><td>回</td><td>0</td><td>0</td><td>1</td><td>0</td><td>↓</td></tr><tr><td>がんセンター</td><td>回</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>→</td></tr></table>							参考となる指標	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	状況	災害時派遣チームの編成							精神医療センター	回	0	0	1	0	↓	がんセンター	回	0	0	0	0	→							
					参考となる指標	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	状況																																			
災害時派遣チームの編成																																														
精神医療センター	回	0	0	1	0	↓																																								
がんセンター	回	0	0	0	0	→																																								
【がん】 発生に備えた対応として、宮城県と新型インフルエンザ等感染症、指定感染症又は新感染症に係る医療を提供する体制の確保に必要な措置に関する協定を締結した。			A		<table><tr><th>参考となる指標</th><th>単位</th><th>令和3年度</th><th>令和4年度</th><th>令和5年度</th><th>令和6年度</th><th>状況</th></tr><tr><td colspan="7">訓練実施実績</td></tr><tr><td>精神医療センター</td><td>回</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td><td>→</td></tr><tr><td>がんセンター</td><td>回</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td><td>→</td></tr><tr><td>本部事務局</td><td>回</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td><td>→</td></tr></table>							参考となる指標	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	状況	訓練実施実績							精神医療センター	回	2	2	2	2	→	がんセンター	回	2	2	2	2	→	本部事務局	回	2	2	2	2	→
					参考となる指標	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	状況																																			
訓練実施実績																																														
精神医療センター	回	2	2	2	2	→																																								
がんセンター	回	2	2	2	2	→																																								
本部事務局	回	2	2	2	2	→																																								
【本部】 職員の安否確認システムの活用訓練や無線機の通信訓練を行うなど、災害時における通信方法の確認を行った。			B																																											
【精神】 当院の防災マニュアルに基づき「災害用備蓄食品」と「災害用備蓄医薬品」を適切に管理している。 また、9月と3月に防災訓練を実施した。			B																																											
【がん】 災害発生時に備え、入院患者及び職員用の3日分の食料を常時備蓄をしている。また、火災発生に備え消防訓練を2回行った。			B																																											
【本部】 職員の安否確認システムの活用訓練や無線機の通信訓練を行うなど、災害時における通信方法の確認を行ったほか、非常時に備えて備蓄している食料の確認・更新を行った。			B																																											
【精神】 訪問看護事業所における事業継続計画が義務化されたため、策定に取り組んだ。			B																																											
【がん】 令和4年度に事業継続計画は策定済み。内容の修正はないが、組織改定があったため、一部改定を行った。			B																																											
【本部】 年度当初の人事異動の機会に災害対応マニュアルの確認及び見直しを行うとともに、職員に配布し周知を行った。			B																																											
<table><tr><th>指標</th><th>実績値</th><th>達成率</th></tr><tr><td colspan="3">防災訓練実施件数(回)</td></tr><tr><td>精神</td><td>2</td><td>100.0%</td></tr><tr><td>がん</td><td>2</td><td>100.0%</td></tr><tr><td>本部</td><td>2</td><td>100.0%</td></tr></table>			指標	実績値	達成率	防災訓練実施件数(回)			精神	2	100.0%	がん	2	100.0%	本部	2	100.0%	B																												
指標	実績値	達成率																																												
防災訓練実施件数(回)																																														
精神	2	100.0%																																												
がん	2	100.0%																																												
本部	2	100.0%																																												
			B																																											
			B																																											

第4期中期目標 (令和5～8年度)	第4期中期計画 (令和5～8年度)	令和6年度計画	評価の視点
第3 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置	第3 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置	第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置	
他の類似病院等との比較を通して、経営分析を行い、病院運営へ反映させるとともに、各種指標を活用し、法人業務全般について最適化を図ること。 また、中期計画において項目ごとに定量的目標を設定し、診療報酬等の増収及び経費節減に取り組み、収支改善を図ること。			
1 業務運営体制の確立	1 業務運営体制の確立	1 業務運営体制の確立	
	(1)効率的な業務運営の推進	(1)効率的な業務運営体制の推進	
県立病院の再編協議の進捗等を踏まえつつ、必要となる人材の確保に努め、医療環境の変化に的確に対応できる最適な業務運営体制を整備すること。 また、中期目標、中期計画及び年度計画に掲げる目標や取組の実現に向けた体制の整備を図るとともに、職員研修などを通して、病院の運営体制及び経営改善に対する意識付けを行い、職員全体の理解促進に取り組むこと。	県が進める県立病院の再編協議の進捗等を踏まえつつ、必要となる人材の確保に努め、医療環境の変化に的確に対応できる最適な業務運営体制の整備に努める。	県が進める県立病院の再編協議の進捗等を踏まえつつ、必要となる人材の確保に努め、医療環境の変化に的確に対応できる最適な業務運営体制の整備に努める。	◇医療環境の変化に的確に対応できる最適な業務運営体制の整備に関する取組状況はどうか。
	(2)目標達成に向けた取組	(2)目標達成に向けた取組	
	目標達成のために、理事会等において業務運営体制を継続的に検討するとともに、経営分析の実施、中期計画及び年度計画の進行管理を行う。	理事会等において業務運営体制を継続的に検討するとともに、経営分析の実施、中期計画及び年度計画の進行管理を行い、目標達成に向け必要な方策を講じる。	◇ 中期目標達成に向けた理事会における検討、経営分析、進行管理の取組状況はどうか。

令和6年度業務実績		定量 評価	定性 評価	業務実績の参考となる指標等																				
※定量評価は年度計画に対する達成率で判定																								
第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するため とるべき措置																								
1 業務運営体制の確立																								
(1)効率的な業務運営体制の推進																								
【精神】 全部署から出席する病院運営会議、病院運営委員会を毎月開 催し、業務運営体制の確立に向け、情報共有化の上、問題解決 のための意見交換を行った。		B	B B B	<table><tr><th>参考となる指標</th><th>単位</th><th>令和3年度</th><th>令和4年度</th><th>令和5年度</th><th>令和6年度</th><th>状況</th></tr><tr><td rowspan="4">組織規程に基づく自 律的・機動的な運営</td><td rowspan="4">取組 内容 を記 載</td><td>内部組織 の見直し(事 務部門の組 織改編及び 職制の見直 し等)を行 い、より自 立的・機動 的な運営に 取り組ん だ。</td><td>業務運営の 効率化を図 るため、事 務部門にお いてグルー プ制の導入 を行うとと もに、グル ープリーダ ーのマネジ メント力等 の強化、グ ループ間の 連携・情報 共有を目的 としたグ ループリー ダー会議を 月に1回開 催した。</td><td>内部組織の 見直し(事 務部門の組 織改編等) を行い、よ り自立的・機 動的な運営 に取り組ん だ。</td><td>事務部門の 組織改編等 は無かつ た。また、グ ループリー ダー会議を 年6回開催 した。</td><td rowspan="4"> </td></tr><tr></tr><tr></tr><tr></tr></table>							参考となる指標	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	状況	組織規程に基づく自 律的・機動的な運営	取組 内容 を記 載	内部組織 の見直し(事 務部門の組 織改編及び 職制の見直 し等)を行 い、より自 立的・機動 的な運営に 取り組ん だ。	業務運営の 効率化を図 るため、事 務部門にお いてグルー プ制の導入 を行うとと もに、グル ープリーダ ーのマネジ メント力等 の強化、グ ループ間の 連携・情報 共有を目的 としたグ ループリー ダー会議を 月に1回開 催した。	内部組織の 見直し(事 務部門の組 織改編等) を行い、よ り自立的・機 動的な運営 に取り組ん だ。	事務部門の 組織改編等 は無かつ た。また、グ ループリー ダー会議を 年6回開催 した。	
参考となる指標	単位	令和3年度		令和4年度	令和5年度	令和6年度	状況																	
組織規程に基づく自 律的・機動的な運営	取組 内容 を記 載	内部組織 の見直し(事 務部門の組 織改編及び 職制の見直 し等)を行 い、より自 立的・機動 的な運営に 取り組ん だ。		業務運営の 効率化を図 るため、事 務部門にお いてグルー プ制の導入 を行うとと もに、グル ープリーダ ーのマネジ メント力等 の強化、グ ループ間の 連携・情報 共有を目的 としたグ ループリー ダー会議を 月に1回開 催した。	内部組織の 見直し(事 務部門の組 織改編等) を行い、よ り自立的・機 動的な運営 に取り組ん だ。	事務部門の 組織改編等 は無かつ た。また、グ ループリー ダー会議を 年6回開催 した。																		
【がん】 幹部会、センター運営会議、センター連絡会議、診療科長会議 等において、業務運営体制の確立に向け、その時々の課題解決 のための話し合いを行った。		B																						
【本部】 理事長懇談会、事務局連絡調整会議、グループリーダー会議 等において、業務運営体制の確立に向け、情報共有化の上、課 題解決のための意見交換を行った。		B																						
(2)目標達成に向けた取組																								
【本部】 理事会のほか、理事長・院長等会議を開催し、経営状況や計画 の進行状況について、法人内で共有することで、進行管理を行っ ている。 特にR6年度は外部機関による経営診断を受け経営改善の目 標とする指標を明確化するとともに、次年度に向けて具体的な行 動の指針となる「経営改善計画アクションプラン」の策定に着手し た。		B	B	<table><tr><th>参考となる指標</th><th>単位</th><th>令和3年度</th><th>令和4年度</th><th>令和5年度</th><th>令和6年度</th><th>状況</th></tr><tr><td>理事会等における計 画の進行管理</td><td>取組 内容 を記 載</td><td>理事会、理 事長・院長 等会議にお いて、経営 状況や計画 の進行状況 を把握し、 進行管理を 行っている。</td><td>理事会、理 事長・院長 等会議にお いて、経営 状況や計画 の進行状況 を把握し、 進行管理を 行っている。</td><td>理事会、理 事長・院長 等会議にお いて、経営 状況や計画 の進行状況 を把握し、 進行管理を 行っている。</td><td>理事会、理 事長・院長 等会議にお いて、経営 状況や計画 の進行状況 を把握し、 進行管理を 行っている。</td><td> </td></tr></table>							参考となる指標	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	状況	理事会等における計 画の進行管理	取組 内容 を記 載	理事会、理 事長・院長 等会議にお いて、経営 状況や計画 の進行状況 を把握し、 進行管理を 行っている。	理事会、理 事長・院長 等会議にお いて、経営 状況や計画 の進行状況 を把握し、 進行管理を 行っている。	理事会、理 事長・院長 等会議にお いて、経営 状況や計画 の進行状況 を把握し、 進行管理を 行っている。	理事会、理 事長・院長 等会議にお いて、経営 状況や計画 の進行状況 を把握し、 進行管理を 行っている。	
参考となる指標	単位	令和3年度		令和4年度	令和5年度	令和6年度	状況																	
理事会等における計 画の進行管理	取組 内容 を記 載	理事会、理 事長・院長 等会議にお いて、経営 状況や計画 の進行状況 を把握し、 進行管理を 行っている。	理事会、理 事長・院長 等会議にお いて、経営 状況や計画 の進行状況 を把握し、 進行管理を 行っている。	理事会、理 事長・院長 等会議にお いて、経営 状況や計画 の進行状況 を把握し、 進行管理を 行っている。	理事会、理 事長・院長 等会議にお いて、経営 状況や計画 の進行状況 を把握し、 進行管理を 行っている。																			

第4期中期目標 (令和5～8年度)	第4期中期計画 (令和5～8年度)	令和6年度計画	評価の視点								
	(3)職員一丸となつての経営改善 経営改善に関して、院内の部会等を通じ職員間での情報の共有を図る。 また、病院経営に関する研修会の開催、業務改善の推進及び患者満足度調査の分析・検討により、職員及び病院利用者の意見を経営に反映させる体制づくりを進める。	(3)全職員による経営改善 経営改善に関して、職員向けの説明会等を通じ職員間での情報を共有する。 また、病院経営に関する研修会の開催、業務改善の推進及び患者満足度調査の分析・検討により、職員及び病院利用者の意見を経営に反映させる体制づくりに努める。	◇ 経営改善に関する職員間での情報共有の取組状況はどうか。 ◇ 職員及び病院利用者の意見を経営に反映させる体制づくりに関する取組状況はどうか。 ◇ 中期計画及び年度計画に掲げる数値の達成状況はどうか。								
	<table><tr><td>目標とする指標</td><td>目標値</td></tr><tr><td>病院経営に関する研修会の開催回数</td><td>年1回以上</td></tr></table>	目標とする指標	目標値	病院経営に関する研修会の開催回数	年1回以上	<table><tr><td>目標とする指標</td><td>目標値</td></tr><tr><td>病院経営に関する研修会の開催回数</td><td>年1回以上</td></tr></table>	目標とする指標	目標値	病院経営に関する研修会の開催回数	年1回以上	
目標とする指標	目標値										
病院経営に関する研修会の開催回数	年1回以上										
目標とする指標	目標値										
病院経営に関する研修会の開催回数	年1回以上										

令和6年度業務実績 ※定量評価は年度計画に対する達成率で判定			定量 評価	定性 評価	業務実績の参考となる指標等																													
(3)全職員による経営改善																																		
【精神】 病院運営会議、病院運営委員会、経営・治療戦略会議等において、全職員に対して病院経営状況などについて周知するなど、情報共有化に取り組んでいる。				B																														
【がん】 センター運営会議、センター連絡会議、診療科長会議、その他会議等を通じ経営状況に関する情報の共有化を図り意見交換を行った。				B																														
【本部】 各種会議等を通じて中期計画・年度計画や経営改善に関する情報共有を図るとともに、外部講師による病院経営に関する研修会を2回(管理職・監督者級の職員向け、全職員向け)開催し、病院経営についての共通理解が得られるように努めた。 また、R6年度は、本部事務局とがんセンターで経営状況に関する会議を月1回開催し、具体的な経営改善に係る取組の進捗状況について意見交換を行った。				B																														
【精神】 患者満足度調査や院内に設置している「ご意見箱」から集まった意見などを月1回開催している「皆様の声委員会」で検討し、改善に努めている。				B																														
【がん】 患者満足度調査の分析や「ご意見・ご提案検討部会」での意見・提案の検討を通じて改善に努めた。特に「ご意見・ご提案検討部会」は、月1回開催し、寄せられた意見・提案について、速やかに検討を行い、反映に努めた。				B																														
【本部】 職員提案要綱の運用を行い、提案の受付を行った。				D																														
<table><tr><td>指標</td><td>実績値</td><td>達成率</td></tr><tr><td colspan="3">病院経営に関する研修会の開催回数(回)</td></tr><tr><td>法人全体</td><td>2</td><td>200.0%</td></tr></table>			指標	実績値	達成率	病院経営に関する研修会の開催回数(回)			法人全体	2	200.0%	A		<table><tr><td>参考となる指標</td><td>単位</td><td>令和3年度</td><td>令和4年度</td><td>令和5年度</td><td>令和6年度</td><td>状況</td></tr><tr><td>病院経営研修会開催実績</td><td>回</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>2</td><td>↑</td></tr></table>							参考となる指標	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	状況	病院経営研修会開催実績	回	1	1	1	2	↑
指標	実績値	達成率																																
病院経営に関する研修会の開催回数(回)																																		
法人全体	2	200.0%																																
参考となる指標	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	状況																												
病院経営研修会開催実績	回	1	1	1	2	↑																												

第4期中期目標 (令和5～8年度)	第4期中期計画 (令和5～8年度)	令和6年度計画	評価の視点
2 収益確保の取組	2 収益確保の取組	2 収益確保の取組	
	(1)変化する医療環境に対する迅速な対応	(1)変化する医療環境に対する迅速な対応	
経営戦略部門によるデータの分析・活用等を行い、県立病院が有する資源を有効活用し、病床利用率や医療機器の稼働率の向上に努めるとともに、外部の経営コンサルタントへの経営評価のアウトソーシング等により、経営改善を図ること。 また、診療報酬改定を含む医療保険制度改正への対応を迅速に行い、確実に事業収益を確保していくとともに、診療報酬の請求漏れや未収金発生防止及び未収金の早期回収に努めること。 さらに、県立病院が有する資源の有効活用に努め、変化する医療環境に対応した組織体制づくりを行うとともに、患者の確保及び経営の改善を図ること。 【指標】 病床利用率を毎年度、宮城県立精神医療センター（精神科救急病棟）82.0％以上、宮城県立がんセンター80.0％以上とすること。（前中期目標期間実績：（宮城県立精神医療センター）令和元年度81.9％、令和2年度78.9％、令和3年度85.0％、（宮城県立がんセンター）令和元年度75.0％、令和2年度66.3％、令和3年度66.3％） ※宮城県立精神医療センターの指標については、第2の1（1）イの再掲となる。	経営戦略部門によるデータの分析・活用等を行い、県立病院の有する資源の有効活用に努め、変化する医療環境への確に対応するとともに、安全で質の高い医療の提供を通じて、患者確保を図り、経営の改善を進める。 また、他の類似病院等との比較や、外部の経営コンサルタントなどの活用等、客観的な目線で法人の経営分析を導入する。 目標とする指標は次のとおりとし、がんセンターの病床利用率については、中期目標で指示された目標値を中期目標期間中に達成することを目指す。	経営戦略部門によるデータの分析・活用等を行い、県立病院の有する資源の有効活用に努め、変化する医療環境への確に対応するとともに、安全で質の高い医療の提供を通じて、患者確保を図り、経営の改善を進める。 また、他の類似病院等との比較の実施を行うとともに、DPCデータを活用した経営分析等を実施し、客観的な目線で法人の経営分析の導入に向けた取組を進める。	◇ 経営改善への取組状況はどうか。

令和6年度業務実績			定量 評価	定性 評価	業務実績の参考となる指標等						
※定量評価は年度計画に対する達成率で判定											
2 収益確保の取組											
(1)変化する医療環境に対する迅速な対応											
【精神】											
①レセプト査定率の削減のため、「レセプト委員会」を開催し、査定内容の確認や検討を行い、レセプト査定率は目標を達成した。				B							
②精神科救急医療システム事業を県から受託し、収益の確保に努めた。											
③未収金の削減に向けて、医事事務嘱託員等が未納者の自宅を定期的に訪問し、分割納付に指導を行うとともに、家族や保証人にも接触して働きかけを行った。特に回収困難な案件はその回収業務を弁護士に委託するなど、その縮減に努めており、年々、未収金残高が減少している。											
【がん】											
後発医薬品を精査し、順次切り替えを行っている他、各部署へ働きかけを行い、リハビリテーション単位数の増加や入院期間の標準化を図り、増収に繋がった。				A							
【精神】											
毎月の収支確定後、経営分析の結果を取りまとめ、翌月の病院運営会議や運営委員会、経営健全推進化委員会等にて報告・共有を行った。				B							
また、四半期に1度、全部署が参加する「経営・治療戦略会議」を開催し、運営方針・経営計画に基づく重点事項の進捗状況を共有・議論し、経営面と医療提供の両面において改善できるよう、検討を行った。											
【がん】											
毎月2回程度、経営戦略会議を開催し、現状の分析結果と経営改善案等について、総長、院長、看護部長と情報を共有している。				B							

第4期中期目標 (令和5～8年度)	第4期中期計画 (令和5～8年度)	令和6年度計画	評価の視点						
	(2)レセプト検討委員会の定期的開催 レセプト検討委員会を定期的に開催し、診療報酬等の制度改定への対応や、診療報酬の請求漏れ、査定減、返戻発生防止、施設基準・加算の取得に取り組む。	(2)レセプト検討委員会の定期的開催 レセプト検討委員会を定期的に開催し、診療報酬等の制度改定への対応や、診療報酬の請求漏れ、査定減、返戻発生防止、施設基準・加算の取得に取り組む。 <table><tr><td>目標とする指標</td><td>目標値</td></tr><tr><td>レセプト査定率(精神)</td><td>0.01%</td></tr><tr><td>レセプト査定率(がん)</td><td>0.13%</td></tr></table>	目標とする指標	目標値	レセプト査定率(精神)	0.01%	レセプト査定率(がん)	0.13%	◇ レセプト検討委員会の開催状況はどうか。
目標とする指標	目標値								
レセプト査定率(精神)	0.01%								
レセプト査定率(がん)	0.13%								

令和6年度業務実績			定量評価	定性評価	業務実績の参考となる指標等																																																
※定量評価は年度計画に対する達成率で判定																																																					
(2)レセプト検討委員会の定期的開催																																																					
【精神】 「レセプト委員会」を開催し、査定原因について検討を行いながら、診療報酬に関する仕組みや算定のルールについて、院内周知を行った。				B																																																	
【がん】 診療報酬委員会を月に1度開催し、返戻・査定となった事例を分析した結果を各部門に周知するとともに、診療科長会議で各診療科長の医師に対して返戻・査定の傾向と対策を報告している。				B																																																	
【精神】 レセプト点検システムを活用し、請求前の算定エラーを発見することで、査定減、返戻発生の防止に繋げている。また、施設基準の届出については、関係部署と連携を図り、新規・変更ともに遅滞なく実施できた。				B																																																	
【がん】 担当医師と協議の上、査定内容に疑義が生じた場合は、症状詳記を添付し再審査請求を積極的に行うとともに、査定内容の傾向に合わせてレセプト点検ソフトのチェック項目の追加や変更を適宜実施して点検精度の向上に努めた。また、全職種を対象とした診療報酬改定説明会を開催して、当院が取得すべき施設基準の要件の共有化を図り、関係職種が届出に向けて算定要件を満たす体制を構築する等対応を図った。				B																																																	
<table><tr><th>指標</th><th>実績値</th><th>達成率</th></tr><tr><td>レセプト査定率(%)</td><td></td><td></td></tr><tr><td>精神</td><td>0.02</td><td>50.0%</td></tr><tr><td>がん</td><td>0.14</td><td>92.9%</td></tr></table>			指標	実績値	達成率	レセプト査定率(%)			精神	0.02	50.0%	がん	0.14	92.9%	D C		<table><tr><th>参考となる指標</th><th>単位</th><th>令和3年度</th><th>令和4年度</th><th>令和5年度</th><th>令和6年度</th><th>状況</th></tr><tr><td colspan="7">レセプト査定率(査定減額/医業収益)</td></tr><tr><td>精神医療センター</td><td rowspan="2">%</td><td>0.01</td><td>0.03</td><td>0.03</td><td>0.02</td><td>↑</td></tr><tr><td>がんセンター</td><td>0.14</td><td>0.10</td><td>0.12</td><td>0.14</td><td>↓</td></tr></table>	参考となる指標	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	状況	レセプト査定率(査定減額/医業収益)							精神医療センター	%	0.01	0.03	0.03	0.02	↑	がんセンター	0.14	0.10	0.12	0.14	↓									
指標	実績値	達成率																																																			
レセプト査定率(%)																																																					
精神	0.02	50.0%																																																			
がん	0.14	92.9%																																																			
参考となる指標	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	状況																																															
レセプト査定率(査定減額/医業収益)																																																					
精神医療センター	%	0.01	0.03	0.03	0.02	↑																																															
がんセンター		0.14	0.10	0.12	0.14	↓																																															
(3)未収金の発生防止の強化、早期回収																																																					
【精神】 関係部署と連携し、入院時及び退院情報の共有に努め、各種支援・助成制度の活用等について、患者および患者家族の相談に対応した。また、医療費の支払いに関する相談体制の重点化に努めた。				B	<table><tr><th>参考となる指標</th><th>単位</th><th>令和3年度</th><th>令和4年度</th><th>令和5年度</th><th>令和6年度</th><th>状況</th></tr><tr><td colspan="7">過年度未収金額</td></tr><tr><td>精神医療センター</td><td rowspan="4">千円</td><td>17,987</td><td>16,740</td><td>16,590</td><td>16,937</td><td>↑</td></tr><tr><td>がんセンター</td><td>7,172</td><td>8,782</td><td>9,177</td><td>9,524</td><td>↑</td></tr><tr><td rowspan="2">本部</td><td>循環0分</td><td>70</td><td>25</td><td>0</td><td>0</td><td>→</td></tr><tr><td>こども分</td><td>555</td><td>415</td><td>95</td><td>0</td><td>↓</td></tr></table>							参考となる指標	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	状況	過年度未収金額							精神医療センター	千円	17,987	16,740	16,590	16,937	↑	がんセンター	7,172	8,782	9,177	9,524	↑	本部	循環0分	70	25	0	0	→	こども分	555	415	95	0	↓		
参考となる指標	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	状況																																															
過年度未収金額																																																					
精神医療センター	千円	17,987	16,740	16,590	16,937	↑																																															
がんセンター		7,172	8,782	9,177	9,524	↑																																															
本部		循環0分	70	25	0	0	→																																														
		こども分	555	415	95	0	↓																																														
【がん】 部門間との連携を密に未収金が発生する可能性がある事案に早期介入するとともに、患者の相談には社会資源の活用も含めて随時対応を行っている。				B																																																	
【精神】 文書・電話による督促・催告と併せて、医事事務嘱託員を中心に未納者の自宅訪問を定期的実施し、生活状況を把握したうえで分割納付に関する相談や分納の依頼のほか、必要に応じて家族及び保証人にも状況を伝えるなど、効果的な徴収に取り組んでいる。また、回収困難な案件について、未収金回収業務を弁護士に委託する体制を継続している。				B																																																	
【がん】 早い段階から電話・文書等により督促するとともに、後納や分納を希望する患者に対して全てに面談を行い支払計画を作成のうえ回収に務めた。また病院職員による訪問回収の継続及び回収困難な事案については、早めに未収金回収業務を法律事務所へ委託して、未収金の縮減に努めている。				B																																																	
【本部】 長期の未収債権については、法律事務所への回収業務委託を活用して回収を図った。				B																																																	

第4期中期目標 (令和5～8年度)	第4期中期計画 (令和5～8年度)	令和6年度計画	評価の視点																				
	(4)病床及び医療機器の利用率向上 病院機構が有する人的・物的資源を有効に活用して、より安定的に収入を確保する。 また、がんセンターにおいては、令和2年度までに実施した病室リフォームの効果を検証するとともに、効率的な運用を行い、必要に応じて更なる病室リフォームを行う。 <table><tr><td>目標とする指標</td><td>目標値</td></tr><tr><td>特別室料収益(がん)</td><td>年間103,680千円</td></tr></table> イ 患者数に応じた病床の効率的利用、人員の適正配置 日々の入院患者数の推移や空床数の状況に応じて、病床の適切な管理、利用率の向上に努める。 また、病床の利用状況、患者数や手術件数の増加等に応じて収支バランスも考慮しながら必要な人員数を定期的に検討し、適正な人員配置を行う。	目標とする指標	目標値	特別室料収益(がん)	年間103,680千円	(4)病床及び医療機器の稼働率向上 病院機構が有する人的・物的資源を有効に活用して、より安定的に収入を確保する。 また、がんセンターにおいては、段階的に改修した特別室の利用が好調であることから、必要に応じて更なる病室リフォームを検討する。 <table><tr><td>目標とする指標</td><td>目標値</td></tr><tr><td>特別室料収益(がん)</td><td>年間124,123千円</td></tr></table> イ 患者数に応じた病床の効率的利用、人員の適正配置 日々の入院患者数の推移や空床数の状況に応じて、病床の適切な管理・利用率の向上に努める。また、病床の稼働状況、患者数や手術件数の増加等に応じて収支バランスも考慮しながら必要な人員数を定期的に検討し、適正な人員配置を行う。 精神医療センターにおいては、総合診療会議や院長チームラウンドの実施により病室の効率的な運用に努めるとともに、多職種チームの連携を図り、退院促進と退院後3ヵ月以内の再入院防止に努め、精神科救急入院料算定病棟を効率的に運用する。 がんセンターにおいては、入院患者数、空きベッドの状況等を把握し、病棟間、診療科間の連携による効率的運用に加え、地域医療連携室を中心に、病病・病診連携を強化し、患者確保に努める。 <table><tr><td>目標とする指標</td><td>目標値</td></tr><tr><td>精神：一般病棟</td><td>63.4%</td></tr><tr><td>精神：精神科救急病床</td><td>92.7%</td></tr><tr><td>精神：児童思春期病床</td><td>78.6%</td></tr><tr><td>がん：一般病床</td><td>76.0%</td></tr><tr><td>がん：緩和ケア病床</td><td>76.0%</td></tr></table> ロ 医療機器の効率的な利用の推進 がんセンターにおいて、低侵襲手術機器、PET-CT、トモセラピー等の高度先端医療機器について、ホームページやがんセンター広報誌「せりなべ」などを活用したPRを行う。 また、医療機器の稼働状況を把握し、職種間の連携等により、効率的な利用に努め、稼働率の向上に努める。	目標とする指標	目標値	特別室料収益(がん)	年間124,123千円	目標とする指標	目標値	精神：一般病棟	63.4%	精神：精神科救急病床	92.7%	精神：児童思春期病床	78.6%	がん：一般病床	76.0%	がん：緩和ケア病床	76.0%	◇病院機構が有する人的・物的資源を活用した安定的収入の確保に関する取組状況はどうか。 ◇病室リフォームの効果検証等、病床の効率的な運用に関する取組状況はどうか。 ◇中期計画及び年度計画に掲げる数値の達成状況はどうか。 ◇患者数に応じた病床の効率的利用、人員の適正配置に関する取組状況はどうか。 ◇年度計画に掲げる数値の達成状況はどうか。 ◇医療機器の効率的な利用に関する取組状況はどうか。
目標とする指標	目標値																						
特別室料収益(がん)	年間103,680千円																						
目標とする指標	目標値																						
特別室料収益(がん)	年間124,123千円																						
目標とする指標	目標値																						
精神：一般病棟	63.4%																						
精神：精神科救急病床	92.7%																						
精神：児童思春期病床	78.6%																						
がん：一般病床	76.0%																						
がん：緩和ケア病床	76.0%																						

令和6年度業務実績			定量評価	定性評価	業務実績の参考となる指標等																																																							
※定量評価は年度計画に対する達成率で判定																																																												
(4)病床及び医療機器の稼働率向上																																																												
【精神】 患者の病態について各部署の情報共有が必要なことから、多職種の職員が出席し、毎朝開催される総合診療会議や毎週月曜日に行われる院長チームラウンドでのバックアップ病床も含むベット調整により、精神科救急急性期医療入院料算定病床(北1及び北2病床)の効率的な運用を図った。				B																																																								
【がん】 放射線診断・治療装置、手術機器の整備・導入や病室リフォーム後の効果的な運用により収益の確保を行っている。				B																																																								
【精神】 総合診療会議や院長チームラウンドにおいて、効率的なベット調整を図り、病床稼働率の向上に努めた。				B																																																								
【がん】 昨年度同様、個室希望者が増加傾向にある。個室の空き状況に応じて、他病床への入院計画なども行い、患者の希望に応じた療養環境の提供を行った。また、個室の減免率が高い病床に関しては、当該部署と話し合い、医師の協力を得ながら個室減免率の低下について取り組みを行い、令和5年度より減免率が約1割低下した。				B																																																								
<table><tr><th>指標</th><th>実績値</th><th>達成率</th></tr><tr><td>特別室料収益(千円)</td><td></td><td></td></tr><tr><td>がんセンター</td><td>123,161</td><td>99.2%</td></tr></table>			指標	実績値	達成率	特別室料収益(千円)			がんセンター	123,161	99.2%	C	<table><tr><th>参考となる指標</th><th>単位</th><th>令和3年度</th><th>令和4年度</th><th>令和5年度</th><th>令和6年度</th><th>状況</th></tr><tr><td colspan="7">特別室料収益</td></tr><tr><td>がんセンター</td><td>千円</td><td>109,413</td><td>104,762</td><td>110,730</td><td>123,161</td><td>↑</td></tr></table>						参考となる指標	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	状況	特別室料収益							がんセンター	千円	109,413	104,762	110,730	123,161	↑																					
指標	実績値	達成率																																																										
特別室料収益(千円)																																																												
がんセンター	123,161	99.2%																																																										
参考となる指標	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	状況																																																						
特別室料収益																																																												
がんセンター	千円	109,413	104,762	110,730	123,161	↑																																																						
イ 患者数に応じた病床の効率的利用、人員の適正配置																																																												
【精神】 院長チームラウンドや日々の各病床のベッド調整において、病床の効率的利用について検討を重ねた。 急性期病床で受け入れていた不適患者の転棟を進めることで不適患者が減少し、適患者割合が前年度実績73.6%から81%に改善、計画の75%を達成した。一方で、平均在院日数が前年度実績と比較し3.4日短縮したことにより入院患者数が減少、計画を下回った。 児童・思春期病床では、入院患者数と病床稼働率ともに計画を下回っているが、前年度の入院患者数と病床稼働率を大きく上回っている 慢性期病床では、地域移行・地域定着を推進していることにより、病床稼働率は50.8%と計画を下回ったが、前年度の稼働率は上回った。 看護職員の人員配置に関しては、看護師採用計画や看護師配置数の算出、夜勤時間など施設基準に即して必要時部署間の異動、年度途中での入職など行い、適正配置に努めた。			B	<table><tr><th>参考となる指標</th><th>単位</th><th>令和3年度</th><th>令和4年度</th><th>令和5年度</th><th>令和6年度</th><th>状況</th></tr><tr><td colspan="7">病床稼働率の状況</td></tr><tr><td>精神医療センター(一般病床)</td><td rowspan="5">%</td><td>58.8</td><td>47.4</td><td>48.6</td><td>50.8</td><td>↑</td></tr><tr><td>精神医療センター(精神科救急病床)</td><td>83.8</td><td>86.8</td><td>81.1</td><td>74.3</td><td>↓</td></tr><tr><td>精神医療センター(児童思春期病床)</td><td>66.6</td><td>44.1</td><td>62.4</td><td>75.8</td><td>↑</td></tr><tr><td>がんセンター(一般病床)</td><td>65.0</td><td>69.0</td><td>67.1</td><td>67.2</td><td>↑</td></tr><tr><td>がんセンター(緩和ケア病床)</td><td>55.3</td><td>59.0</td><td>36.8</td><td>76.3</td><td>↑</td></tr></table>						参考となる指標	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	状況	病床稼働率の状況							精神医療センター(一般病床)	%	58.8	47.4	48.6	50.8	↑	精神医療センター(精神科救急病床)	83.8	86.8	81.1	74.3	↓	精神医療センター(児童思春期病床)	66.6	44.1	62.4	75.8	↑	がんセンター(一般病床)	65.0	69.0	67.1	67.2	↑	がんセンター(緩和ケア病床)	55.3	59.0	36.8	76.3	↑						
参考となる指標	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	状況																																																						
病床稼働率の状況																																																												
精神医療センター(一般病床)	%	58.8	47.4	48.6	50.8	↑																																																						
精神医療センター(精神科救急病床)		83.8	86.8	81.1	74.3	↓																																																						
精神医療センター(児童思春期病床)		66.6	44.1	62.4	75.8	↑																																																						
がんセンター(一般病床)		65.0	69.0	67.1	67.2	↑																																																						
がんセンター(緩和ケア病床)		55.3	59.0	36.8	76.3	↑																																																						
【がん】 各部署の看護師長が入退院調整を行い、可能な限り自部署での受け入れ体制を整えた。ベッドの空きがなく緊急入院も含め入院調整が困難な患者に関しては、副看護部長が中心となりベットコントロールを行った。令和6年度は看護師の部署間の応援体制も強化した。前日までに各部署の業務内容の把握と、当日の看護師の突発的な欠員により看護業務に支障をきたす事が予測される部署に関して、他部署から応援看護師を配置し円滑な部署運営が行えるよう整備した。令和6年度の看護師の他部署への応援は739人であった。			B	※緩和ケア病床はR3.2.8よりR5.9.30までコロナ病床として稼働。																																																								
<table><tr><th>指標</th><th>実績値</th><th>達成率</th></tr><tr><td colspan="3">精神医療センター</td></tr><tr><td>一般病床(%)</td><td>50.8</td><td>80.2%</td></tr><tr><td>精神科救急病床(%)</td><td>74.3</td><td>80.2%</td></tr><tr><td>児童思春期病床(%)</td><td>75.8</td><td>96.5%</td></tr><tr><td colspan="3">がんセンター</td></tr><tr><td>一般病床(%)</td><td>67.2</td><td>88.4%</td></tr><tr><td>緩和ケア病床(%)</td><td>76.3</td><td>100.4%</td></tr></table>			指標	実績値	達成率	精神医療センター			一般病床(%)	50.8	80.2%	精神科救急病床(%)	74.3	80.2%	児童思春期病床(%)	75.8	96.5%	がんセンター			一般病床(%)	67.2	88.4%	緩和ケア病床(%)	76.3	100.4%	C	<table><tr><th>参考となる指標</th><th>単位</th><th>令和3年度</th><th>令和4年度</th><th>令和5年度</th><th>令和6年度</th><th>状況</th></tr><tr><td colspan="7">平均在院日数</td></tr><tr><td>精神医療センター</td><td rowspan="2">日</td><td>117.7</td><td>113.3</td><td>106.0</td><td>102.8</td><td>↑</td></tr><tr><td>がんセンター</td><td>14.8</td><td>15.0</td><td>14.5</td><td>15.3</td><td>↓</td></tr></table>						参考となる指標	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	状況	平均在院日数							精神医療センター	日	117.7	113.3	106.0	102.8	↑	がんセンター	14.8	15.0	14.5	15.3	↓
指標	実績値	達成率																																																										
精神医療センター																																																												
一般病床(%)	50.8	80.2%																																																										
精神科救急病床(%)	74.3	80.2%																																																										
児童思春期病床(%)	75.8	96.5%																																																										
がんセンター																																																												
一般病床(%)	67.2	88.4%																																																										
緩和ケア病床(%)	76.3	100.4%																																																										
参考となる指標	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	状況																																																						
平均在院日数																																																												
精神医療センター	日	117.7	113.3	106.0	102.8	↑																																																						
がんセンター		14.8	15.0	14.5	15.3	↓																																																						
ロ 医療機器の効率的な利用の推進																																																												
【精神】 医療機器専門のMEが常勤配置されていないが、除細動器や輸液ポンプ等は、各病床で毎月点検を行っており、年に1度は機器メーカーによる定期点検を実施し、安全に使用できるようにしている。				B	<table><tr><th>参考となる指標</th><th>単位</th><th>令和3年度</th><th>令和4年度</th><th>令和5年度</th><th>令和6年度</th><th>状況</th></tr><tr><td colspan="7">病床利用マニュアルの作成・実践</td></tr><tr><td>精神医療センター</td><td rowspan="2">有無</td><td>無</td><td>無</td><td>無</td><td>無</td><td>／</td></tr><tr><td>がんセンター</td><td>有</td><td>有</td><td>有</td><td>有</td><td>／</td></tr></table>						参考となる指標	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	状況	病床利用マニュアルの作成・実践							精神医療センター	有無	無	無	無	無	／	がんセンター	有	有	有	有	／																							
参考となる指標	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	状況																																																						
病床利用マニュアルの作成・実践																																																												
精神医療センター	有無	無	無	無	無	／																																																						
がんセンター		有	有	有	有	／																																																						
【がん】 医療機器の稼働率を向上させるための方策について、低侵襲外科センター委員会や放射線診断治療運営委員会において検討し、関係診療科と連携して取り組んだ。				B	<table><tr><th>参考となる指標</th><th>単位</th><th>令和3年度</th><th>令和4年度</th><th>令和5年度</th><th>令和6年度</th><th>状況</th></tr><tr><td colspan="7">医療機器稼働状況の検証</td></tr><tr><td>精神医療センター</td><td rowspan="2">取組内容を記載</td><td>—</td><td>—</td><td>画像診断装置(CT)の高額医療機器について、稼働状況を把握している。</td><td>画像診断装置(CT)の高額医療機器について、稼働状況を把握している。</td><td>／</td></tr><tr><td>がんセンター</td><td colspan="4">画像診断装置(CT/MRI等)、放射線治療装置(リニアック等)の高額医療機器について、稼働状況を把握している。</td><td>／</td></tr></table>						参考となる指標	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	状況	医療機器稼働状況の検証							精神医療センター	取組内容を記載	—	—	画像診断装置(CT)の高額医療機器について、稼働状況を把握している。	画像診断装置(CT)の高額医療機器について、稼働状況を把握している。	／	がんセンター	画像診断装置(CT/MRI等)、放射線治療装置(リニアック等)の高額医療機器について、稼働状況を把握している。				／																							
参考となる指標	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	状況																																																						
医療機器稼働状況の検証																																																												
精神医療センター	取組内容を記載	—	—	画像診断装置(CT)の高額医療機器について、稼働状況を把握している。	画像診断装置(CT)の高額医療機器について、稼働状況を把握している。	／																																																						
がんセンター		画像診断装置(CT/MRI等)、放射線治療装置(リニアック等)の高額医療機器について、稼働状況を把握している。				／																																																						

第4期中期目標 (令和5～8年度)	第4期中期計画 (令和5～8年度)	令和6年度計画	評価の視点												
3 経費削減への取組	3 経費削減への取組	3 経費削減への取組													
	(1)効率的な業務運営による経費削減への取組	(1)効率的な業務運営による経費削減への取組													
人件費の抑制のほか、医療機器や診療材料、医薬品の購入方法の見直しや業務委託の見直し及び後発医薬品の採用など、様々な方法により経費の削減に努めること。	診療実績に応じた適切な人員配置と組織の見直し及び働き方改革とも呼応した時間外勤務の縮減など、法人全体で聖域を設けることなく、医療の質と経営とのバランスが取れた効率的な業務運営による経費の削減を行う。	診療実績に応じた適切な人員配置と組織の見直し及び働き方改革とも呼応した時間外勤務の縮減など、法人全体で聖域を設けることなく、医療の質と経営とのバランスが取れた効率的な業務運営による経費の削減を行う。	◇ 経費削減への取組状況はどうか。												
	(2)有利な調達手法の活用	(2)有利な調達手法の活用													
【指標】 材料費対修正医業収益比率を毎年度、宮城県立精神医療センター7.2%以下、宮城県立がんセンター39.3%以下とすること。(前中期目標期間実績:(宮城県立精神医療センター)令和元年度7.1%、令和2年度7.4%、令和3年度7.3%、(宮城県立がんセンター)令和元年度39.4%、令和2年度39.8%、令和3年度38.9%)	契約に際しては、競争性を確保するために、個々の業務の特性に応じて、有利な調達方法を活用するよう、発注の際に十分な検討を行う。	契約に際しては、より多くの事業者が入札等に参加できるよう、前年までと同様の業務であっても業務内容や仕様を十分に検証することなどにより競争性を確保し、経費の削減につなげるとともに、個々の業務の特性を踏まえて提案方式による業者選定を行うなど、業務の質の向上にも配慮した有利な調達手法を活用する。	◇ 競争性の確保や業務の特性に応じた有利な調達方法の活用に関する取組状況はどうか。												
	(3)医薬品・診療材料等の効果的な管理	(3)医薬品・診療材料等の効果的な管理													
	医薬品、診療材料、医療消耗備品について、品目ごとの使用状況、調達状況等を適切に管理し、費用の節減を推進する。 また、製品の切替えは、効能・機能・安全性等について十分な検討を行い、適切に対応する。 <table><tr><td>目標とする指標</td><td>目標値</td></tr><tr><td>材料比率(精神:対修正医業収益)</td><td>7.2%以下</td></tr><tr><td>材料比率(がん:対修正医業収益)</td><td>39.3%以下</td></tr></table>	目標とする指標	目標値	材料比率(精神:対修正医業収益)	7.2%以下	材料比率(がん:対修正医業収益)	39.3%以下	医薬品、診療材料、医療消耗備品について、品目毎の使用状況、調達状況等を適切に管理し、費用の節減を推進する。 また、同種・同効能・同機能製品への切り替えについて十分な検討を行う。 <table><tr><td>目標とする指標</td><td>目標値</td></tr><tr><td>材料比率(精神:対修正医業収益)</td><td>7.2%以下</td></tr><tr><td>材料比率(がん:対修正医業収益)</td><td>39.3%以下</td></tr></table>	目標とする指標	目標値	材料比率(精神:対修正医業収益)	7.2%以下	材料比率(がん:対修正医業収益)	39.3%以下	◇ 医薬品、診療材料、医療消耗備品の管理状況と費用節減状況についてはどうか。また、年度の数値目標の達成についてはどうか。 ◇ 中期目標、中期計画及び年度計画に掲げる数値の達成状況はどうか。
目標とする指標	目標値														
材料比率(精神:対修正医業収益)	7.2%以下														
材料比率(がん:対修正医業収益)	39.3%以下														
目標とする指標	目標値														
材料比率(精神:対修正医業収益)	7.2%以下														
材料比率(がん:対修正医業収益)	39.3%以下														

令和6年度業務実績			定量評価	定性評価	業務実績の参考となる指標等																																													
※定量評価は年度計画に対する達成率で判定																																																		
3 経費削減への取組																																																		
(1)効率的な業務運営による経費削減への取組																																																		
【本部】 契約に際しては、一般競争入札やオープンカウンター方式による随意契約、複数年契約など多様な契約方法により経費節減に努めたほか、従前より実施していたA重油やLPG、コピー用紙に加え、新たにペーパータオルやトイレットペーパーを対象とし、スケールメリットを活かした機構一括契約を実施するなど、経費の削減に取り組んだ。				B																																														
(2)有利な調達手法の活用																																																		
【精神】 一般競争入札やオープンカウンター方式の積極的な導入により競争性を確保したほか、複数年契約など有利な契約方法の選定を実施した。				B	<table><tr><th>参考となる指標</th><th>単位</th><th>令和3年度</th><th>令和4年度</th><th>令和5年度</th><th>令和6年度</th><th>状況</th></tr><tr><td colspan="7">一般競争入札の割合(機器・備品)</td></tr><tr><td>精神医療センター</td><td rowspan="2">%</td><td>100.0</td><td>100.0</td><td>100.0</td><td>100.0</td><td>→</td></tr><tr><td>がんセンター</td><td>95.8</td><td>95.2</td><td>84.6</td><td>95.5</td><td>↑</td></tr></table>							参考となる指標	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	状況	一般競争入札の割合(機器・備品)							精神医療センター	%	100.0	100.0	100.0	100.0	→	がんセンター	95.8	95.2	84.6	95.5	↑												
参考となる指標	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	状況																																												
一般競争入札の割合(機器・備品)																																																		
精神医療センター	%	100.0	100.0	100.0	100.0	→																																												
がんセンター		95.8	95.2	84.6	95.5	↑																																												
【がん】 一般競争入札、オープンカウンターを推進したほか、プロポーザル方式による業者選定、複数年契約など有利な契約方法を選定し実施した。				B																																														
【本部】 スケールメリットを図るための一括契約のほか、従前と同様の内容の業務であっても、仕様内容を改めて確認し、入札において十分な競争が働くよう努めた。				B																																														
(3)医薬品・診療材料等の効果的な管理																																																		
【精神】 医薬品は毎月の棚卸を実施し、年度末には払出済品を含めた総棚卸を実施し、適正な在庫管理に努めた。診療材料を頻回に使う部署には費用縮減等について働きかけを行った。				B																																														
【がん】 医薬品、診療材料について、毎月の棚卸を実施するとともに、新規購入・切り替え時は一品目毎に委員会に諮り、必要性や価格、管理方法等について検討を行うことで、適切な管理に努めた。 また、業者との価格交渉及び診療材料のまとめ買い等を行うとともに、後発薬品への切替について、本部事務局を含め検討を行う等、費用節減に対する取り組みを進めた。				B																																														
<table><tr><th>指標</th><th>実績値</th><th>達成率</th></tr><tr><td colspan="3">材料費比率(対修正医業収益)(%)</td></tr><tr><td>精神</td><td>7.7</td><td>93.5%</td></tr><tr><td>がん</td><td>39.5</td><td>99.5%</td></tr></table>			指標	実績値	達成率	材料費比率(対修正医業収益)(%)			精神	7.7	93.5%	がん	39.5	99.5%	C	C	<table><tr><th>参考となる指標</th><th>単位</th><th>令和3年度</th><th>令和4年度</th><th>令和5年度</th><th>令和6年度</th><th>状況</th></tr><tr><td colspan="7">材料費対医業収益</td></tr><tr><td>精神医療センター</td><td rowspan="2">%</td><td>7.4</td><td>7.9</td><td>7.8</td><td>7.7</td><td>↑</td></tr><tr><td>がんセンター</td><td>39.0</td><td>37.5</td><td>38.5</td><td>39.5</td><td>↓</td></tr></table>							参考となる指標	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	状況	材料費対医業収益							精神医療センター	%	7.4	7.9	7.8	7.7	↑	がんセンター	39.0	37.5	38.5	39.5	↓
指標	実績値	達成率																																																
材料費比率(対修正医業収益)(%)																																																		
精神	7.7	93.5%																																																
がん	39.5	99.5%																																																
参考となる指標	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	状況																																												
材料費対医業収益																																																		
精神医療センター	%	7.4	7.9	7.8	7.7	↑																																												
がんセンター		39.0	37.5	38.5	39.5	↓																																												
					<table><tr><th>参考となる指標</th><th>単位</th><th>令和3年度</th><th>令和4年度</th><th>令和5年度</th><th>令和6年度</th><th>状況</th></tr><tr><td colspan="7">診療材料費対医業収益</td></tr><tr><td>がんセンター</td><td>%</td><td>5.7</td><td>5.8</td><td>5.8</td><td>5.9</td><td>↑</td></tr></table>							参考となる指標	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	状況	診療材料費対医業収益							がんセンター	%	5.7	5.8	5.8	5.9	↑																		
参考となる指標	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	状況																																												
診療材料費対医業収益																																																		
がんセンター	%	5.7	5.8	5.8	5.9	↑																																												

第4期中期目標 (令和5～8年度)	第4期中期計画 (令和5～8年度)	令和6年度計画	評価の視点												
	(4)後発医薬品の導入及び調達医薬品等対象品目の整理	(4)後発医薬品の導入及び調達医薬品等対象品目の整理													
	後発医薬品の情報や科学的な見地からの検討、供給安定性等を考慮し、積極的に導入を図る。 <table><tr><th>目標とする指標</th><th>目標値</th></tr><tr><td>後発医薬品使用品目数(精神)</td><td>令和8年までに100品目 (現状の採用医薬品 627品目、後発医薬品 91品目)</td></tr><tr><td>後発医薬品使用品目数(がん)</td><td>令和8年までに200品目 (現状の採用医薬品 1,413品目、後発医薬 品200品目)</td></tr></table>	目標とする指標	目標値	後発医薬品使用品目数(精神)	令和8年までに100品目 (現状の採用医薬品 627品目、後発医薬品 91品目)	後発医薬品使用品目数(がん)	令和8年までに200品目 (現状の採用医薬品 1,413品目、後発医薬 品200品目)	後発医薬品の情報や科学的な見地からの検討、供給安定性等を考慮し、積極的に導入する。 <table><tr><th>目標とする指標</th><th>目標値</th></tr><tr><td>後発医薬品使用品目数(精神)</td><td>100品目 (現状の採用医薬品 627品目、後発医薬品 82品目)</td></tr><tr><td>後発医薬品使用品目数(がん)</td><td>200品目 (現状の採用医薬品 1,465品目、後発医薬 品200品目)</td></tr></table>	目標とする指標	目標値	後発医薬品使用品目数(精神)	100品目 (現状の採用医薬品 627品目、後発医薬品 82品目)	後発医薬品使用品目数(がん)	200品目 (現状の採用医薬品 1,465品目、後発医薬 品200品目)	◇ 後発医薬品の検討及び導入状況はどうか。 ◇ 中期計画及び年度計画に掲げる数値の達成状況はどうか。
目標とする指標	目標値														
後発医薬品使用品目数(精神)	令和8年までに100品目 (現状の採用医薬品 627品目、後発医薬品 91品目)														
後発医薬品使用品目数(がん)	令和8年までに200品目 (現状の採用医薬品 1,413品目、後発医薬 品200品目)														
目標とする指標	目標値														
後発医薬品使用品目数(精神)	100品目 (現状の採用医薬品 627品目、後発医薬品 82品目)														
後発医薬品使用品目数(がん)	200品目 (現状の採用医薬品 1,465品目、後発医薬 品200品目)														
	(5)業務委託の検証	(5)業務委託の検証													
	業務委託については、毎年度検証を行い、コスト管理と業務管理を適切に実施する。	業務委託については、業務内容の妥当性や、人件費の変動等に伴う積算基礎等について継続的に検証し、コスト管理と業務管理を適切に実施する。	◇ 業務委託の検証状況はどうか。												

令和6年度業務実績			定量評価	定性評価	業務実績の参考となる指標等																																										
※定量評価は年度計画に対する達成率で判定																																															
(4)後発医薬品の導入及び調達医薬品等対象品目の整理																																															
【精神】 薬事委員会において、販売中止品目や一定期間使用実績がない品目の削除を行った。また使用頻度の少ない品目の採用区分の見直しを行った。後発医薬品のみならず先発医薬品も出荷調整や販売中止となるものがあったが、適宜採用医薬品を見直し、安定した薬品供給体制を維持した。採用品の見直しを行った結果、総数が584品から569品目まで減り、薬品管理の省力化と経費節減を図ることができた。 【がん】 内服薬18品目、注射薬2品目について、薬事委員会にて検討、導入した。			D B	B A																																											
<table><tr><td>指標</td><td>実績値</td><td>達成率</td></tr><tr><td colspan="3">後発医薬品使用品目数(品目)</td></tr><tr><td>精神</td><td>74</td><td>74.0%</td></tr><tr><td>がん</td><td>211</td><td>105.5%</td></tr></table>				指標	実績値	達成率	後発医薬品使用品目数(品目)			精神	74	74.0%	がん	211	105.5%	<table><tr><td>参考となる指標</td><td>単位</td><td>令和3年度</td><td>令和4年度</td><td>令和5年度</td><td>令和6年度</td><td>状況</td></tr><tr><td colspan="7">後発医薬品使用品目数</td></tr><tr><td>精神医療センター</td><td rowspan="2">品目</td><td>96</td><td>84</td><td>77</td><td>74</td><td>↓</td></tr><tr><td>がんセンター</td><td>237</td><td>227</td><td>229</td><td>211</td><td>↓</td></tr></table>						参考となる指標	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	状況	後発医薬品使用品目数							精神医療センター	品目	96	84	77	74	↓	がんセンター	237	227	229	211
指標	実績値	達成率																																													
後発医薬品使用品目数(品目)																																															
精神	74	74.0%																																													
がん	211	105.5%																																													
参考となる指標	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	状況																																									
後発医薬品使用品目数																																															
精神医療センター	品目	96	84	77	74	↓																																									
がんセンター		237	227	229	211	↓																																									
(5)業務委託の検証																																															
【精神】 清掃や給食委託業務では、関係部署と請負業者による清掃委託業務調整会議や食事療養業務連絡会を開催し、業務の検証や課題等を確認し、業務が適正に行われるように努めた。 【がん】 院内競争入札委員会等において、仕様内容等について十分な審査を行い、より適切な契約締結に努めた。 また、本部からの通知に基づき、契約の更新時においては、各業務の経済性、有効性及び仕様内容等について、関係部署との検討に努めた。			B B	B B																																											
				<table><tr><td>参考となる指標</td><td>単位</td><td>令和3年度</td><td>令和4年度</td><td>令和5年度</td><td>令和6年度</td><td>状況</td></tr><tr><td colspan="7">契約内容の見直し状況</td></tr><tr><td>精神医療センター</td><td rowspan="2">取組内容を記載</td><td colspan="4">入札委員会等において仕様内容等について十分な審査を行い、適正な契約に努めた。</td><td rowspan="2"></td></tr><tr><td>がんセンター</td><td colspan="4">院内競争入札委員会等において、仕様内容等について十分な審査を行い、より適切な契約締結に努めた。</td></tr></table>						参考となる指標	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	状況	契約内容の見直し状況							精神医療センター	取組内容を記載	入札委員会等において仕様内容等について十分な審査を行い、適正な契約に努めた。					がんセンター	院内競争入札委員会等において、仕様内容等について十分な審査を行い、より適切な契約締結に努めた。															
参考となる指標	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	状況																																									
契約内容の見直し状況																																															
精神医療センター	取組内容を記載	入札委員会等において仕様内容等について十分な審査を行い、適正な契約に努めた。																																													
がんセンター		院内競争入札委員会等において、仕様内容等について十分な審査を行い、より適切な契約締結に努めた。																																													

第4期中期目標 (令和5～8年度)	第4期中期計画 (令和5～8年度)	令和6年度計画	評価の視点																												
第4 予算、収支計画及び資金計画	第4 予算、収支計画及び資金計画	第3 予算、収支計画及び資金計画																													
県民に必要な医療を安定的に提供していくため、中期計画において項目ごとに定量的目標を設定し、経営基盤の安定化を図るとともに、病院機構全体として経営改善に努めること。																															
1 経常収支比率の均衡	1 経常収支比率の均衡	1 経常収支比率の均衡																													
「第3 業務運営の改善及び効率化に関する事項」で定めた事項に配慮した中期計画を作成し、当該予算による運営の実施により、病院機構全体として毎年度、経常黒字の達成に努めること。 【指標】 ① 経常収支比率を毎年度、100%以上とすること。(前中期目標期間実績:令和元年度102.0%、令和2年度99.4%、令和3年度103.4%) ② 修正医業収支比率を毎年度、81.0%以上とすること。(前中期目標期間実績:令和元年度81.6%、令和2年度80.3%、令和3年度80.1%)	「第3 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置」で定めた計画を確実に実施することにより、毎年度、経常黒字の達成を目指す。 <table><tr><th>目標とする指標</th><th>目標値</th></tr><tr><td>経常収支比率(機構全体)</td><td>毎年度100%以上</td></tr><tr><td>修正医業収支比率※(機構全体)</td><td>毎年度81.0%以上</td></tr><tr><td>経常収支比率(精神)</td><td>毎年度100%以上</td></tr><tr><td>修正医業収支比率※(精神)</td><td>毎年度66.0%以上</td></tr><tr><td>経常収支比率(がん)</td><td>毎年度100%以上</td></tr><tr><td>修正医業収支比率※(がん)</td><td>毎年度85.0%以上</td></tr></table> ※前計画までの「医業収支比率」をガイドラインで示されている名称に改めたもの。算出方法等に変更はない。	目標とする指標	目標値	経常収支比率(機構全体)	毎年度100%以上	修正医業収支比率※(機構全体)	毎年度81.0%以上	経常収支比率(精神)	毎年度100%以上	修正医業収支比率※(精神)	毎年度66.0%以上	経常収支比率(がん)	毎年度100%以上	修正医業収支比率※(がん)	毎年度85.0%以上	中期計画で定めたとおり、令和6年度においても経常黒字の達成を目指す。 <table><tr><th>目標とする指標</th><th>目標値</th></tr><tr><td>経常収支比率(機構全体)</td><td>毎年度100%以上</td></tr><tr><td>修正医業収支比率※(機構全体)</td><td>毎年度81.0%以上</td></tr><tr><td>経常収支比率(精神)</td><td>毎年度100%以上</td></tr><tr><td>修正医業収支比率※(精神)</td><td>毎年度66.0%以上</td></tr><tr><td>経常収支比率(がん)</td><td>毎年度100%以上</td></tr><tr><td>修正医業収支比率※(がん)</td><td>毎年度85.0%以上</td></tr></table>	目標とする指標	目標値	経常収支比率(機構全体)	毎年度100%以上	修正医業収支比率※(機構全体)	毎年度81.0%以上	経常収支比率(精神)	毎年度100%以上	修正医業収支比率※(精神)	毎年度66.0%以上	経常収支比率(がん)	毎年度100%以上	修正医業収支比率※(がん)	毎年度85.0%以上	◇経常収支比率の状況は100%以上となっているか。なっていない場合、その理由は何か。
目標とする指標	目標値																														
経常収支比率(機構全体)	毎年度100%以上																														
修正医業収支比率※(機構全体)	毎年度81.0%以上																														
経常収支比率(精神)	毎年度100%以上																														
修正医業収支比率※(精神)	毎年度66.0%以上																														
経常収支比率(がん)	毎年度100%以上																														
修正医業収支比率※(がん)	毎年度85.0%以上																														
目標とする指標	目標値																														
経常収支比率(機構全体)	毎年度100%以上																														
修正医業収支比率※(機構全体)	毎年度81.0%以上																														
経常収支比率(精神)	毎年度100%以上																														
修正医業収支比率※(精神)	毎年度66.0%以上																														
経常収支比率(がん)	毎年度100%以上																														
修正医業収支比率※(がん)	毎年度85.0%以上																														

令和6年度業務実績 ※定量評価は年度計画に対する達成率で判定			定量 評価	定性 評価	業務実績の参考となる指標等																																																																																																																																									
第3 予算、収支計画及び資金計画																																																																																																																																														
1 経常収支比率の均衡																																																																																																																																														
【精神】(経常収支比率) 目標100.0%に対し、実績96.2%であり、達成率96.2%と目標を下回った。				C																																																																																																																																										
【がん】(経常収支比率) 入院・外来収益ともに患者数が計画を下回ったこと及び薬品、診療材料費率の上昇による材料費の増加等により、実績96.3%となり、目標の100.0%を下回った。(達成率96.3%)				C																																																																																																																																										
【精神】(医業収支比率) 入院・外来収益ともに患者数が計画を下回ったことにより、目標66.0%に対し、実績64.4%であり、達成率97.6%と目標を下回った。				C																																																																																																																																										
【がん】(医業収支比率) 入院・外来収益ともに患者数が計画を下回り、薬品、診療材料費率の上昇により材料費は増加したものの、単価の増加に伴い外来収益が計画を大幅に上回ったことにより、実績85.7%となり、目標の85.0%を上回った。(達成率100.8%)				B																																																																																																																																										
<table><tr><th>指標</th><th>実績値</th><th>達成率</th></tr><tr><td colspan="3">機構全体</td></tr><tr><td>経常収支比率(%)</td><td>95.2</td><td>95.2%</td></tr><tr><td>修正医業収支比率(%)</td><td>81.7</td><td>100.9%</td></tr><tr><td colspan="3">精神医療センター</td></tr><tr><td>経常収支比率(%)</td><td>96.2</td><td>96.2%</td></tr><tr><td>修正医業収支比率(%)</td><td>64.4</td><td>97.6%</td></tr><tr><td colspan="3">がんセンター</td></tr><tr><td>経常収支比率(%)</td><td>96.3</td><td>96.3%</td></tr><tr><td>修正医業収支比率(%)</td><td>85.7</td><td>100.8%</td></tr></table>			指標	実績値	達成率	機構全体			経常収支比率(%)	95.2	95.2%	修正医業収支比率(%)	81.7	100.9%	精神医療センター			経常収支比率(%)	96.2	96.2%	修正医業収支比率(%)	64.4	97.6%	がんセンター			経常収支比率(%)	96.3	96.3%	修正医業収支比率(%)	85.7	100.8%	C B C C		<table><tr><th>参考となる指標</th><th>単位</th><th>令和3年度</th><th>令和4年度</th><th>令和5年度</th><th>令和6年度</th><th>状況</th></tr><tr><td>経常収支比率</td><td>機構全体</td><td>103.4</td><td>100.8</td><td>95.0</td><td>95.2</td><td>↑</td></tr><tr><td rowspan="2"></td><td>精神医療センター</td><td>106.0</td><td>110.4</td><td>103.3</td><td>96.2</td><td>↓</td></tr><tr><td>がんセンター</td><td>104.3</td><td>100.0</td><td>94.4</td><td>96.3</td><td>↑</td></tr><tr><td>医業収支比率</td><td>機構全体</td><td>80.1</td><td>78.6</td><td>78.9</td><td>81.7</td><td>↑</td></tr><tr><td rowspan="2"></td><td>精神医療センター</td><td>67.5</td><td>61.4</td><td>63.7</td><td>64.4</td><td>↑</td></tr><tr><td>がんセンター</td><td>83.3</td><td>82.9</td><td>82.5</td><td>85.7</td><td>↑</td></tr><tr><td>経常損益</td><td>機構全体</td><td>525</td><td>132</td><td>△ 808</td><td>△ 808</td><td>→</td></tr><tr><td rowspan="2"></td><td>精神医療センター</td><td>175</td><td>317</td><td>100</td><td>△ 114</td><td>↓</td></tr><tr><td>がんセンター</td><td>526</td><td>△ 5</td><td>△ 730</td><td>△ 499</td><td>↑</td></tr><tr><td></td><td>本部事務局</td><td>△ 176</td><td>△ 177</td><td>△ 178</td><td>△ 195</td><td>↓</td></tr><tr><td>当期純損益</td><td>機構全体</td><td>526</td><td>140</td><td>△ 819</td><td>△ 807</td><td>↑</td></tr><tr><td rowspan="2"></td><td>精神医療センター</td><td>175</td><td>317</td><td>99</td><td>△ 114</td><td>↓</td></tr><tr><td>がんセンター</td><td>526</td><td>△ 1</td><td>△ 740</td><td>△ 499</td><td>↑</td></tr><tr><td></td><td>本部事務局</td><td>△ 176</td><td>△ 177</td><td>△ 177</td><td>△ 195</td><td>↓</td></tr></table>							参考となる指標	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	状況	経常収支比率	機構全体	103.4	100.8	95.0	95.2	↑		精神医療センター	106.0	110.4	103.3	96.2	↓	がんセンター	104.3	100.0	94.4	96.3	↑	医業収支比率	機構全体	80.1	78.6	78.9	81.7	↑		精神医療センター	67.5	61.4	63.7	64.4	↑	がんセンター	83.3	82.9	82.5	85.7	↑	経常損益	機構全体	525	132	△ 808	△ 808	→		精神医療センター	175	317	100	△ 114	↓	がんセンター	526	△ 5	△ 730	△ 499	↑		本部事務局	△ 176	△ 177	△ 178	△ 195	↓	当期純損益	機構全体	526	140	△ 819	△ 807	↑		精神医療センター	175	317	99	△ 114	↓	がんセンター	526	△ 1	△ 740	△ 499	↑		本部事務局	△ 176	△ 177	△ 177	△ 195	↓
指標	実績値	達成率																																																																																																																																												
機構全体																																																																																																																																														
経常収支比率(%)	95.2	95.2%																																																																																																																																												
修正医業収支比率(%)	81.7	100.9%																																																																																																																																												
精神医療センター																																																																																																																																														
経常収支比率(%)	96.2	96.2%																																																																																																																																												
修正医業収支比率(%)	64.4	97.6%																																																																																																																																												
がんセンター																																																																																																																																														
経常収支比率(%)	96.3	96.3%																																																																																																																																												
修正医業収支比率(%)	85.7	100.8%																																																																																																																																												
参考となる指標	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	状況																																																																																																																																								
経常収支比率	機構全体	103.4	100.8	95.0	95.2	↑																																																																																																																																								
	精神医療センター	106.0	110.4	103.3	96.2	↓																																																																																																																																								
	がんセンター	104.3	100.0	94.4	96.3	↑																																																																																																																																								
医業収支比率	機構全体	80.1	78.6	78.9	81.7	↑																																																																																																																																								
	精神医療センター	67.5	61.4	63.7	64.4	↑																																																																																																																																								
	がんセンター	83.3	82.9	82.5	85.7	↑																																																																																																																																								
経常損益	機構全体	525	132	△ 808	△ 808	→																																																																																																																																								
	精神医療センター	175	317	100	△ 114	↓																																																																																																																																								
	がんセンター	526	△ 5	△ 730	△ 499	↑																																																																																																																																								
	本部事務局	△ 176	△ 177	△ 178	△ 195	↓																																																																																																																																								
当期純損益	機構全体	526	140	△ 819	△ 807	↑																																																																																																																																								
	精神医療センター	175	317	99	△ 114	↓																																																																																																																																								
	がんセンター	526	△ 1	△ 740	△ 499	↑																																																																																																																																								
	本部事務局	△ 176	△ 177	△ 177	△ 195	↓																																																																																																																																								
2 経営基盤の安定化																																																																																																																																														
【機構全体】 法人全体の純損益は△807百万円で、年度計画(当初予算)と比べて、△839百万円となった。精神医療センターについて△114百万円、がんセンターについて△495百万円の純損失をそれぞれ計上しており、どちらも入院収益に係る実績と計画において乖離があったことなどが要因と考えられる(精神医療センター△242百万円、がんセンター△400百万円)。				C																																																																																																																																										
【精神】 外来収益は計画を上回っているが、入院収益が計画を下回っている。入院収益については、精神科救急病棟で平均在院日数が前年度と比較し、3.4日の短縮となったことにより入院延患者数が減少したことが要因となっている。				C																																																																																																																																										
【がん】 入院・外来収益ともに患者数が計画を下回ったこと及び薬品、診療材料費率の上昇による材料費の増加により、当年度純損益は目標を下回った。 経費については、臨床検査における委託検査の増加による委託費の増加及び応援医師の増加による報償費の増加等が費用増加の要因となった。				C																																																																																																																																										
					<table><tr><th>参考となる指標</th><th>単位</th><th>令和3年度</th><th>令和4年度</th><th>令和5年度</th><th>令和6年度</th><th>状況</th></tr><tr><td>資金収入と資金支出の比較</td><td>百万円</td><td>資金収入 18,384 資金支出 17,354</td><td>資金収入 19,111 資金支出 17,769</td><td>資金収入 17,912 資金支出 16,505</td><td>資金収入 18,855 資金支出 17,348</td><td></td></tr></table>							参考となる指標	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	状況	資金収入と資金支出の比較	百万円	資金収入 18,384 資金支出 17,354	資金収入 19,111 資金支出 17,769	資金収入 17,912 資金支出 16,505	資金収入 18,855 資金支出 17,348																																																																																																																						
参考となる指標	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	状況																																																																																																																																								
資金収入と資金支出の比較	百万円	資金収入 18,384 資金支出 17,354	資金収入 19,111 資金支出 17,769	資金収入 17,912 資金支出 16,505	資金収入 18,855 資金支出 17,348																																																																																																																																									

第4期中期目標 (令和5～8年度)	第4期中期計画 (令和5～8年度)	令和6年度計画	評価の視点
	第5 短期借入金の限度額	第4 短期借入金の限度額	
	1 限度額 20億円とする。 2 想定される理由 賞与の支給等による一時的な資金不足に対応するため。	1 限度額 20億円とする。 2 想定される理由 賞与の支給等による一時的な資金不足に対応するため。	◇ 短期借入金について、金額や借入理由は適正なもの認められるか。
	第6 出資等に係る不要財産となるが見込まれる財産の処分に関する計画	第5 出資等に係る不要財産となるが見込まれる財産の処分に関する計画	
	中期目標期間中の計画はない。	令和6年度中の計画はない。	◇ 不要財産の処分に係る手続がある場合、適正に進められているか。
	第7 前記の財産以外の重要な財産を譲渡し、又は担保に供する計画	第6 前記の財産以外の重要な財産を譲渡し、又は担保に供する計画	
	中期目標期間中の計画はない。	令和6年度中の計画はない。	◇ 重要な財産を譲渡し、又は担保に供する手続がある場合、適正に進められているか。
	第8 剰余金の使途	第7 剰余金の使途	
	決算において剰余金が発生した場合は、病院施設の整備、医療機器の購入及び研究・研修の充実等に充てる。	決算において剰余金が発生した場合は、病院施設の整備や医療機器の購入、研究・研修の充実等に充てる。	◇ 剰余金が発生した場合、その使途は適正なもの認められるか。
	第9 積立金の処分に関する計画		
	第3期中期目標期間の最終事業年度終了後、地方独立行政法人法(平成15年法律第118号)第40条第4項に該当する積立金があるときは、病院施設の整備及び医療機器の購入等に充てる。		◇ 積立金の使途は適正なもの認められるか。
	第10 料金に関する事項		
	1 使用料及び手数料 病院を利用する者からは、使用料及び手数料として次に掲げる額を徴収する。 ① 健康保険法(大正11年法律第70号)第76条第2項の規定により厚生労働大臣が定める算定方法及び高齢者の医療の確保に関する法律(昭和57年法律第80号)第71条第1項の規定により厚生労働大臣が定める療養の給付に要する費用の額の算定に関する基準(診療報酬算定方法)により算定した額 ② 健康保険法第85条第2項及び第85条の2第2項並びに高齢者の医療の確保に関する法律第74条第2項及び第75条第2項の規定により厚生労働大臣が定める基準(食事療養及び生活療養費用算定基準)により算定した額 ③ ①、②以外のものについては、別に理事長が定める額 2 使用料及び手数料の減免 理事長は、特別の事情があると認めたときは、使用料及び手数料の全部又は一部を減額し、又は免除することができる。		

令和6年度業務実績 ※定量評価は年度計画に対する達成率で判定		定量 評価	定性 評価	業務実績の参考となる指標等
第4 短期借入金の限度額				
【機構全体】 令和6年度は、設立団体(県)から運転資金として1,000百万円の短期借入を行った。			B	
第5 出資等に係る不要財産となることが見込まれる財産の処分に関する計画				
【機構全体】 計画はないため、評価を省略する。				
第6 前記の財産以外の重要な財産を譲渡し、又は担保に供する計画				
【機構全体】 計画はないため、評価を省略する。				
第7 剰余金の使途				
【機構全体】 令和5年度決算時点で繰越欠損金が△1,296百万円発生しており、令和6年度決算では△807百万円の純損失を計上、繰越欠損金は△2,103百万円となった。			C	
積立金の処分に関する計画				
【機構全体】 地方独立行政法人法第40条第4項に該当する積立金は発生していない。				

第4期中期目標 (令和5～8年度)	第4期中期計画 (令和5～8年度)	令和6年度計画	評価の視点
第5 その他業務運営に関する重要事項	第11 その他業務運営に関する重要事項を達成するためとるべき措置	第8 その他業務運営に関する重要事項を達成するためとるべき措置	
持続可能な地域医療提供体制を確保するための公立病院経営強化ガイドライン(令和4年3月29日付け総財準第72号総務省自治財政局長通知)を踏まえた取組を進めること。 また、県立病院として、県民に安心して良質な医療を継続的に提供するため、就労環境の整備及び病院の信頼度向上等に取り組むこと。			
1 人事に関する事項	1 人事に関する事項	1 人事に関する事項	
	(1)医療従事者の迅速かつ柔軟な採用	(1)医療従事者の迅速かつ柔軟な採用	
1 人事に関する事項 県民の医療ニーズや医療制度の変化に応え、良質で安全な医療を提供していくため、必要な医療従事者の迅速かつ柔軟な採用を行うこと。採用に当たっては、最適な職員構成を分析し、適切な職員配置となるよう努めるとともに、積極的に障害者雇用を図ること。 また、多様化する業務に対応できるよう、定型的業務のアウトソーシングや有期雇用職員等の活用を図るなど、適切な職員の配置により、経営効率の高い業務運営体制の構築に努めること。 さらに、人事評価制度について、適宜見直しを行うとともに、職員の士気向上が図られるよう努めること。 【指標】 障害者雇用率を毎年度、法定雇用率以上とすること。(前中期目標期間実績:令和元年度1.61%、令和2年度1.83%、令和3年度2.01%)	県民の医療ニーズに応え、良質で安全な高度・専門医療を提供するために、必要な医療従事者の迅速かつ柔軟な採用を行うとともに、障害者雇用も推進する。 なお、職員の増員に際しては、費用対効果の観点から十分に検証するなど、適正な人員配置に努める。	県民の医療ニーズに応え、良質で安全な高度・専門医療を提供するために、必要な医療従事者の迅速かつ柔軟な採用を行う。 障害者雇用については、新規雇業務の確認・調整に努め、ハローワーク等と連携しながら求人活動に取り組むとともに、雇用後の職場定着支援の取組の充実を図る。	◇ 必要となる医療従事者を迅速に採用しているか。

令和6年度業務実績 ※定量評価は年度計画に対する達成率で判定			定量 評価	定性 評価	業務実績の参考となる指標等																											
第8 その他業務運営に関する重要事項を達成するためとるべき措置について																																
1 人事に関する事項																																
(1)医療従事者の迅速かつ柔軟な採用																																
【本部】 病院の実状に応じて、医療従事者の採用試験を実施した。				B																												
【本部】 障害者雇用については、雇用者数を維持し、基準を満たしている。				B																												
【本部】 退職者補充を原則に職員採用を行うとともに、医療機能や労務環境の維持及び収益の向上を図る観点から適正な規模の人員配置に努めた。				B																												
<table><tr><td>指標</td><td>実績値</td><td>達成率</td></tr><tr><td>障害者雇用率(%)</td><td>2.93</td><td>104.6%</td></tr></table>			指標	実績値	達成率	障害者雇用率(%)	2.93	104.6%	B		<table><tr><td>参考となる指標</td><td>単位</td><td>令和3年度</td><td>令和4年度</td><td>令和5年度</td><td>令和6年度</td><td>状況</td></tr><tr><td>障害者雇用率</td><td>%</td><td>2.01</td><td>3.24</td><td>2.89</td><td>2.93</td><td>↑</td></tr></table>						参考となる指標	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	状況	障害者雇用率	%	2.01	3.24	2.89	2.93	↑		
指標	実績値	達成率																														
障害者雇用率(%)	2.93	104.6%																														
参考となる指標	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	状況																										
障害者雇用率	%	2.01	3.24	2.89	2.93	↑																										
(2)定型的業務のアウトソーシングや有期雇用職員等の活用																																
【精神】 文書整理等定型的な業務や病棟内の環境整備について、有期職員を採用し対応している。				B																												
【がん】 文書整理や給与事務の一部、支払事務の一部など、定型的業務で有期雇用職員を活用した。				B	<table><tr><td>参考となる指標</td><td>単位</td><td>令和3年度</td><td>令和4年度</td><td>令和5年度</td><td>令和6年度</td><td>状況</td></tr><tr><td>有期職員の採用状況</td><td>人</td><td>139</td><td>150</td><td>146</td><td>151</td><td>↑</td></tr><tr><td>再雇用職員の採用状況</td><td>人</td><td>11</td><td>23</td><td>28</td><td>33</td><td>↑</td></tr></table>							参考となる指標	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	状況	有期職員の採用状況	人	139	150	146	151	↑	再雇用職員の採用状況	人	11	23	28	33	↑
参考となる指標	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	状況																										
有期職員の採用状況	人	139	150	146	151	↑																										
再雇用職員の採用状況	人	11	23	28	33	↑																										
【本部】 文書整理や支払事務の一部など定型的業務を処理するため、有期雇用職員を雇用し対応した。				B																												
【本部】 退職者を再雇用し、経営効率の高い業務運営体制の構築に努めた。				B																												
(3)職員の勤務成績を反映した人事評価制度の実施																																
【本部】 事務職員を対象とした人事評価制度を実施した。				B	<table><tr><td>参考となる指標</td><td>単位</td><td>令和3年度</td><td>令和4年度</td><td>令和5年度</td><td>令和6年度</td><td>状況</td></tr><tr><td>客観的な業務評価制度の実施</td><td>取組内容を記載</td><td>人事評価制度の構築に向けて、必要性や今後の課題等について整理・分析を行った。</td><td>事務職員を対象とした業務評価制度を試行的に実施した。</td><td>事務職員を対象とした業務評価制度を試行的に実施した。</td><td>事務職員を対象とした人事評価制度を実施した。</td><td>／</td></tr></table>							参考となる指標	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	状況	客観的な業務評価制度の実施	取組内容を記載	人事評価制度の構築に向けて、必要性や今後の課題等について整理・分析を行った。	事務職員を対象とした業務評価制度を試行的に実施した。	事務職員を対象とした業務評価制度を試行的に実施した。	事務職員を対象とした人事評価制度を実施した。	／							
参考となる指標	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	状況																										
客観的な業務評価制度の実施	取組内容を記載	人事評価制度の構築に向けて、必要性や今後の課題等について整理・分析を行った。	事務職員を対象とした業務評価制度を試行的に実施した。	事務職員を対象とした業務評価制度を試行的に実施した。	事務職員を対象とした人事評価制度を実施した。	／																										

第4期中期目標 (令和5～8年度)	第4期中期計画 (令和5～8年度)	令和6年度計画	評価の視点
2 就労環境の整備	2 就労環境の整備	2 就労環境の整備	
	(1)活力ある職場づくり	(1)活力ある職場づくり	
風通しの良い組織づくりに取り組むとともに、職員の健康維持・増進を図るために、各種健診やメンタルヘルスケアを実施すること。また、ワーク・ライフ・バランスを推進するための環境整備を図ること。さらに、各種ハラスメントを未然に防ぐため、形式的なマニュアル整備にとどまらず、研修会の実施や組織体制の構築に努めること。 令和6年度からの「医師の働き方改革」に向け、医師等の時間外労働の縮減に取り組むこと。	病院の経営改善に関して、院内の研修会・部会等を通じて情報共有や業務改善を推進するなど、活力ある組織運営に努める。	病院の経営改善に関して、院内の部会等を通じて情報の共有や業務改善を推進するなど、活力ある組織運営に努める。	◇ 活力ある組織運営に向けた取組状況はどうか。
	(2)職員の健康管理対策の徹底	(2)職員の健康管理対策の徹底	
	職員が健康で働き続けることができるよう、定期健康診断や人間ドックをはじめとする各種検診のほか、ストレスチェックや精神健康管理医によるメンタルヘルスケア等を実施し、職員の健康維持・増進に努める。	職員が健康で働き続けることができるよう、定期健康診断や人間ドックをはじめとする各種検診のほか、ストレスチェックや精神健康管理医によるメンタルヘルスケア等を実施し、職員の健康維持・増進に努める。	◇ 職員の健康維持・増進に向けた健康管理体制の状況はどうか。
	(3)職員の負担軽減と家庭環境への配慮	(3)職員の負担軽減と家庭環境への配慮	
	業務のDX化を推進しつつ、職員がより良質な医療を提供できるよう医師事務作業補助者等、業務委託従事者へのタスクシフティングを推進するなどし、業務の効率化を図るとともに、医師の働き方改革に向け医師等の時間外労働の縮減に努める。 また、がんセンター内設置の院内保育所の24時間保育を引き続き実施し、子育て中の病院機構職員を支援するほか、家庭環境に配慮した休暇が取得しやすい職場環境づくりに努め、ワーク・ライフ・バランスの向上に取り組む。	業務のDX化を推進しつつ、職員がより良質な医療を提供できるよう医師事務作業補助者等、業務委託従事者へのタスクシフティングを推進するなどし、業務の効率化を図るとともに、医師の働き方改革に向け医師等の時間外労働の縮減に努める。 また、人事・給与及び職員勤務管理システムの活用により、事務処理及び労務管理の適正化・効率化を図る。 さらに、がんセンターにおける院内保育所の保育を引き続き実施し、子育て中の職員を支援するほか、家庭環境に配慮した休暇が取得しやすい職場環境づくりに努め、ワーク・ライフ・バランスの向上に取り組む。	◇ 職員の業務効率化に関する取組状況はどうか。 ◇ がんセンターにおける院内保育所の24時間保育の実施状況はどうか。 ◇ 休暇が取得しやすい職場づくりに努めているか。

令和6年度業務実績 ※定量評価は年度計画に対する達成率で判定		定量 評価	定性 評価	業務実績の参考となる指標等																																																																																	
2 就労環境の整備																																																																																					
(1) 活力ある職場づくり																																																																																					
【本部】 理事長・院長等会議、事務局連絡調整会議、事務局グループリーダー会議を通じて2病院との情報共有や業務調整等を行った。				B																																																																																	
(2) 職員の健康管理対策の徹底																																																																																					
【本部】 定期健康診断をはじめとする各種健診のほか、人間ドック等を実施した。また、新任職員研修にて、メンタルヘルスの一環として、先輩職員から自身のこれまでの体験やストレスコントロールについての講話を実施し、職員のメンタル不全の防止に努めた。さらに、労働者のストレスの程度を把握し、労働者自身のストレスへの気付きを促すとともに、職場改善につなげ、職員がメンタルヘルス不調となることを未然に防止することを目的にストレスチェックを実施した。				B	<table><tr><th>参考となる指標</th><th>単位</th><th>令和3年度</th><th>令和4年度</th><th>令和5年度</th><th>令和6年度</th><th>状況</th></tr><tr><td>各種検診、メンタルヘルスケアの実施</td><td>取組内容を記載</td><td>新任職員研修において、メンタルヘルスの一環として先輩職員よりストレスコントロール等についての講話行ったほか、職員のストレスチェックを実施した。 ※職員のメンタルヘルス相談については希望無し。</td><td>新任職員研修において、メンタルヘルスの一環として先輩職員よりストレスコントロール等についての講話行ったほか、職員のストレスチェックを実施した。 ※職員のメンタルヘルス相談については希望無し。</td><td>新任職員研修において、メンタルヘルスの一環として先輩職員よりストレスコントロール等についての講話行ったほか、職員のストレスチェックを実施した。 ※職員のメンタルヘルス相談：2件</td><td>新任職員研修において、メンタルヘルスの一環として先輩職員よりストレスコントロール等についての講話行ったほか、職員のストレスチェックを実施した。 ※職員のメンタルヘルス相談：2件</td><td></td></tr></table>							参考となる指標	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	状況	各種検診、メンタルヘルスケアの実施	取組内容を記載	新任職員研修において、メンタルヘルスの一環として先輩職員よりストレスコントロール等についての講話行ったほか、職員のストレスチェックを実施した。 ※職員のメンタルヘルス相談については希望無し。	新任職員研修において、メンタルヘルスの一環として先輩職員よりストレスコントロール等についての講話行ったほか、職員のストレスチェックを実施した。 ※職員のメンタルヘルス相談については希望無し。	新任職員研修において、メンタルヘルスの一環として先輩職員よりストレスコントロール等についての講話行ったほか、職員のストレスチェックを実施した。 ※職員のメンタルヘルス相談：2件	新任職員研修において、メンタルヘルスの一環として先輩職員よりストレスコントロール等についての講話行ったほか、職員のストレスチェックを実施した。 ※職員のメンタルヘルス相談：2件																																																													
参考となる指標	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	状況																																																																															
各種検診、メンタルヘルスケアの実施	取組内容を記載	新任職員研修において、メンタルヘルスの一環として先輩職員よりストレスコントロール等についての講話行ったほか、職員のストレスチェックを実施した。 ※職員のメンタルヘルス相談については希望無し。	新任職員研修において、メンタルヘルスの一環として先輩職員よりストレスコントロール等についての講話行ったほか、職員のストレスチェックを実施した。 ※職員のメンタルヘルス相談については希望無し。	新任職員研修において、メンタルヘルスの一環として先輩職員よりストレスコントロール等についての講話行ったほか、職員のストレスチェックを実施した。 ※職員のメンタルヘルス相談：2件	新任職員研修において、メンタルヘルスの一環として先輩職員よりストレスコントロール等についての講話行ったほか、職員のストレスチェックを実施した。 ※職員のメンタルヘルス相談：2件																																																																																
(3) 職員の負担軽減と家庭環境への配慮																																																																																					
【本部】 各病院において医師事務作業補助者や看護補助者を配置し、医療従事者の負担軽減に努めた。また、勤務管理システム等を活用し、各所属にて職員の勤務状況の把握や時間外勤務の縮減など適切な労務管理を行うよう求めたほか、年次有給休暇等の計画的な使用促進を促し、職員が働きやすい環境づくりやワークライフバランスの推進を図った。				B	<table><tr><th>参考となる指標</th><th>単位</th><th>令和3年度</th><th>令和4年度</th><th>令和5年度</th><th>令和6年度</th><th>状況</th></tr><tr><td colspan="7">医療補助者の配置</td></tr><tr><td>精神医療センター</td><td rowspan="2">人</td><td>11</td><td>12</td><td>9</td><td>9</td><td>→</td></tr><tr><td>がんセンター</td><td>24</td><td>22</td><td>25</td><td>21</td><td>↓</td></tr><tr><td colspan="7">看護補助者の配置</td></tr><tr><td>精神医療センター</td><td rowspan="2">人</td><td>9</td><td>7</td><td>9</td><td>7</td><td>↓</td></tr><tr><td>がんセンター</td><td>18</td><td>22</td><td>23</td><td>19</td><td>↓</td></tr><tr><td colspan="7">電子カルテの導入</td></tr><tr><td>精神医療センター</td><td rowspan="2">有無</td><td colspan="4">更新済み</td><td></td></tr><tr><td>がんセンター</td><td>導入済</td><td>更新</td><td>導入済</td><td>導入済</td><td></td></tr><tr><td>院内保育所24時間保育実施状況</td><td>有無</td><td>有</td><td>有</td><td>有</td><td>無</td><td></td></tr></table>							参考となる指標	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	状況	医療補助者の配置							精神医療センター	人	11	12	9	9	→	がんセンター	24	22	25	21	↓	看護補助者の配置							精神医療センター	人	9	7	9	7	↓	がんセンター	18	22	23	19	↓	電子カルテの導入							精神医療センター	有無	更新済み					がんセンター	導入済	更新	導入済	導入済		院内保育所24時間保育実施状況	有無	有	有	有	無	
参考となる指標	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	状況																																																																															
医療補助者の配置																																																																																					
精神医療センター	人	11	12	9	9	→																																																																															
がんセンター		24	22	25	21	↓																																																																															
看護補助者の配置																																																																																					
精神医療センター	人	9	7	9	7	↓																																																																															
がんセンター		18	22	23	19	↓																																																																															
電子カルテの導入																																																																																					
精神医療センター	有無	更新済み																																																																																			
がんセンター		導入済	更新	導入済	導入済																																																																																
院内保育所24時間保育実施状況	有無	有	有	有	無																																																																																
【がん】 費用対効果を鑑み、令和6年度4月より院内保育室の終夜保育は廃止された。 土曜日、日曜日、祝日の保育及び時間外保育を引き続き実施し、子育て中の職員を支援している。				B																																																																																	
【精神】 休暇等について、計画的に取得できるような環境づくりに努めたほか、医師や看護師等の医療従事者等の出勤表の作成にあたっては職員の健康状況や家庭環境に配慮するなど、勤務しやすい職場づくりに努めている。				B																																																																																	
【がん】 休暇の計画的な取得を推進し、休暇を取得しやすい環境づくりに努めた。				B																																																																																	
【本部】 年次有給休暇の計画的な使用の促進について通知するとともに、年次有給休暇等取得計画表を活用して休暇を取得しやすい環境作りに努めた。				B																																																																																	

第4期中期目標 (令和5～8年度)	第4期中期計画 (令和5～8年度)	令和6年度計画	評価の視点								
	(4)ハラスメントの防止と的確な対応 セクシャルハラスメント等、あらゆるハラスメントについて、職場内での意識啓発や研修会の定期的開催及び相談体制の整備等により未然に防ぎ、ハラスメントの無い職場環境をつくるとともに、発生時には被害者の救済を第一に考えて、的確な対応ができる組織体制を構築する。 <table><tr><th>目標とする指標</th><th>目標値</th></tr><tr><td>ハラスメントに関する研修会の開催回数</td><td>年1回以上</td></tr></table>	目標とする指標	目標値	ハラスメントに関する研修会の開催回数	年1回以上	(4)ハラスメントの防止と的確な対応 セクシャルハラスメント、パワーハラスメント等のあらゆるハラスメントについて、職場内での意識啓発や研修会の定期的開催及びハラスメントの防止等に関する要綱・指針の周知等により、ハラスメントの無い職場環境をつくり、発生時には被害者の救済を第一に考えて、的確な対応ができる組織体制を構築する。 <table><tr><th>目標とする指標</th><th>目標値</th></tr><tr><td>ハラスメントに関する研修会の開催回数</td><td>年1回以上</td></tr></table>	目標とする指標	目標値	ハラスメントに関する研修会の開催回数	年1回以上	◇ 各種ハラスメントの無い職場環境づくりに関する取組状況はどうか。 ◇ 発生時に的確な対応ができる組織体制の構築についてはどうか。 ◇ 中期計画及び年度計画に掲げる数値の達成状況はどうか。
目標とする指標	目標値										
ハラスメントに関する研修会の開催回数	年1回以上										
目標とする指標	目標値										
ハラスメントに関する研修会の開催回数	年1回以上										

令和6年度業務実績			定量 評価	定性 評価	業務実績の参考となる指標等																										
※定量評価は年度計画に対する達成率で判定																															
(4)ハラスメントの防止と的確な対応																															
【精神】 「ハラスメントの防止等に関する要綱」を全体会議等で情報共有し、職員が相談しやすい体制づくりに努めた。 全職員を対象に院内で研修を行い、情報の共有化を図っている。 センター運営会議及びセンター連絡会議を月1回開催し職員間で問題や情報の共有化を図った。				B																											
【本部】 各種ハラスメントの防止のため、ハラスメント研修を行いハラスメントの無い職場環境の構築に努めた。多くの職員に受講を促すため、前年度に引き続きオンライン(YouTube)で閲覧できるように工夫した。				B																											
【本部】 ハラスメントの相談窓口・対応方法などを規定した要綱を制定し、職員に周知している。				B																											
<table><tr><td>指標</td><td>実績値</td><td>達成率</td></tr><tr><td>ハラスメントに関する研修会の開催回数(回)</td><td>1</td><td>100.0%</td></tr></table>			指標	実績値	達成率	ハラスメントに関する研修会の開催回数(回)	1	100.0%	B		<table><tr><td>参考となる指標</td><td>単位</td><td>令和3年度</td><td>令和4年度</td><td>令和5年度</td><td>令和6年度</td><td>状況</td></tr><tr><td>ハラスメント研修会開催実績</td><td>回</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>→</td></tr></table>							参考となる指標	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	状況	ハラスメント研修会開催実績	回	1	1	1	1	→
指標	実績値	達成率																													
ハラスメントに関する研修会の開催回数(回)	1	100.0%																													
参考となる指標	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	状況																									
ハラスメント研修会開催実績	回	1	1	1	1	→																									

第4期中期目標 (令和5～8年度)	第4期中期計画 (令和5～8年度)	令和6年度計画	評価の視点
3 病院の信頼度の向上	3 病院の信頼度の向上	3 病院の信頼度の向上	
	(1)医療提供体制の整備、サービスの向上	(1)医療提供体制の整備、サービスの向上	
医療の質やサービスの向上に努め、県立病院に対する県民の信頼を高めていくこと。	より医療の質を高め、体制の整備やサービスの向上を進めることにより、病院としての信頼度を向上させる。 精神医療センターにおいては、自己評価等を行い、病院機能を改善し、医療の質を向上させる。 また、がんセンターにおいては、現在取得している病院機能評価の認定基準を維持するとともに、認定基準の変更があった際には適切に対応する。	より医療の質を高め、体制の整備やサービスの向上を進めることにより、病院としての信頼度を向上させる。 精神医療センターにおいては、自己評価等を行い、病院機能を改善し、医療の質を向上させる。がんセンターにおいては、現在取得している病院機能評価の認定基準を維持するとともに、認定基準の変更があった際には適切に対応する。	◇ 自己評価の実施や病院機能評価の認定基準の維持等への取組状況はどうか。
	(2)認定施設等の認定・指定の推進	(2)認定施設等の認定・指定の推進	
	医療水準の更なる向上のため、法令等に基づく指定医療機関や厚生労働省・学会による認定施設の指定・認定取得を推進し、県民の信頼を向上させる。	病院毎に、法律等に基づく指定医療機関や厚生労働省・学会による認定や指定の必要性等を考慮し、その取得に向けた検討、取組を実施する。	◇ 法律等に基づく指定医療機関や、厚生労働省、学会による医療施設の指定・認定状況はどうか。
	(3)医療倫理の周知・徹底	(3)医療倫理の周知・徹底	
	患者の権利や日々の診療における臨床倫理の課題について、医療倫理に関する審査委員会において検討を行い、その検討結果を職員に周知する。	患者の権利や日々の診療における臨床倫理の課題について、医療倫理に関する審査委員会において検討を行い、その検討結果を職員に周知する。	◇ 臨床倫理の課題について、医療倫理に関する委員会の検討状況はどうか。 ◇ 審査委員会の検討結果は職員へ周知されているか。
		(4)新型コロナウイルス感染症への対応	
		精神医療センターでは、院内感染防止対策を徹底し、感染予防に努める。 がんセンターでは、新型コロナウイルス感染症患者については一般病床で対応を行う。また、昨年度に引き続き、マニュアルを整備し、定期的な会議を行うことで情報共有を徹底する。	○新型コロナウイルス感染症への対応はどうか。 【法人の独自設定】

令和6年度業務実績 ※定量評価は年度計画に対する達成率で判定	定量 評価	定性 評価	業務実績の参考となる指標等																											
3 病院の信頼度の向上																														
(1)医療提供体制の整備、サービスの向上																														
【精神】 新病院建設後に新基準で取得することとしていたため、新病院建設計画が延期となったことから認定取得に向けた動きは休止している。		B	<table><tr><th>参考となる指標</th><th>単位</th><th>令和3年度</th><th>令和4年度</th><th>令和5年度</th><th>令和6年度</th><th>状況</th></tr><tr><td colspan="7">病院機能評価の認定実績</td></tr><tr><td>精神医療センター</td><td rowspan="2">認定実績</td><td colspan="2">取組は休止 (建設は延期のため)</td><td>自己点検</td><td>自己点検</td><td rowspan="2"></td></tr><tr><td>がんセンター</td><td>自己点検</td><td>3rdG: Ver.2.0を受審</td><td>3rdG: Ver.2.0認定</td><td>期中の確認</td></tr></table>	参考となる指標	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	状況	病院機能評価の認定実績							精神医療センター	認定実績	取組は休止 (建設は延期のため)		自己点検	自己点検		がんセンター	自己点検	3rdG: Ver.2.0を受審	3rdG: Ver.2.0認定	期中の確認	
参考となる指標	単位	令和3年度		令和4年度	令和5年度	令和6年度	状況																							
病院機能評価の認定実績																														
精神医療センター	認定実績	取組は休止 (建設は延期のため)		自己点検	自己点検																									
がんセンター		自己点検	3rdG: Ver.2.0を受審	3rdG: Ver.2.0認定	期中の確認																									
【がん】 令和7年5月に提出する病院機能評価の期中の確認について、自己評価を実施し、提出資料の取りまとめを行った。		A																												
(2)認定施設等の認定・指定の推進																														
【精神】 臨床研修病院、専門医研修施設の指定を継続し、研修施設としての体制を整えている。		B	<table><tr><th>参考となる指標</th><th>単位</th><th>令和3年度</th><th>令和4年度</th><th>令和5年度</th><th>令和6年度</th><th>状況</th></tr><tr><td colspan="7">認定数、指定数</td></tr><tr><td>精神医療センター</td><td rowspan="2">件</td><td>6</td><td>6</td><td>8</td><td>8</td><td>→</td></tr><tr><td>がんセンター</td><td>51</td><td>54</td><td>67</td><td>68</td><td>↑</td></tr></table>	参考となる指標	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	状況	認定数、指定数							精神医療センター	件	6	6	8	8	→	がんセンター	51	54	67	68	↑
参考となる指標	単位	令和3年度		令和4年度	令和5年度	令和6年度	状況																							
認定数、指定数																														
精神医療センター	件	6	6	8	8	→																								
がんセンター		51	54	67	68	↑																								
【がん】 認定研修施設、指定・認定施設の指定・更新を継続し、研修施設等としての体制を整えている。		B																												
(3)医療倫理の周知・徹底																														
【精神】 精神保健福祉法に基づく身体拘束や隔離を行う場合は、人権に配慮した対応を行うよう、行動制限最小化・特例措置事後審査委員会において、職員に対し周知徹底を行った。 また、倫理審査委員会も随時開催し、臨床上の倫理的事項に対する審査を的確に行った。		B	<table><tr><th>参考となる指標</th><th>単位</th><th>令和3年度</th><th>令和4年度</th><th>令和5年度</th><th>令和6年度</th><th>状況</th></tr><tr><td colspan="7">倫理審査委員会の開催</td></tr><tr><td>精神医療センター</td><td rowspan="2">回</td><td>20</td><td>19</td><td>19</td><td>17</td><td>↓</td></tr><tr><td>がんセンター</td><td>6</td><td>6</td><td>6</td><td>6</td><td>→</td></tr></table>	参考となる指標	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	状況	倫理審査委員会の開催							精神医療センター	回	20	19	19	17	↓	がんセンター	6	6	6	6	→
参考となる指標	単位	令和3年度		令和4年度	令和5年度	令和6年度	状況																							
倫理審査委員会の開催																														
精神医療センター	回	20	19	19	17	↓																								
がんセンター		6	6	6	6	→																								
【がん】 倫理審査委員会を年6回開催し、病院及び研究所が行う生命科学・医学系研究に加えて臨床上の倫理的事項に対する審査を的確に行った。		B																												
【精神】 倫理審査委員会や行動制限最小化・特例措置事後審査委員会を随時開催し、審査結果を病院管理者へ報告するとともに、関係職員への共有を広く図った。記録等に不備があった場合は、当該委員会を通じて指導を行った。		B																												
【がん】 検討結果は、生命科学・医学系研究に関する倫理指針等に基づきウェブサイト上で広く公開しており、職員にも周知されている。		B																												
(4)新型コロナウイルス感染症への対応																														
【精神】 院内感染防止対策を徹底し、感染予防に努めた。		B																												
【がん】 最新の知見に基づき、院内ルールを改定している。さらに複数の患者が発生した際は、基本的対策の遵守の他、換気量の実測など現状を評価した。 その結果、当院での感染拡大のリスク要因に対して、現状での実践可能な改善策を見出すことができた。		B																												

別紙1

年度計画(令和6年度)の予算(実績)

令和6年度業務実績等報告書

(単位:百万円)

区 分	金額(予算)	金額(実績)	増減
収入	18,101	17,535	△ 566
営業収益	16,100	15,876	△ 224
医業収益	13,238	12,990	△ 248
運営費負担金	2,808	2,805	△ 3
その他営業収益	53	80	27
営業外収益	72	78	6
運営費負担金	24	24	0
その他営業外収益	48	53	5
臨時利益	0	0	0
目的積立金取崩額	0	0	0
資本収入	1,929	1,581	△ 348
運営費負担金	144	215	71
長期借入金	1,785	1,365	△ 420
その他資本収入	0	0	0
支出	18,951	19,122	171
営業費用	16,058	16,686	628
医業費用	15,338	15,898	560
給与費	7,334	7,322	△ 12
材料費	3,845	4,522	
経費	2,826	2,792	△ 34
減価償却費	1,155	1,111	△ 44
研究研修費	178	151	△ 27
一般管理費	204	213	9
給与費	150	169	19
経費	36	26	△ 10
減価償却費	18	18	0
その他	516	576	60
営業外費用	81	75	△ 6
臨時損失	0	0	△ 0
資本支出	2,812	2,361	△ 451
建設改良費	2,023	1,572	△ 451
償還金	789	789	0
その他資本支出	0	0	0

(注1) 計数は、端数をそれぞれ四捨五入している。

別紙2

年度計画(令和6年度)の収支計画(実績)

(単位:百万円)

区 分	金額(予算)	金額(実績)	増減
収入の部	16,172	15,954	△ 218
営業収益	16,100	15,876	△ 224
医業収益	13,238	12,990	△ 248
運営費負担金収益	2,808	2,805	△ 3
その他営業収益	53	80	27
営業外収益	72	78	6
運営費負担金収益	24	24	0
その他営業外収益	48	53	5
臨時利益	0	0	0
支出の部	16,139	16,761	622
営業費用	16,058	16,686	628
医業費用	15,338	15,898	560
給与費	7,334	7,322	△ 12
材料費	3,845	4,522	677
経費	2,826	2,792	△ 34
減価償却費	1,155	1,111	△ 44
研究研修費	178	151	△ 27
一般管理費	204	213	9
給与費	150	169	19
経費	36	26	△ 10
減価償却費	18	18	0
その他	516	576	60
営業外費用	81	75	△ 6
臨時損失	0	0	△ 0
純利益	32	△ 807	△ 839
目的積立金取崩額	0	0	0
総利益	32	△ 807	△ 839

(注1) 計数は、端数をそれぞれ四捨五入している。

別紙3

年度計画(令和6年度)の資金計画(実績)

(単位:百万円)

区 分	金額(予算)	金額(実績)	増減
資金収入	19,579	18,855	△ 724
業務活動による収入	15,679	15,558	△ 121
診療業務による収入	13,238	12,871	△ 367
運営費負担金による収入	2,422	2,520	98
その他の業務活動による収入	19	167	148
投資活動による収入	524	525	1
運営費負担金による収入	524	524	0
その他の投資活動による収入	0	1	1
財務活動による収入	1,785	1,365	△ 420
長期借入金による収入	1,785	1,365	△ 420
その他の財務活動による収入	0	0	0
前事業年度からの繰越金	1,591	1,407	△ 184
資金支出	17,597	17,348	△ 249
業務活動による支出	14,786	15,663	877
給与費支出	7,409	7,732	323
材料費支出	3,837	5,101	1,264
その他の業務活動による支出	3,540	2,830	△ 710
投資活動による支出	2,023	732	△ 1,291
固定資産の取得による支出	2,023	732	△ 1,291
その他の投資活動による支出	0	0	0
財務活動による支出	788	953	165
長期借入金の返済による支出	705	705	0
移行前地方債償還債務の償還による支出	83	83	0
その他の財務活動による支出	0	165	165
翌事業年度への繰越金	1,982	1,507	△ 475

(注1) 計数は、端数をそれぞれ四捨五入している。

